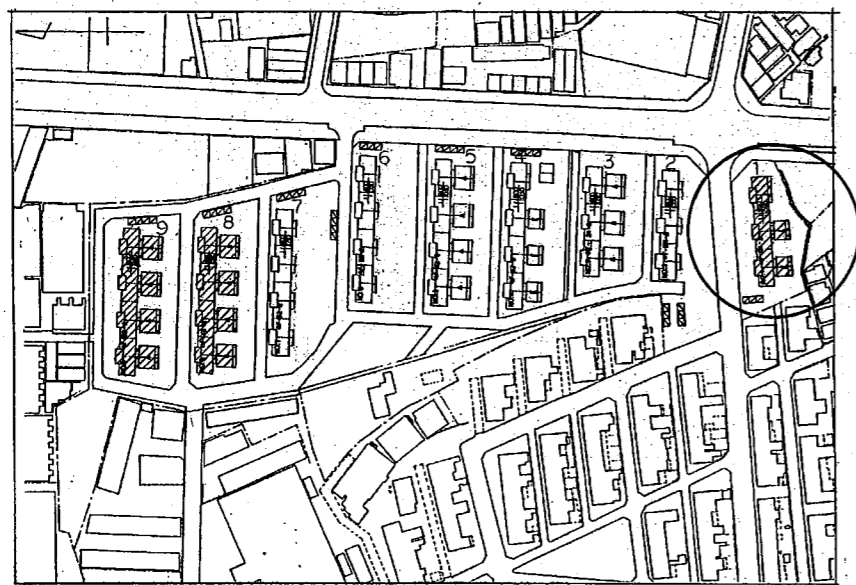


大阪府宮瓜破東住宅第2期増築その他工事

阪-増-92-4PC-(3半)・(3)-900-60301 (Eタイプ)

~~阪-増-92-4PC-(4)・(4)・1半-B-60301 (Aタイプ)~~



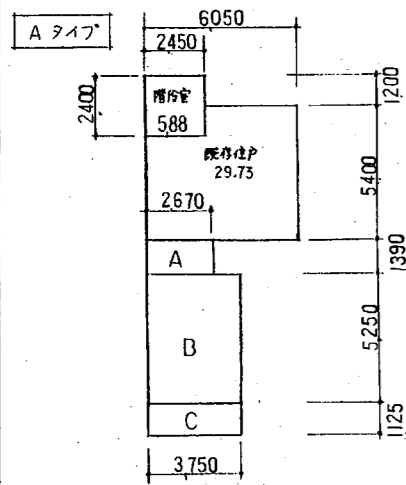
1・~~8~~・~~9~~号棟

平成年月日	設計者	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部 宮城室					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	表紙	
	株式会社 共同建築事務所					阪-増-92-4PC-(4)(4)1半-B-60301	縮尺	

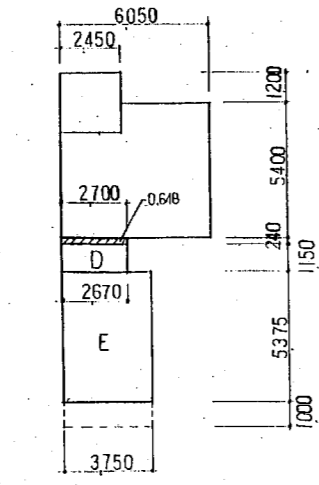
建築一般図			棟番号			棟番号					
図面番号	図面名称	縮尺	1	8	9	図面番号	図面名称	縮尺	1	8	9
	表紙		○	○	○	A-31	内装平面詳細図(2)	1:5	○		
	図面目録		○	○	○	32	内装断面詳細図(1)	1:5	○		
A-1	面積表		○	○	○	33	床・天井パネル伏図	1:30	○		
2	特記仕様書		○	○	○	34	各部位伏図	1:50	○		
3	指定材料表		○	○	○	35	内装材リスト(1)	1:50	○		
4	仕上表		○			36	内装材リスト(2)	1:3	○		
5	仕上表		○			37	下地材伏図	1:50	○		
6	平面図	1:100	○			38	内装材平面詳細図(1)	1:5	○	○	
7	屋根伏図	1:100	○			39	内装材平面詳細図(2)	1:5	○	○	
8	立面図・断面図	1:100	○			40	内装断面詳細図	1:5	○	○	
9	平面図	1:100	○	○		41	床・天井パネル伏図	1:30	○	○	
10	屋根伏図	1:100	○	○		42	各部位伏図	1:50	○	○	
11	立面図・断面図	1:100	○	○		43	内装材リスト(1)	1:50	○	○	
12	立面図・矩計図	1:50	○			44	内装材リスト(2)	1:3	○	○	
13	平面詳細図	1:20	○			45	下地材伏図	1:50	○	○	
14	断面詳細図	1:20	○								
15	展開図	1:50	○								
16	建具表・天井伏図	1:50 1:100	○								
17	立面図・矩計図	1:50	○	○							
18	平面詳細図	1:20	○	○							
19	断面詳細図	1:20	○	○							
20	断面詳細図	1:20	○	○							
21	展開図	1:50	○	○							
22	建具表・天井伏図	1:50 1:100	○	○							
23	特殊詳細図(1)	1:5 1:20	○	○	○						
24	特殊詳細図(2)	1:5	○	○	○						
25	特殊詳細図(3)	1:5	○	○	○						
26	特殊詳細図(4)	1:10 1:2 1:20	○	○	○						
27	特殊詳細図(5)	1:3 1:10 1:5 1:50	○	○	○						
28	特殊詳細図(6)	1:10 1:2	○	○	○						
29	特殊詳細図(7)	1:10 1:3	○	○	○						
30	内装平面詳細図(1)	1:5	○								

構造図			棟番号			棟番号					
図面番号	図面名称	縮尺	1	8	9	図面番号	図面名称	縮尺	1	8	9
C-1	杭基礎部分平面配筋図		○	○	○	16	壁板配筋図	1:30	○	○	
2	杭基礎配筋図・基礎梁配筋図		○	○	○	17	床板配筋図	1:30	○	○	
3	杭基礎伏図・杭基礎梁リスト図		○			18	床板・壁板配筋図	1:30	○	○	
4	杭基礎伏図・杭基礎梁リスト図		○	○		19	屋根板配筋図	1:30	○	○	
5	基礎組立図・壁板組立図	1:30	○			20	屋根板・床板配筋図	1:30	○	○	
6	床板組立図・屋根板組立図	1:30	○			撤去改修図					
7	防水案内図	1:100	○			T-1	撤去:改修リスト・特記仕様書		○	○	○
8	基礎組立図・壁板組立図	1:30	○	○		2	撤去:改修 平面図・屋根伏図	1:100	○		
9	床板組立図・屋根板組立図	1:30	○	○		3	撤去:改修 立面図・断面図	1:100	○		
10	防水案内図	1:100	○	○		4	撤去:改修 平面図・屋根伏図	1:100	○	○	
11	特記仕様書		○	○	○	5	撤去:改修 立面図・断面図	1:100	○	○	
参考図	ボーリング位置図		○	○	○	6	撤去:改修 平面詳細図	1:30	○		
"	土質柱状図(1)		○			7	撤去:改修 平面詳細図	1:30	○	○	
"	土質柱状図(2)			○		8	撤去:改修 断面詳細図	1:30	○	○	○
"	土質柱状図(3)				○	9	撤去:改修 詳細図	1:10	○	○	○
"	地質推定断面図(1)		○	○	○	10	撤去:改修 詳細図	1:20 1:5	○	○	○
"	"(2)			○	○	11	撤去:改修 詳細図	1:2	○		
P C 板 図											
PC-1	壁板図	1:30	○			現況調査図					
2	壁板図	1:30	○			G-1	基礎測定図	1:100	○		
3	床板図	1:30	○			2	"	1:100	○	○	
4	屋根板図	1:30	○			3	屋根庇測定図	1:100	○	○	○
5	壁板配筋図	1:30	○			4	バルコニー廻り測定図	1:30	○		
6	壁板配筋図	1:30	○			5	"	1:30	○		
7	床板配筋図	1:30	○			6	"	1:30	○		
8	屋根板配筋図	1:30	○			7	"	1:30	○		
9	壁板図	1:30	○			8	"	1:30	○		
10	壁板図	1:30	○	○		9	"	1:30	○		
11	床板図	1:30	○	○		10	階段踊り場手摺測定図	1:30 1:20	○		
12	床板図・壁板図	1:30	○	○		11	"	1:30 1:20	○		
13	屋根板図	1:30	○	○		12	"	1:30 1:20	○		
14	屋根板図	1:30	○	○							
15	壁板配筋図	1:30	○	○							

平成 年月日	営繕監 主幹 係長 主査 担当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室		版-増-92-4PC-(3)・(3)-900-60301	図面目録	
株式会社 共同建築事務所		版-増-92-4PC-(4)(4)・(4)-60301	縮尺	



床面積求積図 1:200



建築面積求積図

- Ⓐ 1,390 x 2,670 = 3,711
- Ⓑ 5,250 x 3,750 = 19,688
- Ⓒ 1,125 x 3,750 = 4,219

基準法戸当り床面積

Ⓐ+Ⓑ = 3,711 + 19,688 = 23,399

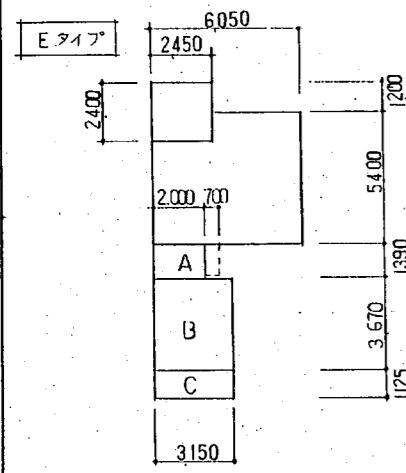
公営住宅法戸当り床面積

Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ x 1/3 = 3,711 + 19,688 + 4,219 x 1/3 = 24,805

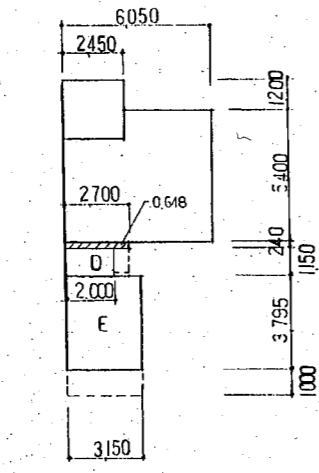
- Ⓓ 1,150 x 2,670 = 3,071
- Ⓔ 5,735 x 3,750 = 20,156

建築面積

Ⓓ+Ⓔ = 3,071 + 20,156 = 23,227



床面積求積図



建築面積求積図

- Ⓐ 1,390 x 2,000 = 2,780
- Ⓑ 3,620 x 3,150 = 11,561
- Ⓒ 1,125 x 3,150 = 3,544

基準法戸当り床面積

Ⓐ+Ⓑ = 2,780 + 11,561 = 14,341

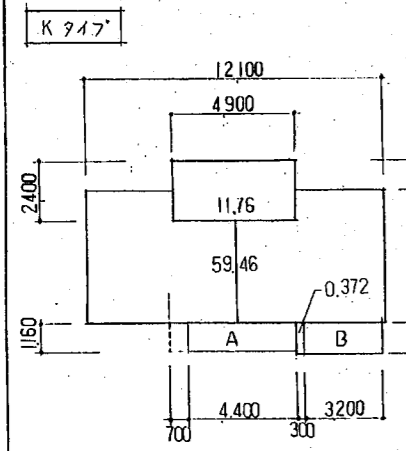
公営住宅法戸当り床面積

Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ x 1/3 = 2,780 + 11,561 + 3,544 x 1/3 = 15,522

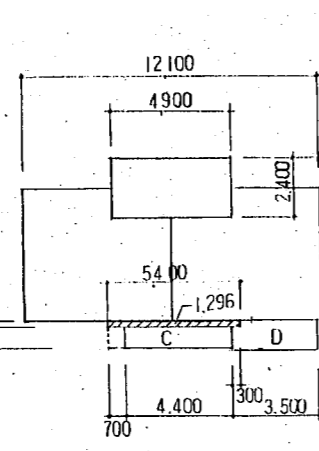
- Ⓓ 1,150 x 2,000 = 2,300
- Ⓔ 3,795 x 3,150 = 11,954

建築面積

Ⓓ+Ⓔ = 2,300 + 11,954 = 14,254



床面積求積図



建築面積求積図

- Ⓐ 4,400 x 1,160 = 5,104
- Ⓑ 3,200 x 1,240 = 3,968

基準法戸当り床面積

Ⓐ = 5,104

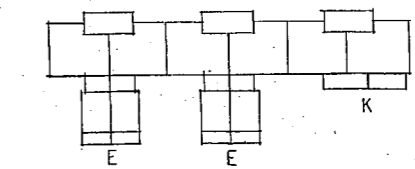
公営住宅法戸当り床面積

Ⓐ+Ⓑ x 1/3 = 5,104 + 3,968 x 1/3 = 6,427

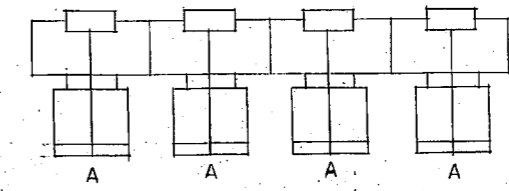
- Ⓒ 4,400 x 0.92 = 4,048
- Ⓓ 3,500 x 1,240 - 0.30 x 0.24 = 4,268

建築面積

Ⓒ+Ⓓ = 4,048 + 4,268 = 8,316



1号棟



8・9号棟

増築部面積表

階層	用途	建築基準法床面積			公営住宅法床面積		
		1号棟	8・9号棟	号棟	1号棟	8・9号棟	号棟
4	F	62,468	187,192		68,515	198,440	
3	F						
2	F						
1	F	62,468	187,192		68,515	198,440	
合計		249,872	748,768		274,060	793,760	
建築面積		65,332	185,816				

[増築部計算式]

	1号棟	8・9号棟
基準法床面積	14,341 x 4 + 5,104	23,399 x 8
	= 62,468	= 187,192
公営住宅法床面積	15,522 x 4 + 6,427	24,805 x 8
	= 68,515	= 198,440
建築面積	14,254 x 4 + 8,316	23,227 x 8
	= 65,332	= 185,816

既存部面積表

階層	用途	建築基準法床面積			公営住宅法床面積		
		1号棟	8・9号棟	号棟	1号棟	8・9号棟	号棟
4	F	213,660	284,880		213,784	284,880	
3	F						
2	F						
1	F	213,660	284,880		213,784	284,880	
合計		854,640	1,139,520		855,136	1,139,520	
建築面積		217,548	290,064				

[既存部計算式]

	1号棟	8・9号棟
基準法床面積	35,610 x 4 + 71,220	35,610 x 8
	= 213,660	= 284,880
公営住宅法床面積	35,610 x 4 + 71,344	35,610 x 8
	= 213,784	= 284,880
建築面積	36,258 x 4 + 72,516	36,258 x 8
	= 217,548	= 290,064

平成 年月日	営繕監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	1・8・9号棟	図面番号
	大阪府建築部					版-増-92-4PC-(4)(4)1半-Ⓑ-60301	面積表		A-1
	株式会社					版-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	■尺		
	共同建築事務所								

第1章 一般共通事項

適用範囲
設計図面の優先順位
材料指定
工法の記載のない材料
既設工事との取合い

本工事の仕様は、本特記仕様書による他、建築工事共通仕様書（以下「共通仕様書」と記す）による。
1. 現場説明事項 2. 特記仕様書 3. 仕様表 4. 図面 5. 住戸改善（増築）標準仕様設計図集
6. 指定材料表 7. 建築工事補足共通仕様書（大阪府建築部監修） 8. 建築工事共通仕様書（建設大臣官庁官制部監修）
材料の商品名、製造所、施工業者は特記されたもの及び指定材料表による他、監督員が同等と認められたものを使用する。
特記仕様書及び「共通仕様書」に工法が記載されていない材料は製造所、施工業者等の標準仕様により監督員の承諾を得て施工する事。
下記に示す項目は○印を付した者区分での工事範囲とする。

項目	建築	給排水	備考
構造部分の開口補修	○		
既存部分の設備配管用穴あけ	○	○	新設部分は建築工事
PC版部分の穴あけ（スリプ）製品打込	○		
設備用配管廻りモルタル詰め	○	○	外廻りシーリング建築工事
天井裏換気ガラリ	○		
内装パネル設置穴あけ箇所補修	○		

既存部との取合い
・既存バルコニーの手摺・立上りコンクリート・物干金物・欄干・化粧欄等の撤去及び、モルタル詰めは本工事とし、撤去改修図による。
・既存部外壁・手摺の撤去は本工事とし、撤去改修図による。
・既存部分の設備配管用スリプ及び、モルタル詰めは別途工事とする。
・既存壁・フロアードレンの撤去及び穴埋めは本工事とし、撤去改修図による。
又、壁の撤去・新設ドレンの取付は本工事に含む。
・既存建物外法・既存との取合い部の寸法は、全て参考寸法とする。
Z0は既存部設計図とする。
Z1はZ0+955 を標準とするが、既存部の床レベルを調査の上、設定すること。
Z2はZ0+955 を標準とするが、既存部の床レベルを調査の上、設定すること。

床レベルの設定
Z0は既存部設計図とする。
Z1はZ0+955 を標準とするが、既存部の床レベルを調査の上、設定すること。

標準凡例
I-300 -----住戸改善（増築）標準仕様設計図集番号
I-100 -----本設計図に参照する詳細図番号
B-010 -----1985年度府営住宅PC工法標準設計図集

第2章 仮設工事

電気防湿シート
グリーンネット

第3章 土工

「共通仕様書」による。

第4章 地業工事

杭基礎
「特記仕様書」による。

第5章 鉄筋工事

5.1.1 鉄筋
基礎 SD295A規格品
SR235（A類）

5.2.1(c) 鉄手
基礎 重ね鉄手

第6章 コンクリート工事

6.1.1(1) コンクリートの種類
基礎 普通コンクリート（砕石）

6.1.3 レディミクストコンクリートの使用
基礎 レディミクストコンクリート 1類標準品

6.1.2 設計基準強度
基礎 設計基準強度 $FC=180\text{kg/cm}^2$ 所委スラブ 15cm
構コンクリート $FC=150\text{kg/cm}^2$

6.13.1 型枠の種類
基礎 合板 (A) 12

6.13.2 コンクリートの打放し仕上げ
B級

標準凡例
配合が0.04%をこえる調剤材を使用してはならない。

アルカリ骨材対策
・アルカリ骨材反応試験により安全と認められた骨材を使用する。
(試験方法はJISA5308附則第7又は8による。)

コンクリート中の塩化物
・塩化物量C1重量で0.3kg/m³以下とする。
(塩化物量の測定) 塩化物量の試験は150m³ごと又は、その規模につき1回以上とする。なお最初の試験は、打込当初のものとする。その他共通仕様書 6-4-4による。

第9章 防水工事

露出アスファルト断熱防水の材料・工法

工種	材料	工法使用数量 (㎡当り)
第1層	アスファルトプライマー	0.3ℓ
第2層	アスファルトコンパウンド	1.2kg刷毛塗り及び、洗し塗
第3層	アスファルトルーフィング (35kg)	
第4層	アスファルトコンパウンド	1.2kg刷毛塗り及び、洗し塗
第5層	断熱材	厚 20mm
第6層	アスファルトコンパウンド	1.2kg刷毛塗り及び、洗し塗
第7層	特殊ルーフィングIV	
第8層	アスファルトコンパウンド	1.2kg刷毛塗り及び、洗し塗
第9層	特殊ルーフィング (合成繊維不織布)	
第10層	アルミコート吹付	0.3ℓ

材料
第1層 アスファルトプライマー 「共通仕様書」9.1.3(a)による。
第2.4.6.8層 アスファルトコンパウンド JISK2207 (石油アスファルトによる防水用アスファルト) 3種類以上とする。
第3層 アスファルトルーフィング JISK6006 (アスファルトルーフィング) 35kg品とする。
第5層 断熱材 熱伝導係数 $\lambda: 0\text{W/m}\cdot\text{K}$ 以上の硬質ウレタン樹脂とする。
第7層 特殊ルーフィング JISA6022 (ストレッチルーフィング) とする。(2層)
第9層 特殊ルーフィング JISA6022 (ストレッチルーフィング) の砂付ストレッチルーフィングとする。

9.4.2 シーリング

使用区分	A	B	C	D	E	F	G	H	備考
窓廻り			○						PC版・先付部品を除く
浴室・壁・天井・洗濯機(パン)廻り		○	○						図示による
バルコニー笠木		○				○			標準仕様設計図による
Exp. Jカバリー廻り		○	○			○			屋上・外壁
スリプ廻り(外壁)			○						

注) B種はシリコン(2成分形)、C種はポリサルファイド(2成分形)、D種はポリウレタン、E種は油性コーキング、H種はアスファルト系

第12章 木工事

「共通仕様書」及び、図示による。
図示なき木材の寸法は、米制とする。

第13章 屋根及び樋工事

13.4 樋
材質 硬質カラー樹脂管 (VP管) $\phi 100, \phi 75, \phi 50$ (色: アイボリー) (JIS K 6741)

第14章 金属工事

バルコニー手摺
アルミ製 I-101 及び、保鋼が同等と承諾したBL製品

バルコニー欄干
アルミ製 I-102 製品BLメーカーとする。

物干金物
I-101 による。

クロー用インサート(内側)
I-333-1) 及び図示による。

垂直避難口
ステンレス製、大阪ナカエ業 2x2x0.5 STS 別添品以上とする。I-341-2) による。

エキストラクションジョイントカバー
標準仕様設計図集及び、図示による。
別添: ステンレス 8U304 厚1.5 (ヘアライン) 別添: ステンレス 8U304 厚0.7 (ヘアライン)

内装: 鋼板 厚1.6加工

笠木・覆板(バルコニー)
アルミ製 I-503

第15章 左官工事

15.6.1 浮付仕上塗材(AEPR)
「共通仕様書」による。
種類: 外装浮塗材B
仕上: 砂塗状(ローラー)

第16章 建具工事

16.2.2 27mm厚樹脂サッシ
強度は200kg/m²以上とし、BL製品 又は BL仕様による。(別添品は除く)

16.5 ステンレスサッシ
強度は160kg/m²以上とし、BL製品 又は BL仕様による。

16.11.1(b) ガラス割出し
本装束具、若しくは: シーリングB種、又は装束具: ガスケット

第17章 塗装工事

17.1.1 材料
JIS規格品

17.8.2
VP塗は17.8.1によるA種とする。

第18章 内装工事

合板
1類とする。
指す材料表による。(断熱ビニール系エマルジョン接着剤を使用する。)

接着剤
フォームポリスチレン 押出発泡体 (A) 20 (熱伝導率0.029kcal/m²h²C)

内装断熱材
指定材料表による。

無石綿内装材

第22章 雑工事

換気パイプ
I-333) による。

クロー用スリプ
I-333-2) による。

浴室防水パン
図示による。I-501)、I-701)

壁面保護カバー
JISA 9504による。ロックウール保通機1号又は2号 100φ@25
(1) ロックウール保通機 (A) 25 (2) 鉄線 (3) アルミ箔 (4) 亀甲金網

22.2 カーテンレール
I-403) による。I-403) 30mm厚品に用いる場合は別添品(別添品は除く)に9mm厚品を併用し、別添品にて取付すること

第23章 内装パネル工事

部材及び附属部材
日本住宅パネル工業協会 製品又は、同等品以上とする。
内装材附属金物及びビス等は、見本品提出の上監督員の承諾を得て決定する事。
壁 壁ビス合板ジョイント部(フクビ デラックスジョイナー同等品以上)

壁ジョイナー

第24章 PCI法

防水
「府営住宅PC工法標準設計図集」 「共通仕様書」及び、図示による。
PC版コンクリート強度 180kg/cm²

ジョイント部コンクリート
PC版ジョイント部コンクリート強度 210kg/cm² 標準仕様設計図15m/m以下
高性能AE減水剤を用いて単位水重200kg/m³以下とする。

その他

平成 年 月 日	監理 主 幹 係 長	主 査 担 当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室			阪一増-92-4PC-(4)(4)1半-②-60301	1.8.9号棟 特記仕様書	A-2
株式会社 共同建築事務所			阪一増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	縮尺	

指定材料表

<p>1. コンクリート基礎等</p> <p>RC床 JIS A 5310 (連心力鉄筋コンクリート) の規格品 PC床 JIS A 5335 (プレテンション方式連心力プレストレストコンクリート) の規格品 PHC床 (高強度力PHC) コンクリート JIS A 5337 (プレテンション方式連心力高強度プレストレスト コンクリート) の規格品</p> <p>2. 基礎等</p> <p>鋼管杭 JIS A 5525 (鋼管杭) の規格品 鋼管杭 JIS A 5526 (H型鋼杭) の規格品</p> <p>3. 欠陥劣化 (常用コンクリートの場合)</p> <p>異形鉄筋 JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒) の規格品又は、JIS G 3117 (鉄筋コンクリート用再生棒) の規格品 丸鋼 (A種) JIS G 3112のSR235の規格品又は、JIS G 3117のSR235の規格品 丸鋼 (B種) 共通仕様書5.1.3.5に定める試験の結果が下記のいずれかの規格に合格するもの JIS G 3112のSR235 JIS G 3117のSR235 鋼筋金網 JIS G 3551 (鋼筋金網) の規格品</p> <p>4. ガス圧注入</p> <p>圧縮工 圧縮工は、工事に相応したJIS S 3081 (ガス圧縮機) における試験方法及び規定基準による検査を行い、検査証明書を監督員に提出して承認を受けた者とする</p> <p>5. レザーミグストコンクリート</p> <p>1項の場合 JIS A 5308 (レザーミグストコンクリート) のJIS表示許可工事で製造されたコンクリート</p> <p>6. セメント</p> <p>JIS B 5210 (ポルトランドセメント) に規定する、普通、早強、超早強、中熱低水熱ポルトランドセメント又は、下記、低水熱ポルトランドセメントに規定するA種とし、JIS B 5211 (セメント) の異常耐熱性の判定基準に合格するもの JIS B 5211 (高熱セメント) JIS B 5212 (シリカセメント) JIS B 5213 (フライアッシュセメント)</p> <p>7. 砕石</p> <p>JIS A 5005 (コンクリート用砕石) に規定するもので、かつ共通仕様書6.2.1 表及び6.2.2 に示す品質のもの</p> <p>8. 人工集積材</p> <p>構造用 アクリライト → 日本セメント㈱ 字印用 → 字印用 セイライト → セイライト工業㈱ (東京) セメント → 住友セメント㈱ (東京) ナイオライト → 三井セメント㈱ (東京) ナイオライト → 大塚セメント㈱</p> <p>9. 浮き平口金等</p> <p>A B材 山本化学㈱、シェルコン㈱、W-R グレース㈱ A B材 花王石鹸㈱、神戸材料㈱、山本化学㈱、サンフロー㈱、シェルコン㈱、竹本油研㈱、W-R グレース㈱、日本セメント㈱、調剤薬品工業㈱、ボジリス物産㈱</p> <p>10. 鋼棒</p> <p>A種 共通仕様書7.2.1 表により、JIS の名称、材料、規格品の規定などは、特記による B種 共通仕様書7.2.7(6)に定める試験結果がそれぞれの JIS規格に合格するもの</p> <p>11. 高力ボルト</p> <p>JISの高力ボルト JIS G 1106 (厚鋼板用高力六角ボルト、六角ナット、平座金のセット) の規格品 特殊高力ボルト 建築基準法に基づき規定されたもの</p> <p>12. 普通ボルト</p> <p>六角ボルト JIS B 1180 (六角ボルト) による中3種の規格品 六角ナット JIS B 1181 (六角ナット) による中3種の規格品 ナット並目ネジ JIS B 0205 (ナット並目ネジ) により、ネジの等級はJIS B 0209 (ナット並目ネジ) の許容範囲寸法及び公差の3種とする 座金 JIS B 1258 (平座金) のみかき丸の規格品</p>	<p>13. 鋼製開口部</p> <p>JIS G 3350 (一般鋼製開口部) の規格品</p> <p>14. コンクリートブロック</p> <p>JIS A 5406 (空型コンクリートブロック) による規格品</p> <p>15. ALCパネル</p> <p>JIS A 5416 (オートクレープ養生した軽量気泡コンクリート製品) のパネルの規格品</p> <p>16. アスファルト防水 (材)</p> <p>アスファルト JIS E 2207 (石油アスファルト) による防水工事用アスファルト アスファルトルーフィング JIS A 6006 (アスファルトルーフィング) による製品 砂付ルーフィング JIS A 6007 (砂付ルーフィング) による製品 剛状アスファルトルーフィング JIS A 6012 (剛状アスファルトルーフィング) による合成繊維ルーフィング ストレッチルーフィング JIS A 6022 (ストレッチルーフィング) による製品 穴あきルーフィング JIS A 6023 (穴あきルーフィング) による製品</p> <p>17. アスファルト防水 (施工者)</p> <p>近畿防水事業協同組合、GMAアスファルト防水工事業協同組合、東海アスファルト防水工事業協同組合、東日本アスファルト防水工事業協同組合、日本アスファルト防水工事業協同組合、全日本アスファルト防水工事業協同組合、東アスファルト工業株式会社</p> <p>18. 合成高分子ルーフィング防水 (シート防水)</p> <p>JIS A 6008 (合成高分子ルーフィング) の規格品 加減ゴム系</p> <p>19. 合成高分子張り防水 (塗膜防水)</p> <p>JIS A 6021 (膜防水用塗膜材) の規格品 アクリル樹脂系</p> <p>20. モルタル防水</p> <p>西日本建設防水協同組合加盟業者の責任施工</p> <p>21. シーリング、コーキング</p> <p>弾性コーキング JIS A 5751 (建築用弾性コーキング材) の規格品 シリコンシーリング JIS A 5758 (建築用シリコン材) のシリコン系シーリング材 (SR) の表示品 但し、JIS A 5757 (建築用シリコン材の耐熱耐油性) について公的試験所の試験結果の届けられたもの 耐久性 9000 ポリサルファイドシーリング JIS A 5759 (建築用シリコン材) のポリサルファイド系シーリング材 (PS) の表示品 但し、要項は上記に同じ 耐久性 8020 ポリウレタンシーリング JIS A 5758 (建築用シリコン材) のポリウレタン系シーリング材 (PU) の表示品 但し、要項は上記に同じ 耐久性 7020 アクリルシーリング JIS A 5758 (建築用シリコン材) のアクリル系シーリング材 (AC) の表示品 但し、要項は上記に同じ 耐久性 7010 プチルゴムシーリング JIS A 5758 (建築用シリコン材) のプチルゴム系シーリング材 (HU) の表示品 但し、要項は上記に同じ 耐久性 7005</p> <p>22. 防水モルタル</p> <p>防水剤 ウォータイト、ゲルカ、シキ、シンケン、マノール、ユニオン、ロクス</p> <p>23. アルミニウム製足金 (製作所)</p> <p>公共住宅用B1. 部品メーカーとする</p> <p>24. 鋼製足金 (製作所)</p> <p>スチールドア 公共住宅用B1. 部品メーカーとする スチールフラッシュドア 公共住宅用B1. 部品メーカーとする レザリング 公共住宅用B1. 部品メーカーとする</p>	<p>25. 木製足金 (製作所)</p> <p>木製フラッシュドア 公共住宅用B1. 部品メーカーとする</p> <p>26. 鋼製足金 (製作所)</p> <p>JIS A 6009 (鋼製足金) による鋼製足金</p> <p>27. 鋼製足金 (製作所)</p> <p>鋼製足金 JIS N 5511 (鋼製足金) の規格品 鋼製足金 JIS N 5516 (鋼製足金) の規格品 100.2M 鋼製足金 JIS N 5622 (鋼製足金) の規格品 100.2M 鋼製足金 JIS N 5628 (鋼製足金) の規格品 鋼製足金 JIS N 5627 (鋼製足金) の規格品 AM, 8M 鋼製足金 JIS N 5621 (鋼製足金) の規格品 100 鋼製足金 JIS N 5663 (鋼製足金) の規格品 100 鋼製足金 JIS N 5531 (鋼製足金) の規格品 鋼製足金 JIS N 5572 (鋼製足金) の規格品 100 (一般用), 200 (鋼製足金) 鋼製足金 JIS N 5582 (鋼製足金) の規格品 100</p> <p>28. 鋼製足金 (製作所)</p> <p>鋼製足金 JIS A 5537 (鋼製足金) による製品 (鋼製足金) (エポキシ樹脂系) 鋼製足金 JIS A 5538 (鋼製足金) による製品 (鋼製足金) (エポキシ樹脂系) 鋼製足金 JIS A 5539 (鋼製足金) による製品 (鋼製足金) (エポキシ樹脂系) 鋼製足金 JIS A 5539 (鋼製足金) による製品 (鋼製足金) (エポキシ樹脂系)</p> <p>29. ステンレス足金 (製作所)</p> <p>公共住宅用B1. 部品メーカーとする</p> <p>30. 鋼製足金 (製作所)</p> <p>公共住宅用B1. 部品メーカーとする</p> <p>31. フォームポリスチレン足金 (製作所)</p> <p>JIS A 5511 (ポリスチレンフォーム) の規格品とする</p> <p>32. 鋼製足金 (製作所)</p> <p>大塚プラスチック㈱、協和製作所㈱</p> <p>33. ガストコンテナ (製作所)</p> <p>クレーン方式 → 船越工業㈱ ロータリッド方式 → 富士工業㈱ ロッドバック方式 → 富士工業㈱</p> <p>34. FRP足金 (製作所)</p> <p>公共住宅用B1. 部品メーカーとする</p>	<p>35. 鋼製足金 (製作所)</p> <p>JIS A 5416 (鋼製足金) による製品</p> <p>36. 鋼製足金 (製作所)</p> <p>JIS A 5416 (鋼製足金) の規格品</p> <p>37. 鋼製足金 (製作所)</p> <p>ニューNラックス → ニチアス㈱ NCボード → 日光化成㈱ セルフレックス → 鋼アス㈱ 鋼製足金 → 鋼アス㈱ ダイナミックセメント → 鋼アス㈱ 上記同等品以上 → 大塚工業㈱</p> <p>38. 鋼製足金 (製作所)</p> <p>ニューNラックス → ニチアス㈱ NCボード → 日光化成㈱ セルフレックス → 鋼アス㈱ 鋼製足金 → 鋼アス㈱ ダイナミックセメント → 鋼アス㈱ 上記同等品以上 → 大塚工業㈱</p>
---	---	---	--

平成 年 月 日	大塚府建築部 営繕室 株式会社 共同建築事務所	主任 係長 主査 担当 〇 〇 〇 〇	建物型式名 版-増-92-4PC-(4)(4)1半-⑧-60301 版-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	図面名称 1-8-9号棟 指定材料表 縮尺	図面番号 A-3
----------	----------------------------------	------------------------	--	-----------------------------	-------------

外部仕上表

	床	壁	屋根	窓	バルコニー	欄	備	備
下地	合板型現場打コンクリート	PC板引毛引 モルタル増厚毛引 (既存バルコニー隣面部)	PC板金ごて押入	PC板	PC板金ごて押入			
仕上	コンクリート素地 木コンはモルタル詰め	壁AEPR	両面アスファルト断熱防水 (庇部:両面アスファルト防水) (PCジョイント部は防水処理の上、両面アスファルト断熱防水)	屋根下面及び昇、AEPR	床:PC板金ごてのまま 排水溝:防水モルタルごて押入、水勾当付 (PCジョイント部、防水処理の上モルタル金ごて押入) 下面及び昇:AEPR(但し1階バルコニー下面のみPC板素地)	落し口:鉄製排水用目及びフロアー用排水 レイン:1-344 壁:壁貫通パイプ・給管(VP) 100°75°50°(JIS K 6741) (アクリル色) 1-346	鉄部:OP 木部:OP	
備考	床下換気口:150φ (合成樹脂製ガラリ付) 1-331	エキスパンションジョイントカバー (特記仕様による) 多目的スリプ:詳-103 換気カバー:壁貫通パイプのみ 詳-501	屋根ドレイン 75φ、アルミ製塗木 詳-503 エキスパンションジョイントカバー 1-100・104 TVアンテナ用基礎:詳-402		物干金物(アルミ製):詳-401 手摺(アルミ製)格子:詳-101 階板(アルミ製):1-322 詳-102 垂直避難口:ステンレス製			

内部仕上表

室名	床		中木		壁		天井		木鉄部 塗装	備考
	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地		
洋室	パネル(化粧)		木製(内装部品)		パネル(化粧) 防湿膜の上 パネル(化粧)		パネル(化粧)			多目的スリプ:詳-103 詳-302 インサート:1-333-(1)
洗面所	長尺幅ビシート 172.3貼	パネル下地	木製(内装部品)		パネル(化粧) 塩ビ合板 174		パネル(化粧)			天井点検口(内装部品) 洗面機用防水パン(設備工事) 洗面台(設備工事) 台所排気ダクト(設備工事) カーテンレール 詳-403 天井裏換気ガラリ 詳-502 スリプ 1-333-(2) 地点検口
浴室	浴室防水パン				防湿膜(2mm厚)のうえ 防湿合板(12mm厚)のうえ 鉄線入り強化ガラス板 (黒点部)φ75 PC板の上VP(A種)		ガラス製化粧繊維洗 入り強化ガラス板(黒点部) φ5.0			バランス釜取付枠:C-009 浴室壁付手摺(内装部品) リライズ3207(L) 開口部取付:黒石綿セメントフレキシブル板 176 (外面のみVP) 浴室換気口:塩ビスリプ 150×150 (外部:防湿膜付プラスチック製ガラリ 内部:プラスチック製レジスター) 浴室防水パン:詳-601,701 天井点検口:(内装部品) 1-332 2-1E 1F
物入	パネル				防湿膜の上パネル		パネル			

凡例

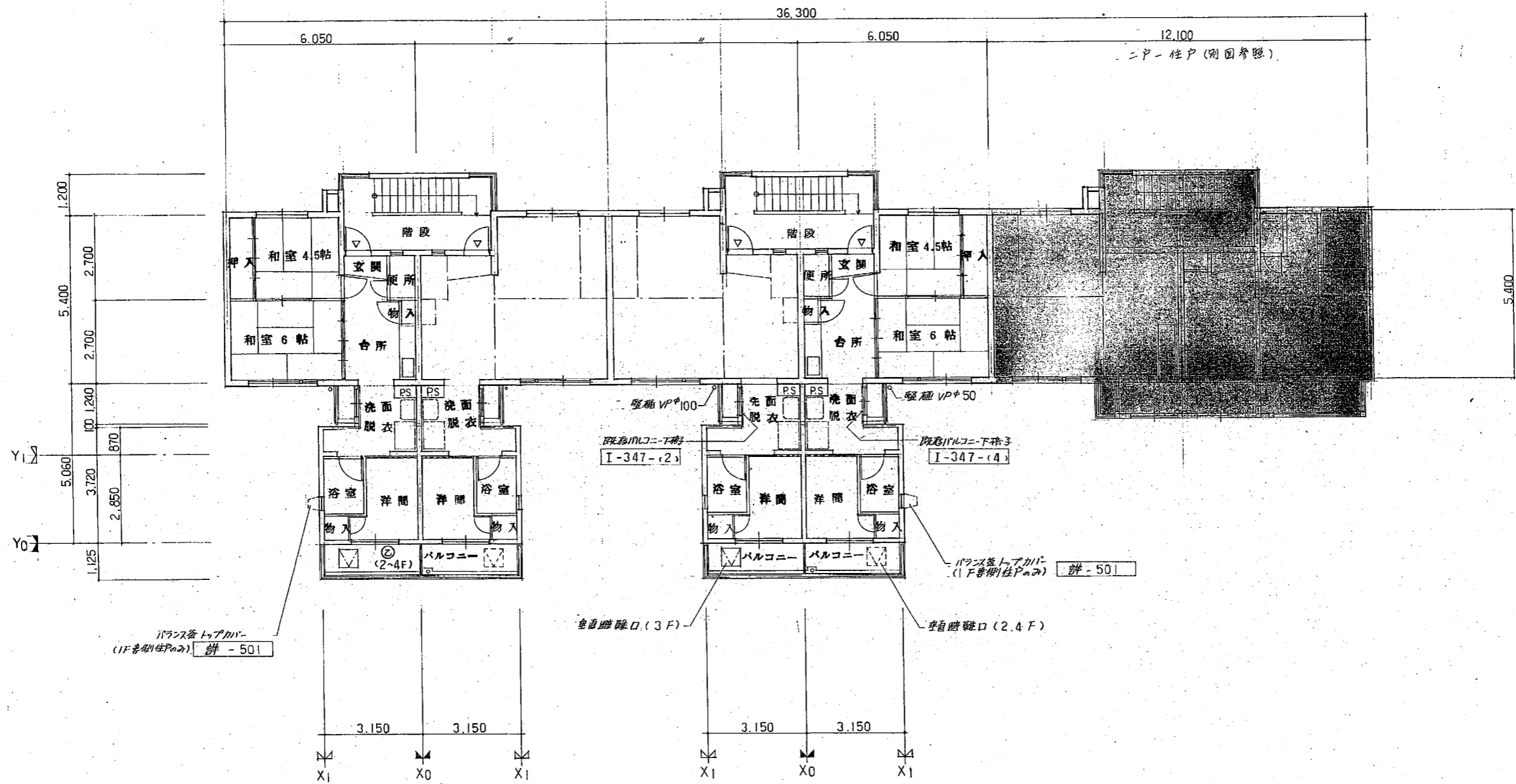
AEPR:外壁用薄塗材E 砂炭状ローラー仕上
V P:塩化ビニール樹脂エナメル塗
O P:合成樹脂顔料合ペイント塗
O S:油性ステイン塗

防水目地材
防水(B) シリコンシーリング材
防水(C) ポリサルファイド系シーリング材
防水(D) ウレタン系シーリング材
防水(F) プチルゴム系シーリング材
防水(G) 建築用油性コーキング材

注記
・パネル、木柱、中木、床(洗面、脱衣の既設建築物を除く)は、内装部品とする
・洋間の防湿壁の断熱材は内装部品外とする
・洗面脱衣の塩ビ合板(T/F 174)は、日本住宅パネル工業共同組合(パネ協)の製品、又は同等品以上とする
・パネルの仕上は内装部品図による

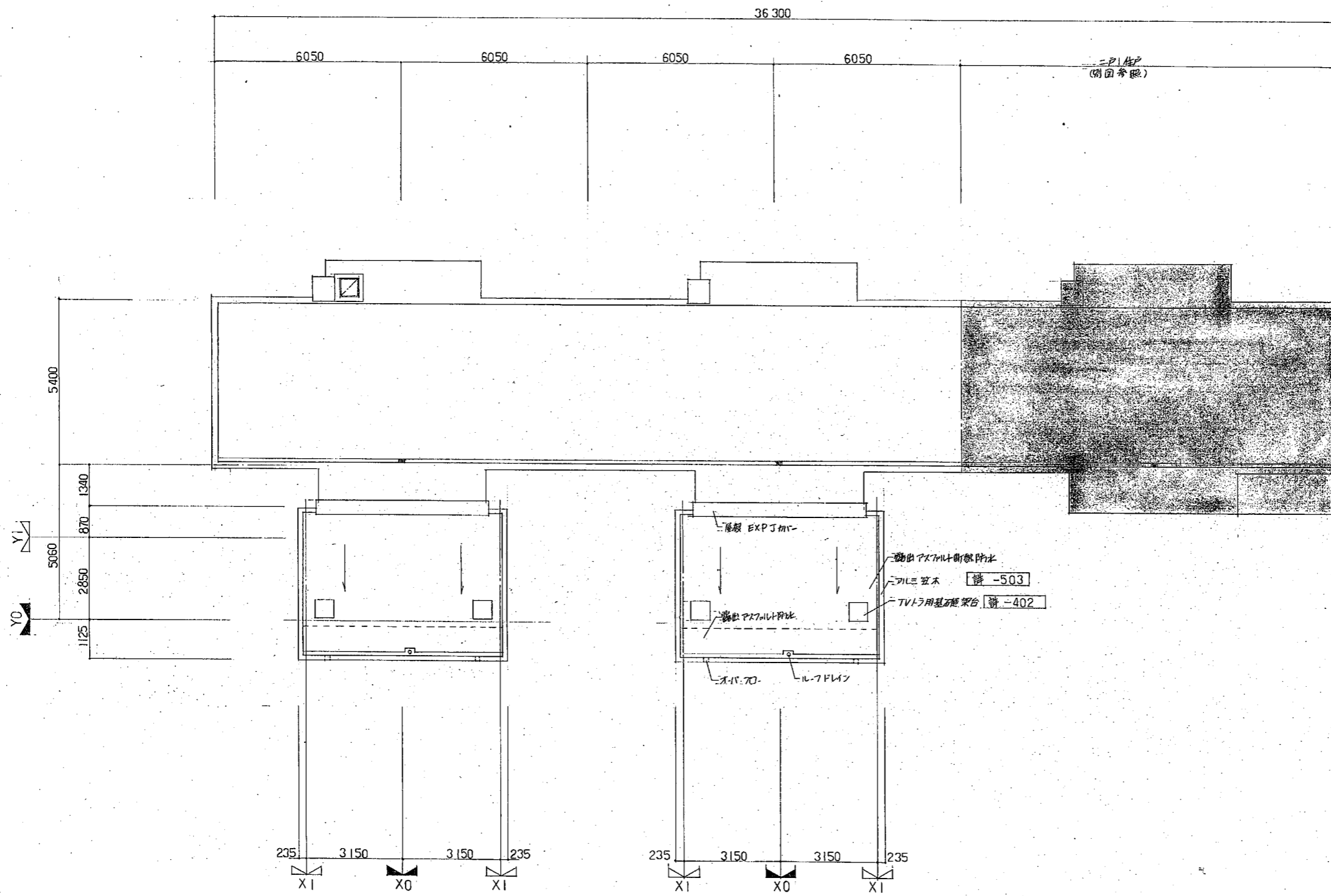
・1-00:大阪府建築部建築住宅改修(旧建築)標準仕様書番号を示す
・C-00:大阪府住宅PC工法標準仕様書番号を示す
・詳-00:本設計図特殊仕様書番号を示す

平成	年月日	営繕	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	1号棟	図面番号
		大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	仕上表		A-4
		株式会社						縮尺		
		共同建築事務所								



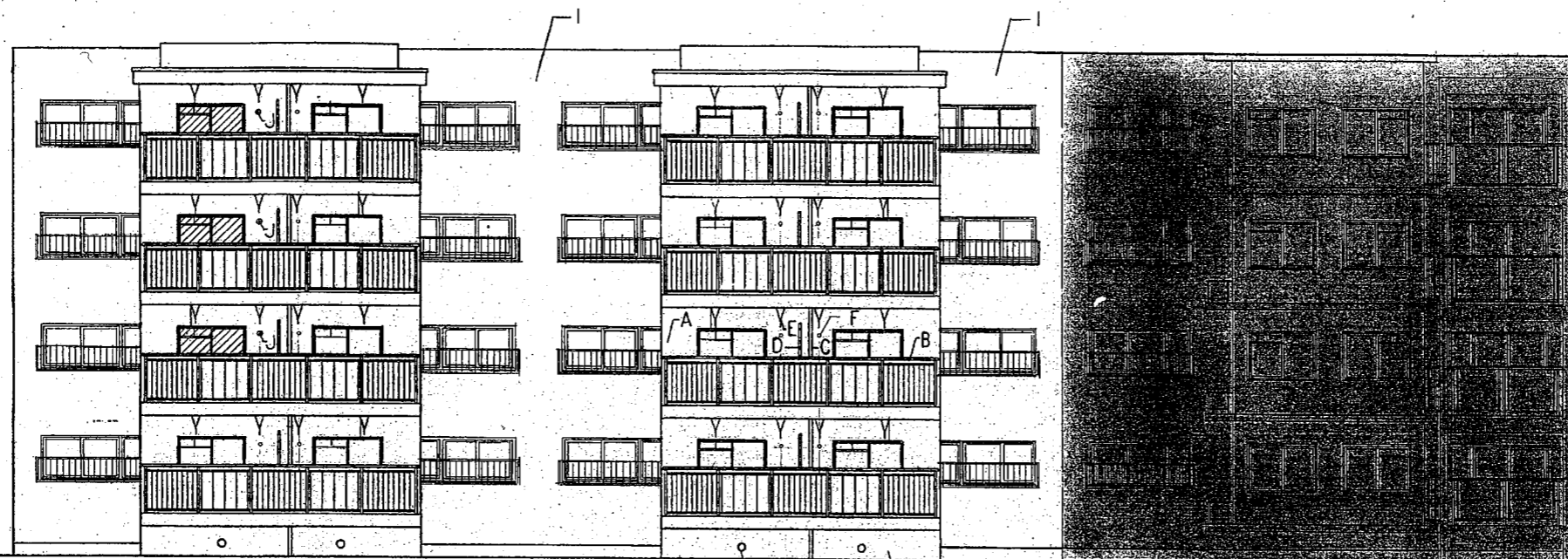
※ ②は乙種防火戸を示す。

平成 年月日	主任	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	1 号棟	図面番号
大阪府建築部 営繕室						阪-増-92-4PC-(3半)(3)- 900 -60301	平面図		A-6
株式会社 共同建築事務所							縮尺	1:100	



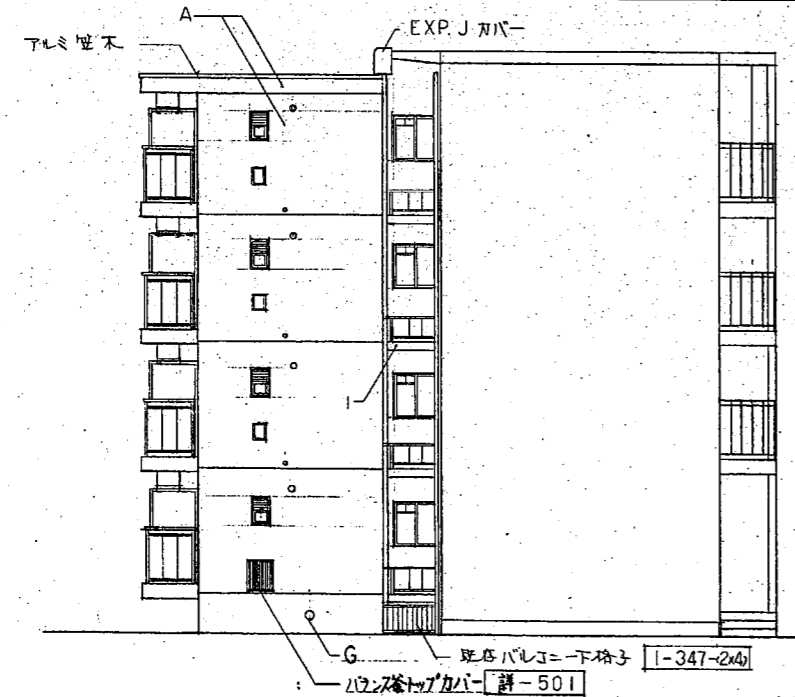
平成	年月日	宮	主	幹	係	長	主	査	担	当	建物型式名	図面名称	1 号棟	図面番号
											阪-増-92-4PC-(3半)(3)- 900 -60301	屋根伏図		A-7
												縮尺		
												1:100		

※ 斜線部分が乙種防火戸

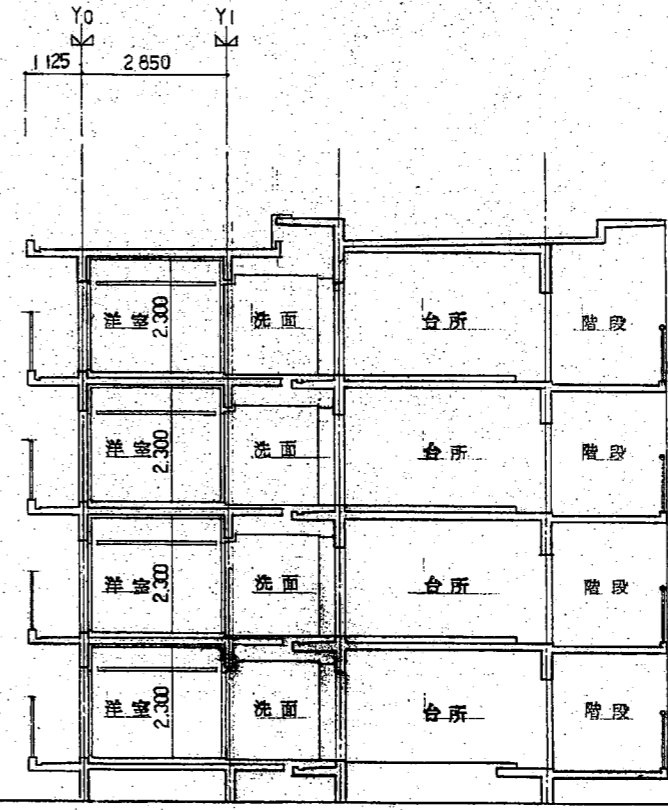
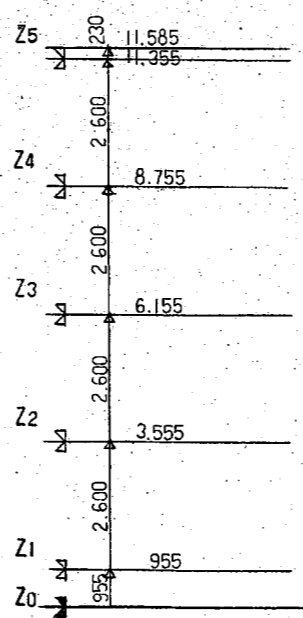


仕 上 凡 例			
記号	仕 上	記号	仕 上
A	PC版の上AEPR	G	床下換気孔
B	バルコニー手摺	H	コンクリート素地
C	窓 框 VPφ75	I	足腰下地処理の上AEPR
D	バルコニー隔板	J	多目的スリッパφ75 (FDB付)
E	物干金物		
F	多目的スリッパφ65		

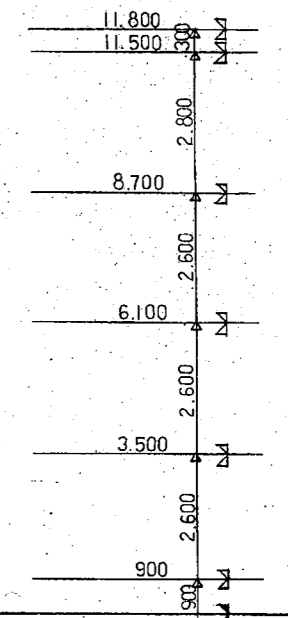
立面図 1/100



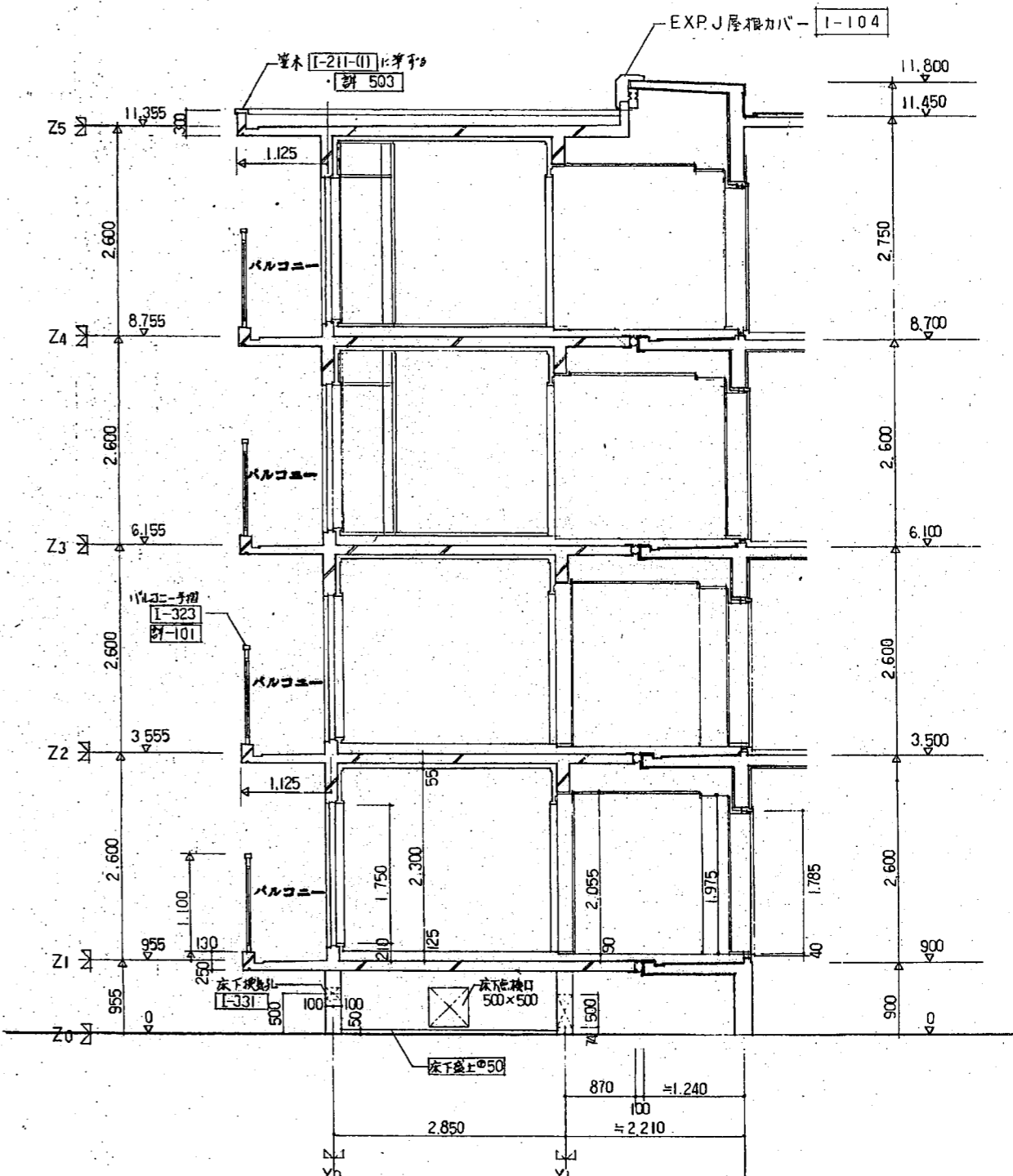
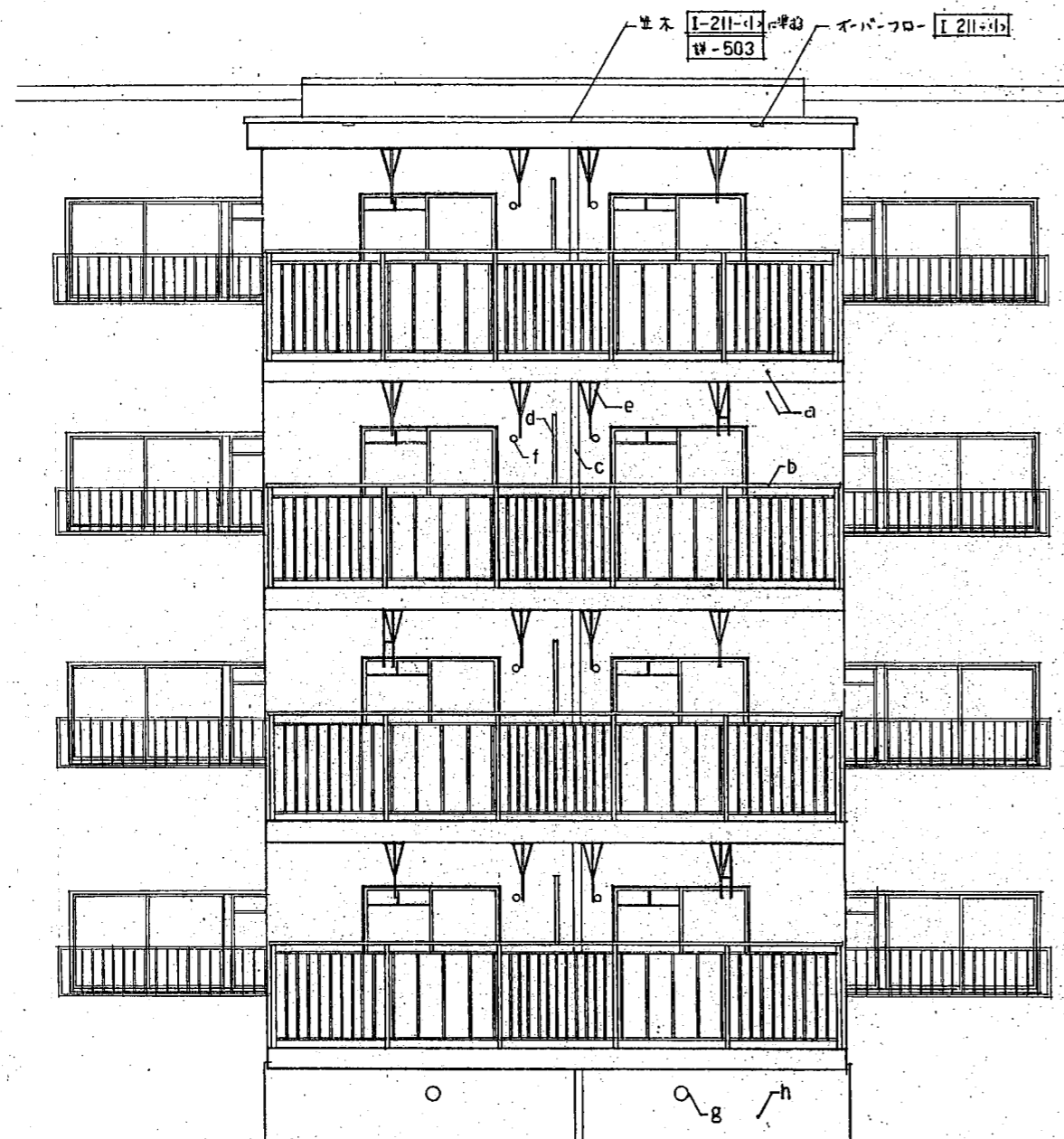
立面図 S=1/100



断面図 S=1/100

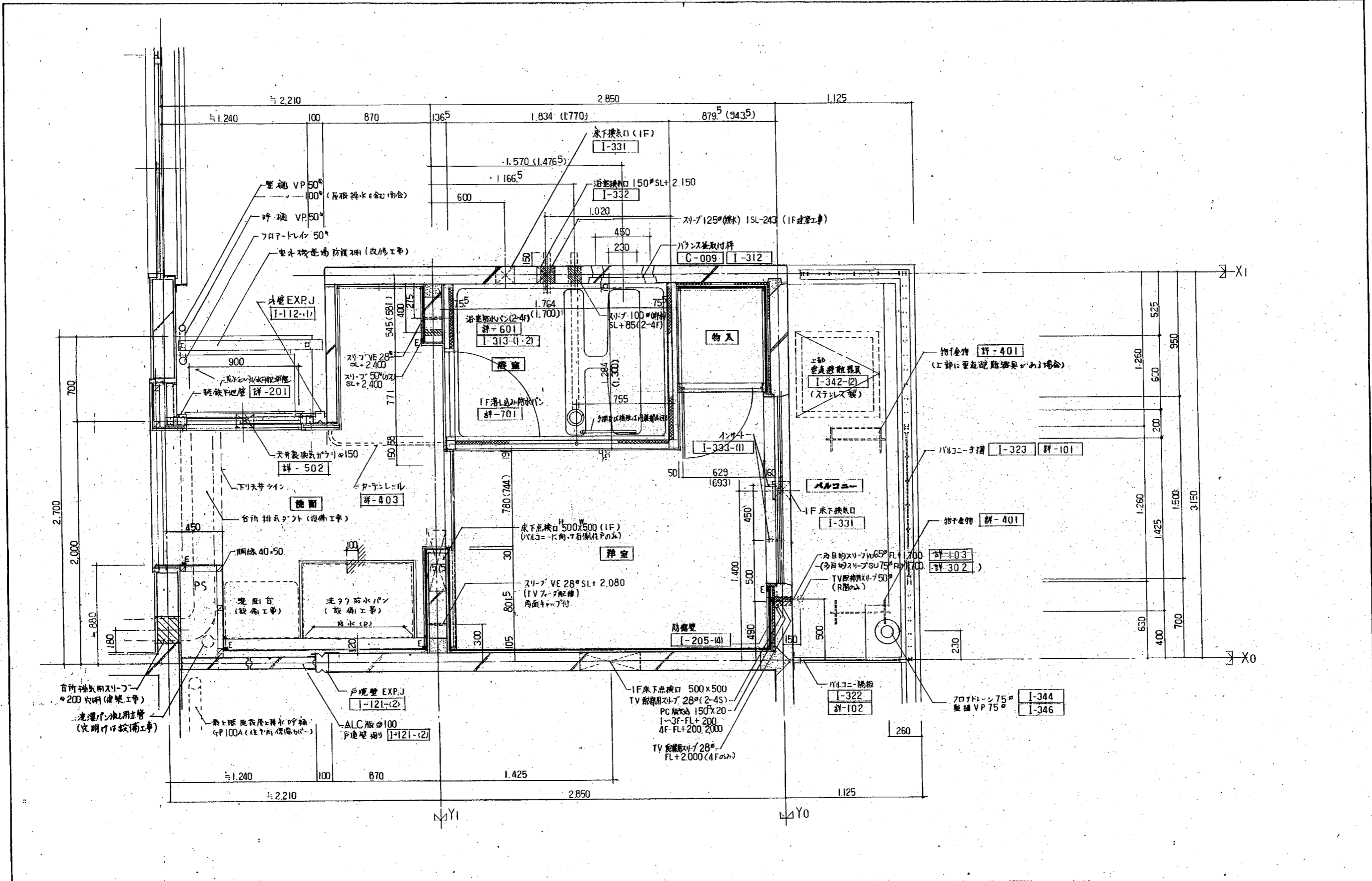


平成 年月日	営繕監	主幹係長	主査担当	建物型式名	図面名称	1 号棟	図面番号
	大阪府建築部 営繕室			阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	立面図・断面図		A-8
	株式会社 共同建築事務所				縮尺	1:100	



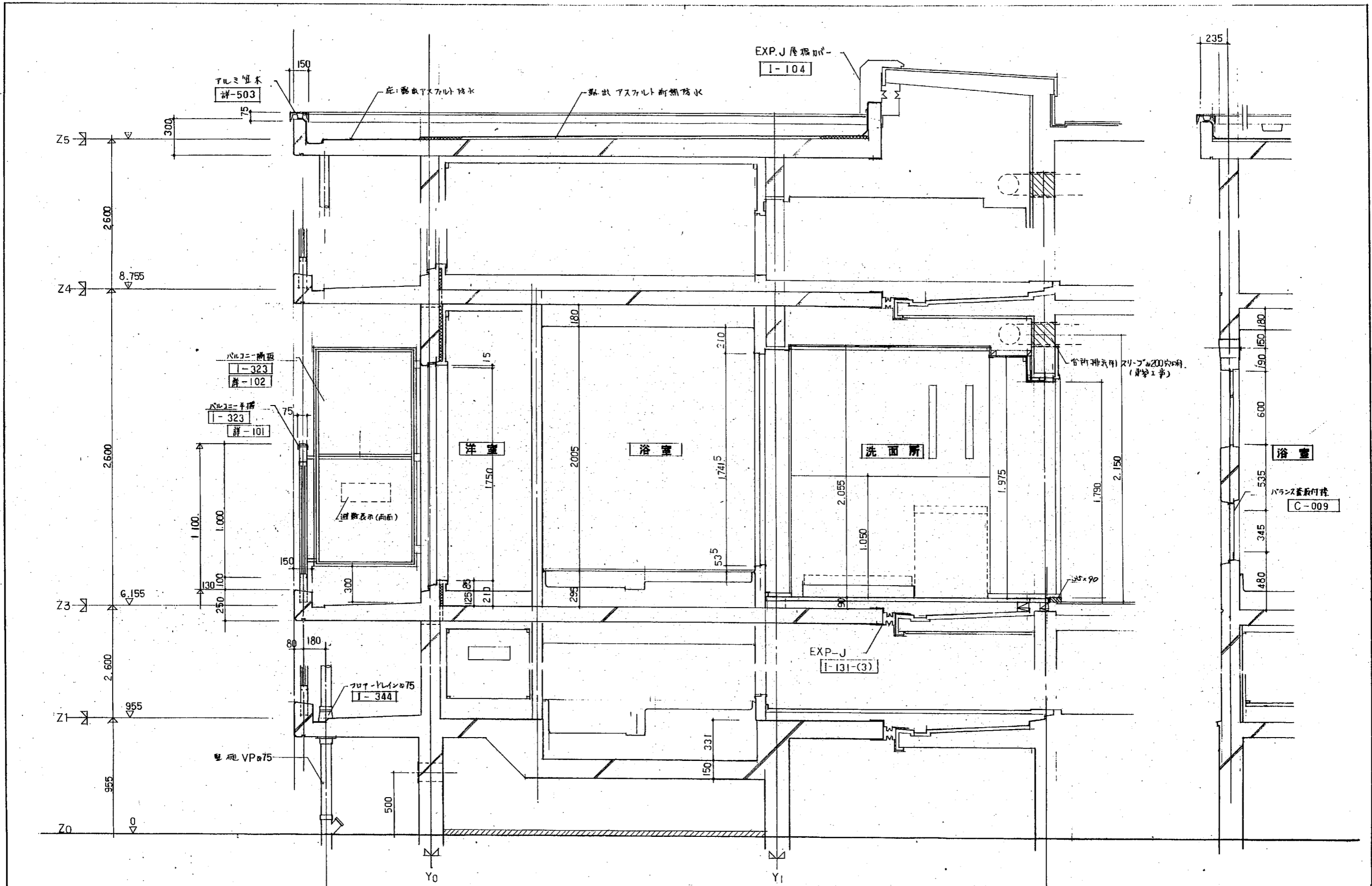
立面図凡例	
a PC版上AEPR	f 多目的スリーブφ65
b バルコニー手摺	g 床下換気孔
c 窓枠VPφ75	h コンクリート系地
d バルコニー床板	
e 網子金物	

平成 年 月 日	営繕主任 係長 主査 担当	建物型式名	図面名称	1 号棟	図面番号
大阪府建築部 営繕室		阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	立面図		A-12
株式会社 共同建築事務所			縮尺		
			1:50		

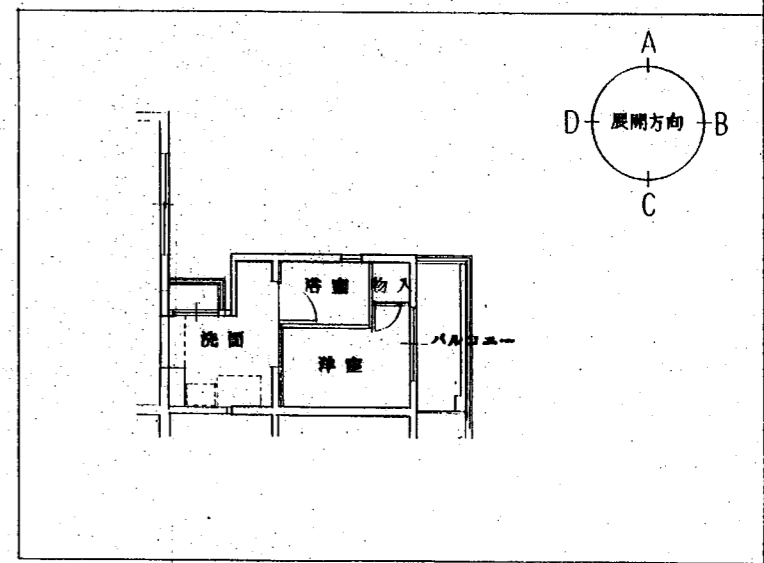
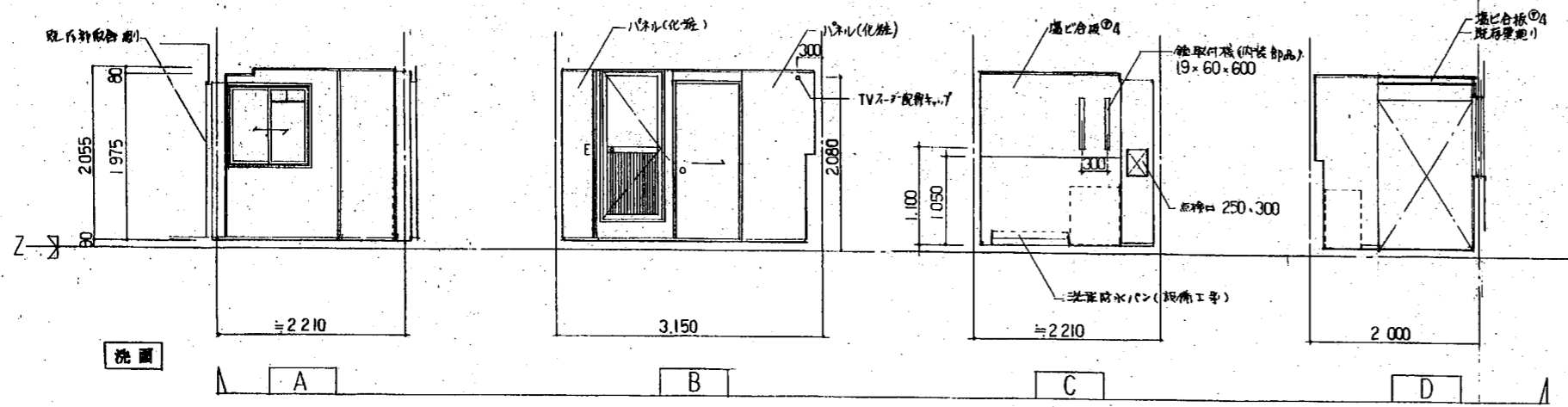
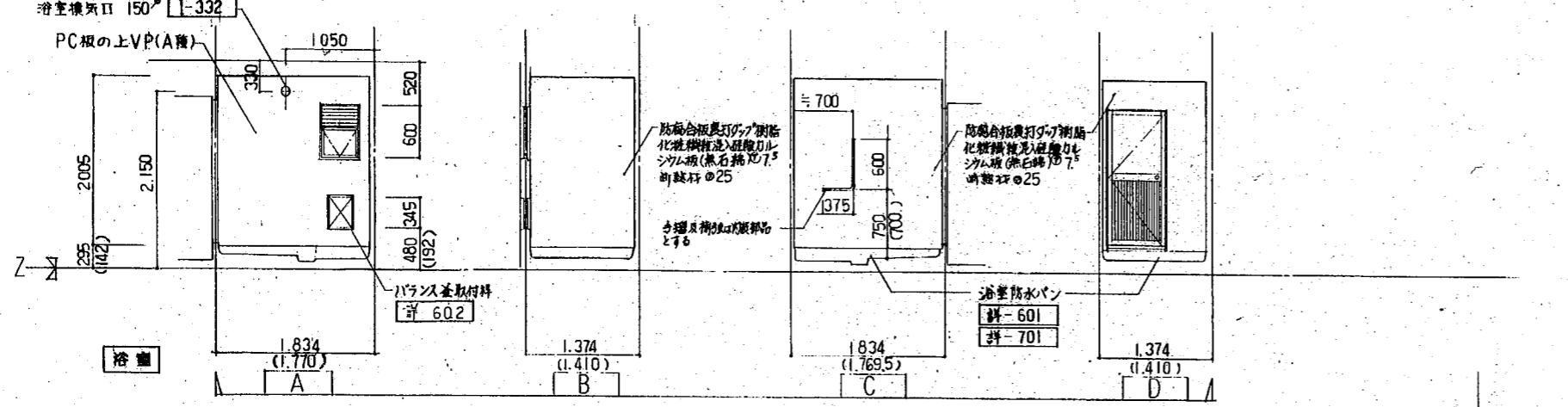
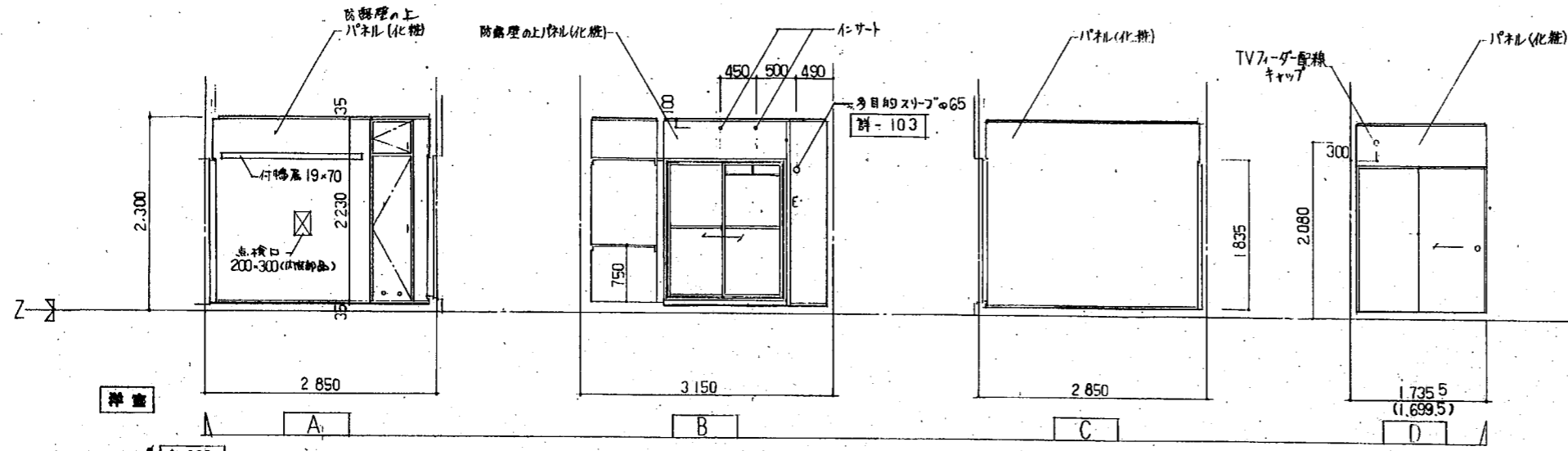


※ () 内 数値は 1F 表示
 外部に配管が設置される場合は、その配管の径を明示する。

平成 年 月 日	監理	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	1 号棟	図面番号
	大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	平面詳細図		A-13
	株式会社						縮尺		
	共同建築事務所						1:20		



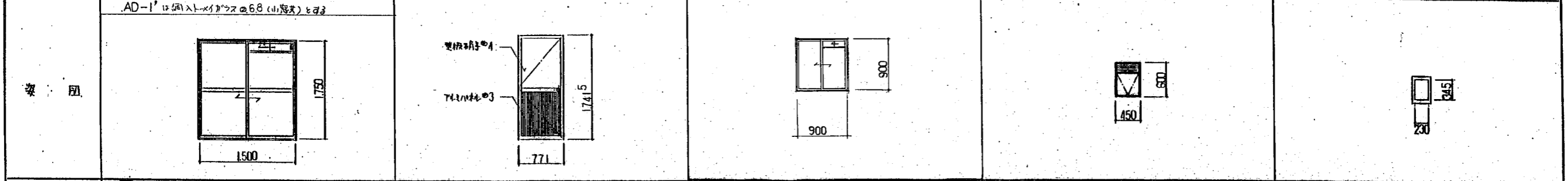
平成	年月日	営繕監	主幹係長	主査担当	建物型式名	図面名称	1号棟	図面番号
大阪府	建築部	営繕室			販-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	断面詳細図		A-14
株式会社	共同建築事務所					縮尺	1:50	



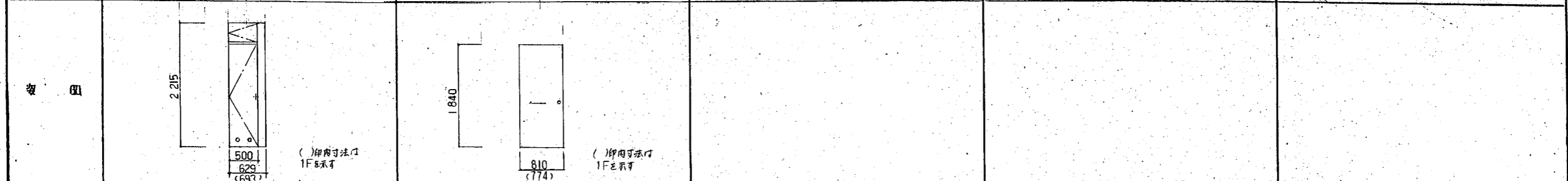
※ ()内 数値は 1F 表示す

平成 年月日	営繕監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	1号棟	図面番号
	大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(3半)(3)- 900 -60301	展開図		A-15
	株式会社						縮尺		
	共同建築事務所						1:50		

	AD (2時)	AD (内装部品)	AW	SUS	SUS
型式	アルミ製引違戸	アルミ製引違戸	アルミ製引違戸	ステンレス製、上部可動付、下部内倒し窓	ステンレス製、上部可動付
場所	和室	浴室	洗面所	浴室	浴室
材料	BL製品	アルミ押出型材	BL製品	BL製品	BL仕様
見込	70+(20)	30	70+(20)	25	30
硝子	透明硝子φ3 (IF下部φ4型硝子) 換気小窓透明φ5	透明硝子φ4 (内装部品外) 下部アルミ枠φ3	型硝子φ4、透光小窓φ20φ6、小窓印字硝子1ヶ所	型硝子φ4	
仕上	BL製品		BL製品	BL製品	BL仕様
附属金物	7Lセト1組 (相しIF枠、ローフス7Lセト仕様) 片取パロン4ヶ、小窓用硝子1ヶ、小窓印字硝子1ヶ、硝子用封止	ステンレス製 板丁番62ヶ 3ヶ所、吸盤、戸当	フレット1組 (IFのみローフスフレット仕様) 戸当710×4ヶ、小窓用硝子1ヶ、透光小窓φ20φ6、Fフレット4ヶ	ハード付付フック1ヶ、内倒しストッパー1ヶ 可動付硝子装置	
備考	BL-1575、PC用硝子	スチール硝子 (内装部品)	BL-0909S	BL-SUSQ/30S、PC用硝子、内倒し角度17°	PC用硝子 I-312



	WD (内装部品)	WD			
型式	木製片開きフラッシュ戸	木製片開き戸			
場所	和室	浴室			
材料	和室	BL仕様による			
見込	27	30			
硝子					
仕上	建具: 板金板φ27(4面) (硝子: 透明硝子φ27(4面) 硝子用パネルの25(片面) 丁番(27 ^{mm}) 2ヶ、(F76 ^{mm}) 3ヶ、ステンレス製角型ハンドル(φ4) 2ヶ Fダコム(φ: 30 ^{mm}) 2ヶ、ローフセット(小) 3ヶ	塩ビ合板φ4 ステンレス製板底引き(90 ^{mm}) 2ヶ 戸車(パロン) 2ヶ			
附属金物	プラスチック製ドアキャップ (外径65φ 2ヶ)				
備考					



AD-2「浴室扉」仕様

①アルミ型材 アルミニウム合金押出型材 A6063 S T5 JISH 4100 普通級にする
表面処理 JISH 3602 SDH-16(9)B

②上部パネル 型硝子φ4 (内装部品外)

③下部パネル アルミポリエチレン複合板
アルミ0.2+ポリ2.6+アルミ0.2

④ドアガスケット E.P.T (セパシ712)×9ヶ所

⑤板前(吸盤) SUS 304 (JIS G 4305) 4ヶ所

⑥板丁番 " 62^{mm} 3枚吊

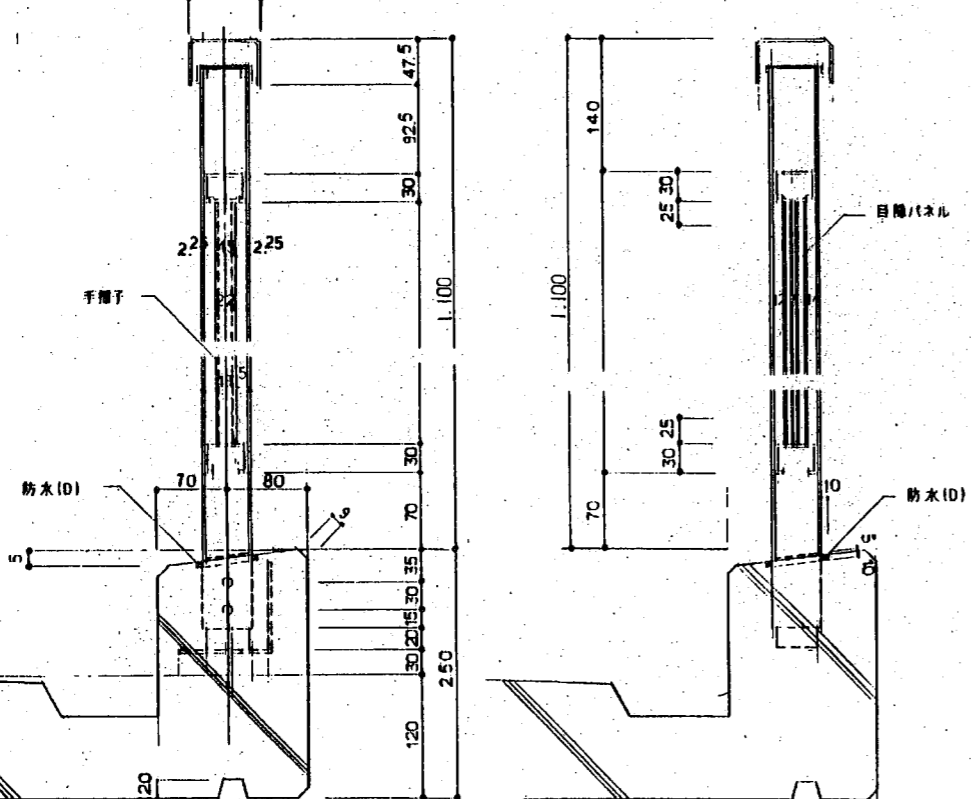
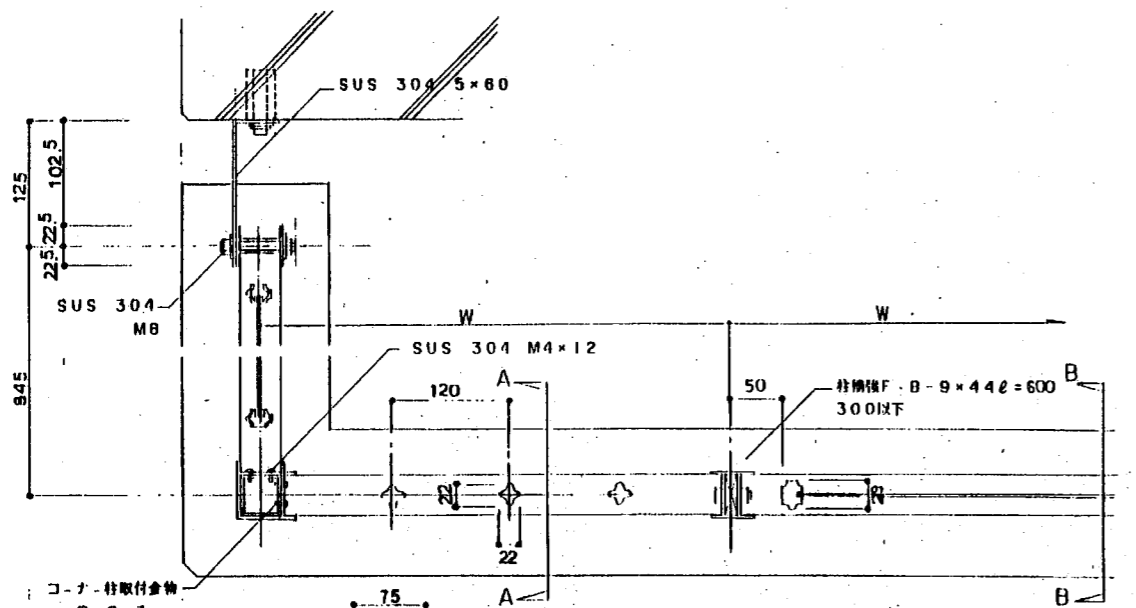
⑦上扉付戸当り "

建具平面図 1:100

天井伏図 1:100

材名	A パネル(化粧)
	B パネル
	C グラップ樹脂化粧繊維強化珪酸カルシウム板(厚5 ^{mm})φ50
	D PC板の上AEPR
	E 材
	天吊点換口
	照明器具取付補強板(φ10以上)
	カーテンレール(アルミ)
備考	

平成 年月日	設計者	主幹	係長	主査	担当	建築物式名	図面名称	1 号線	図面番号
	大阪府建築部 営繕室					阪-増-92-4PC-(3半)(3)- 900 -60301	建具表 天井伏図		A-16
	株式会社 共同建築事務所						縮尺 1:50 1:100		

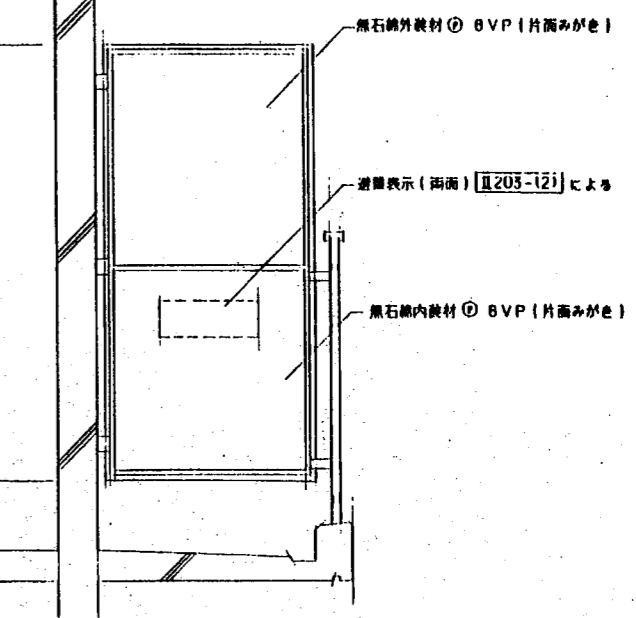
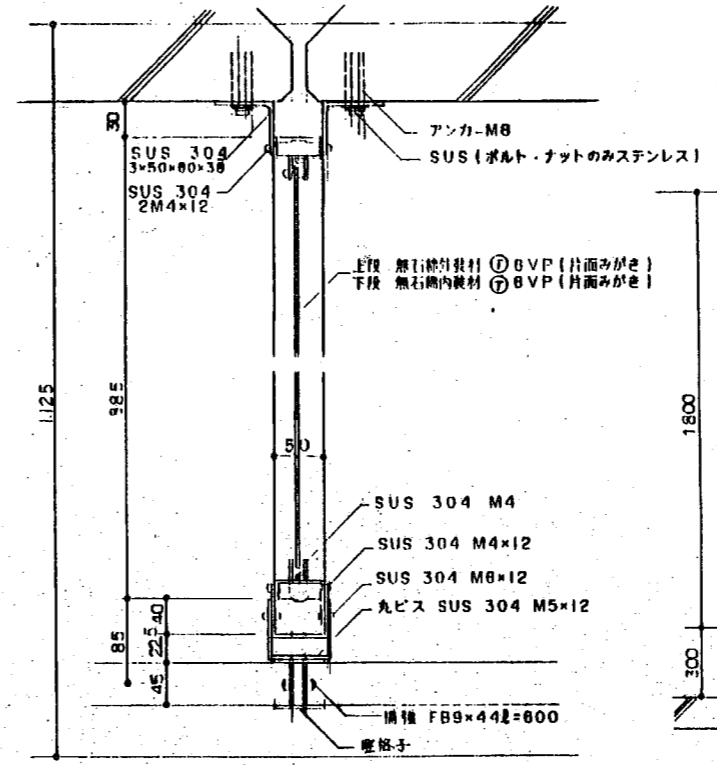


A-A 断面図

B-B 断面図

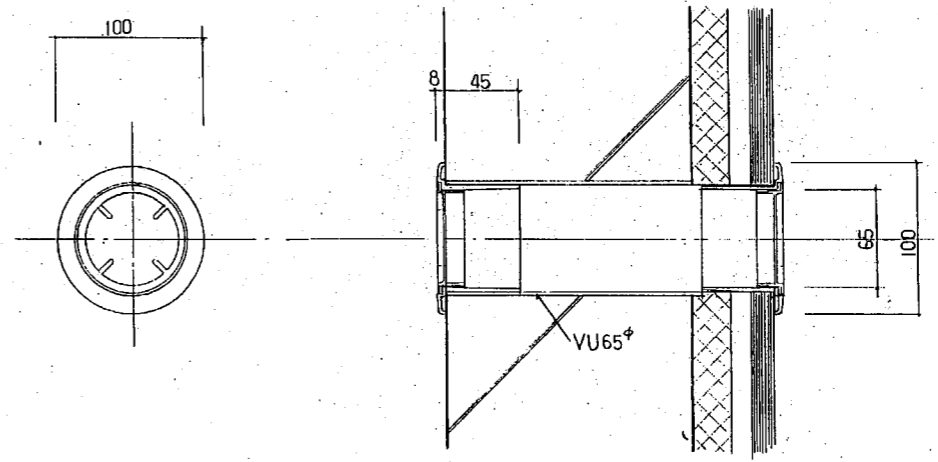
説明事項
 BLメーカー品とする。
 強度 BL仕様による(150kg.製品)
 目隠パネル アルミポリウレタン複合板 BLによる。

名称	バルコニー手摺	
縮尺	1:5	番号 詳-101



説明事項
 材料 JIS-H-4100のA80B3S-T5による
 形状 本図は、メーカー形状とする
 表面仕上げ JISH8602のSEH-21(9)-RBとする

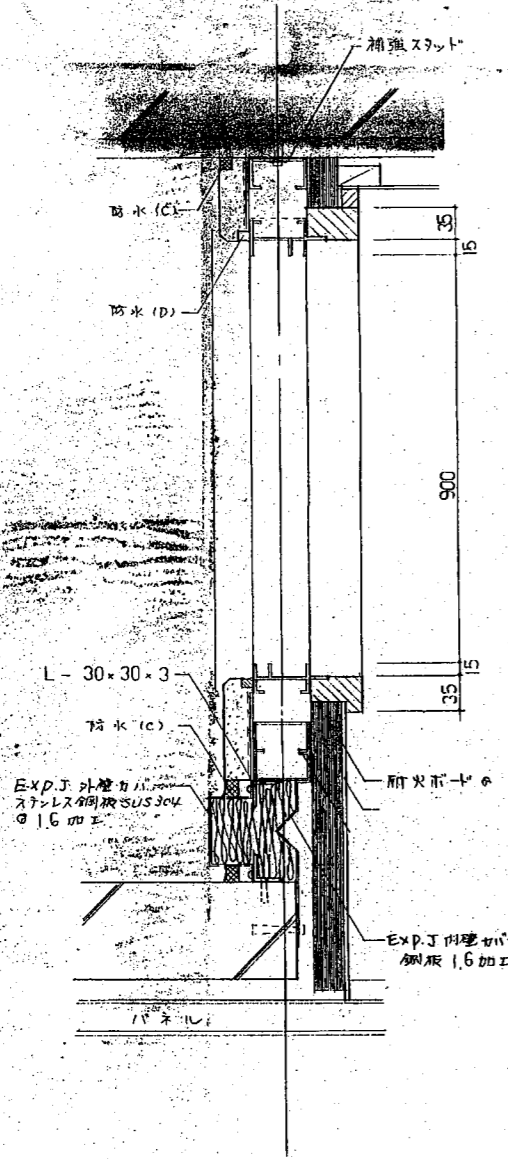
名称	バルコニー隔板・目隠し板	
縮尺	1:5 1:20	番号 詳-102



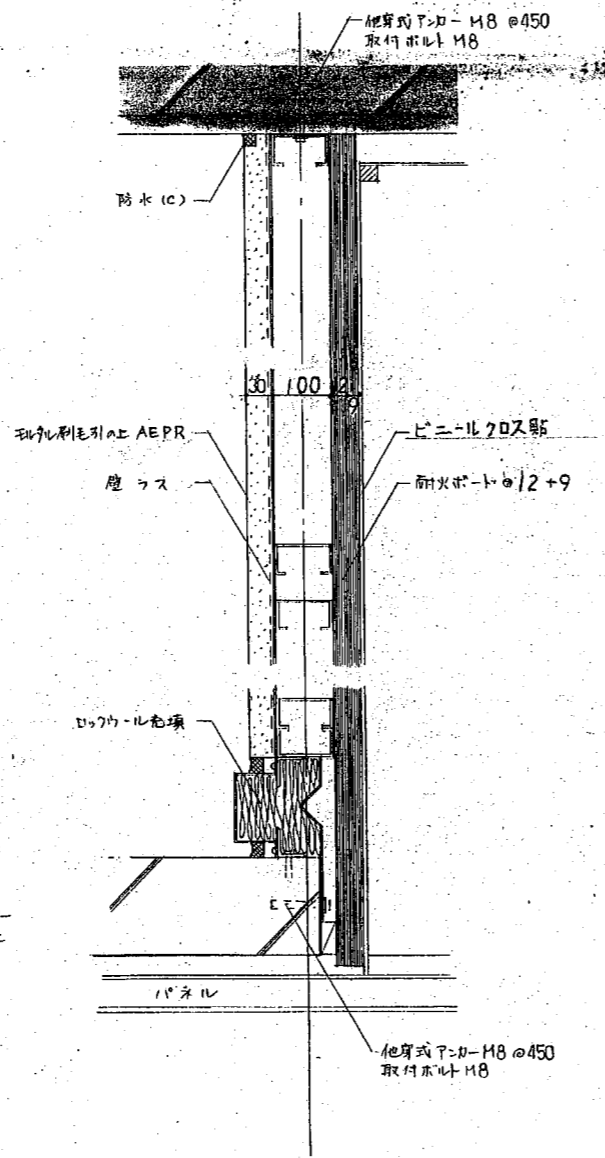
説明事項
 材料 ABS樹脂 オフホワイト色

名称	多目的 スリーブ	
縮尺	1:3	番号 詳-103

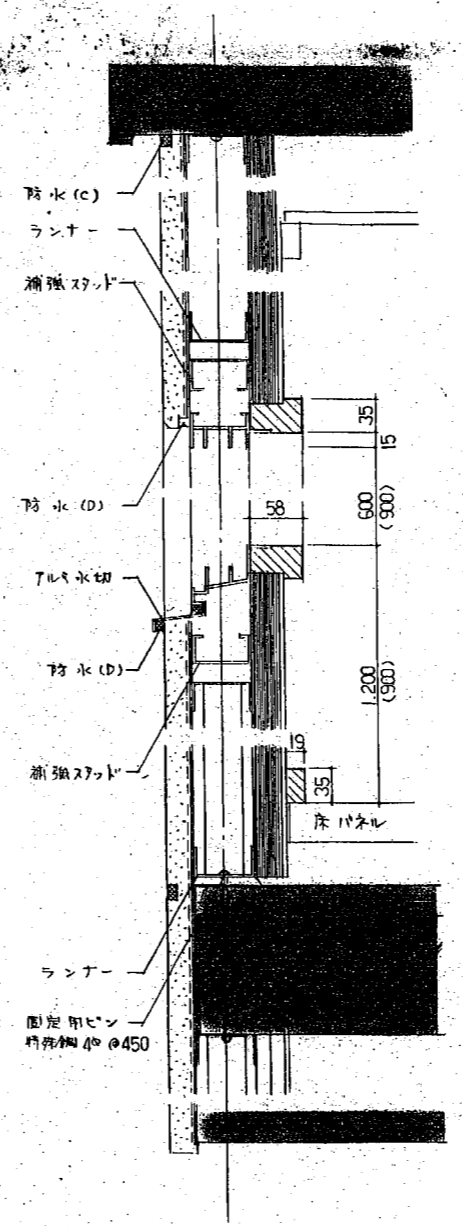
平成 年月日	監理 主幹係長 主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室		阪-増-92-4PC-(4)(4)1半-⑧-60301	特殊詳細図 (1)	A-23
株式会社 共同建築事務所		阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	縮尺	



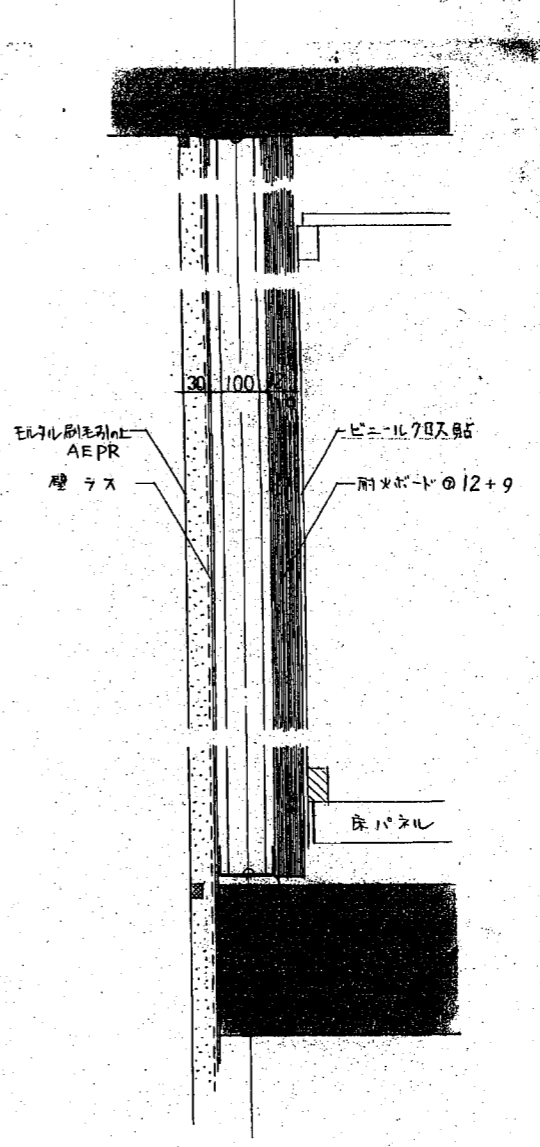
平面詳細図 1:5



平面詳細図 1:5



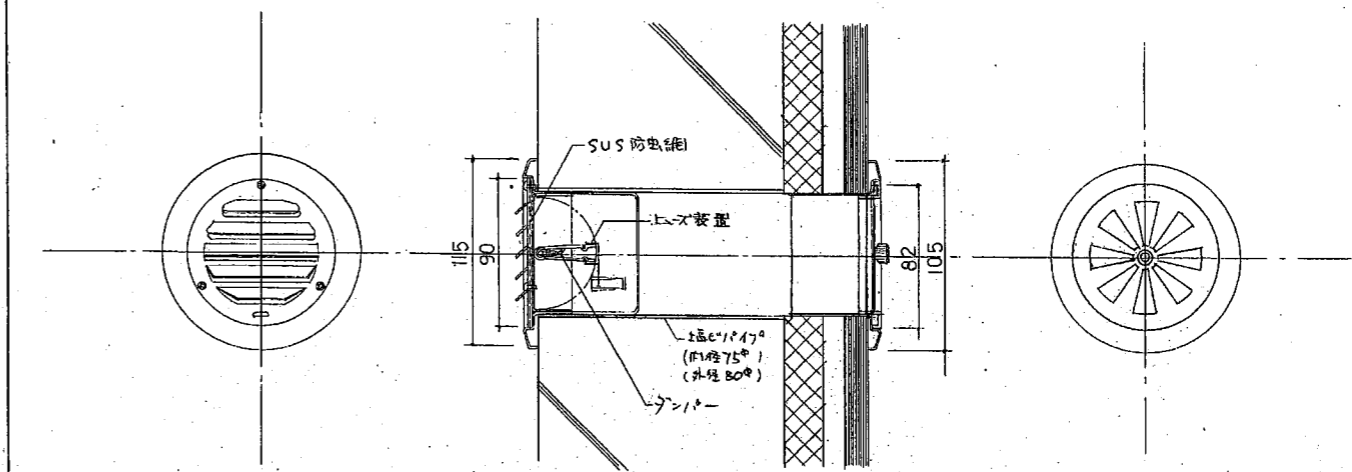
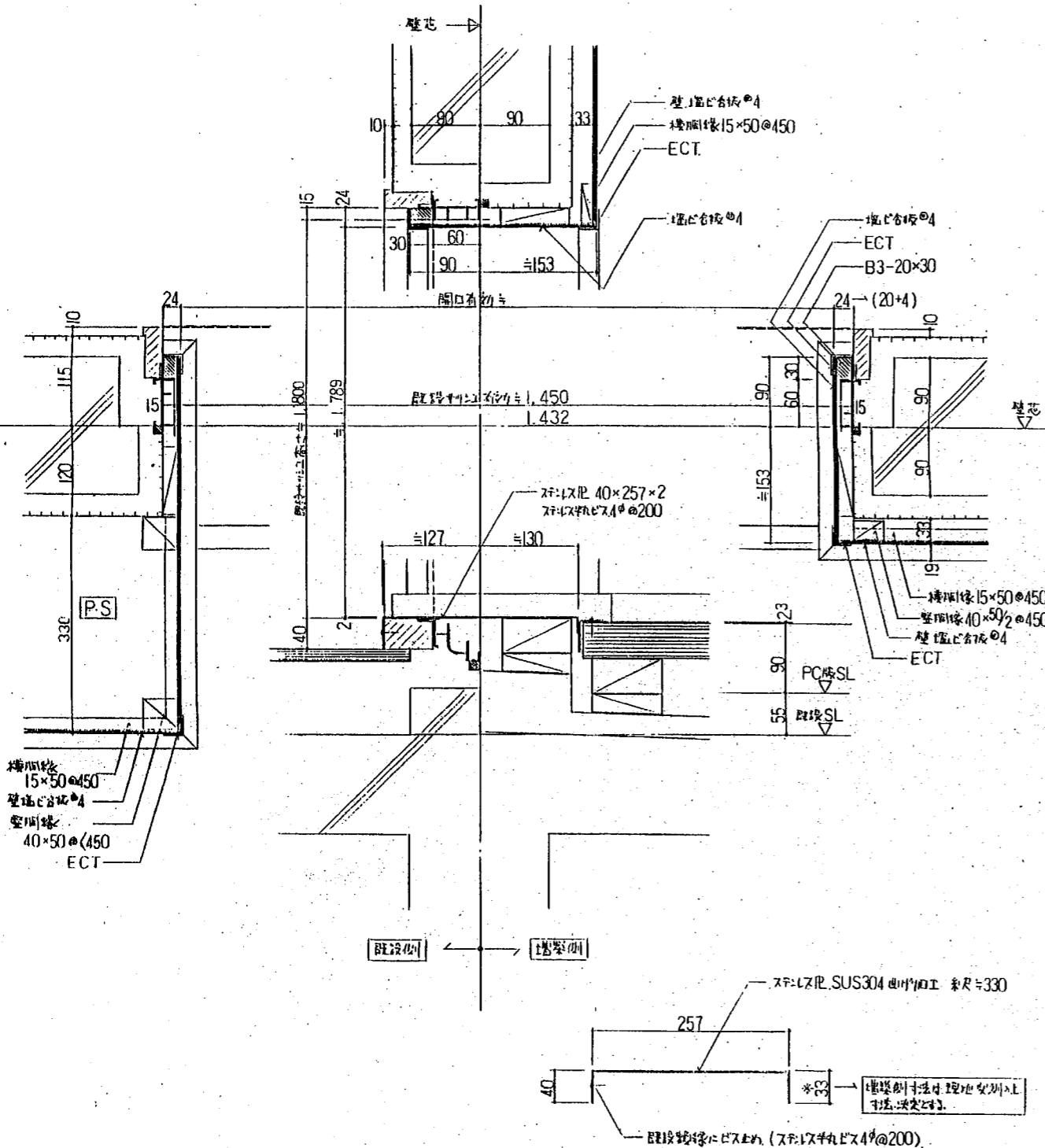
断面詳細図 1:5



断面詳細図 1:5

竣工図

説明事項	平成 年 月 日 監理 主幹 係長 主査 担当 建物型式名						名称	軽量鉄骨部		
	大阪府建築部 営繕室						縮尺	1:5	番号	詳-201
株式会社 共同建築事務所							図面名称	特殊詳細図(2)	図面番号	A-24
							縮尺			

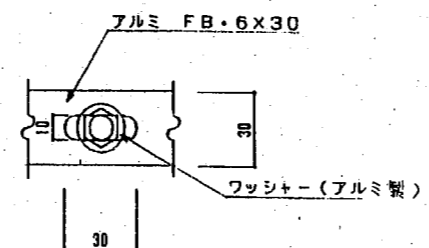
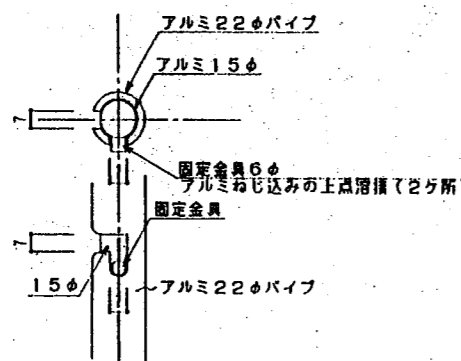
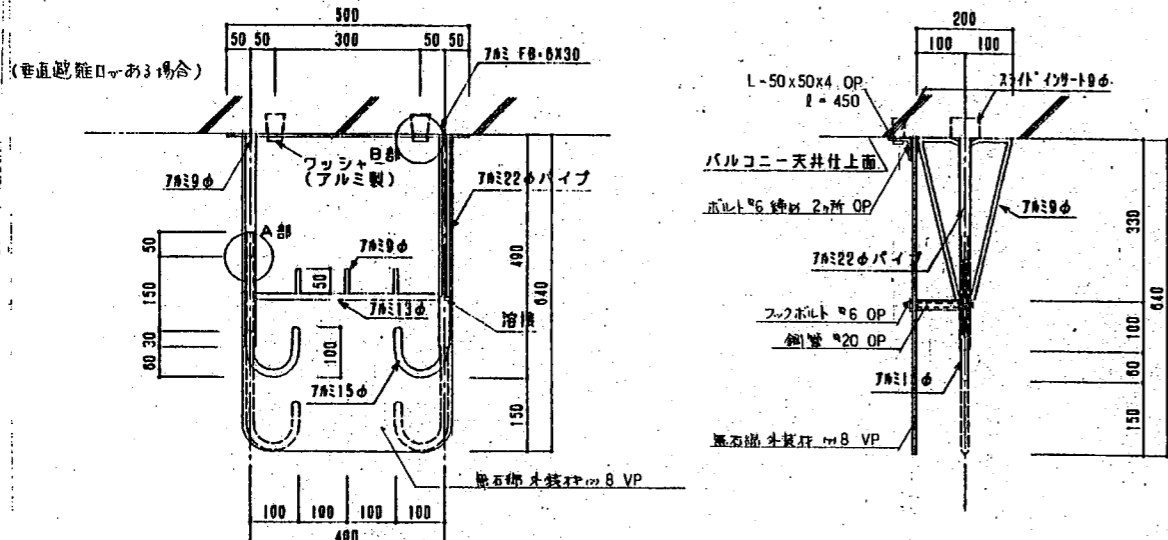
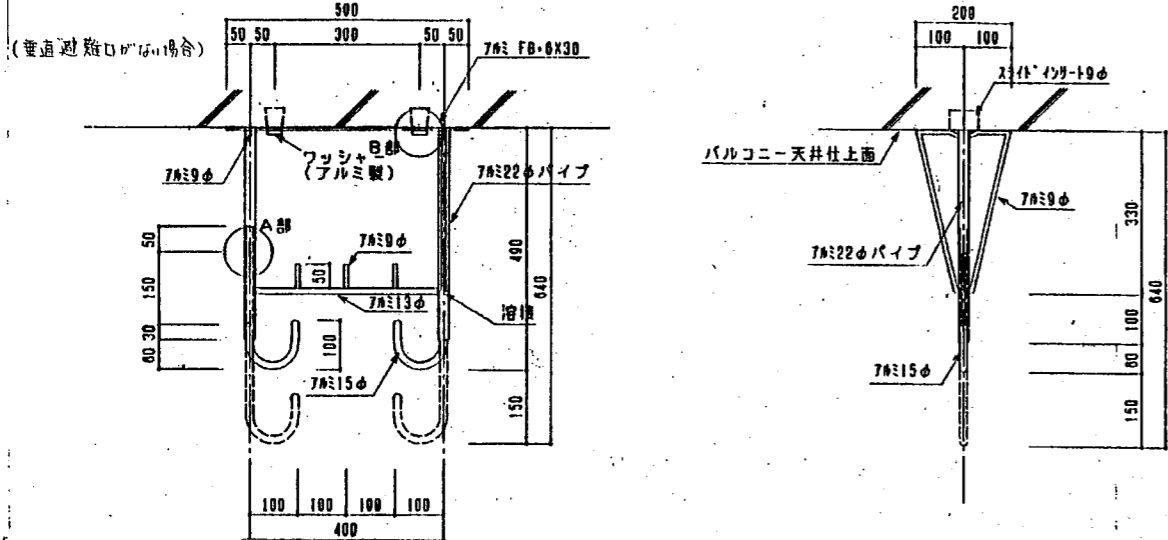


説明 再考 再考	外側用 ケーブル製 (ステンレス) DK 75ACAGD (大建アラス) 同号 内側用 ケーブル ABS樹脂 (アポワイト) DK 75ACM (") 同号		名称	多目的スリーブ (FD付)	
	縮尺	1:3	番号	詳-302	

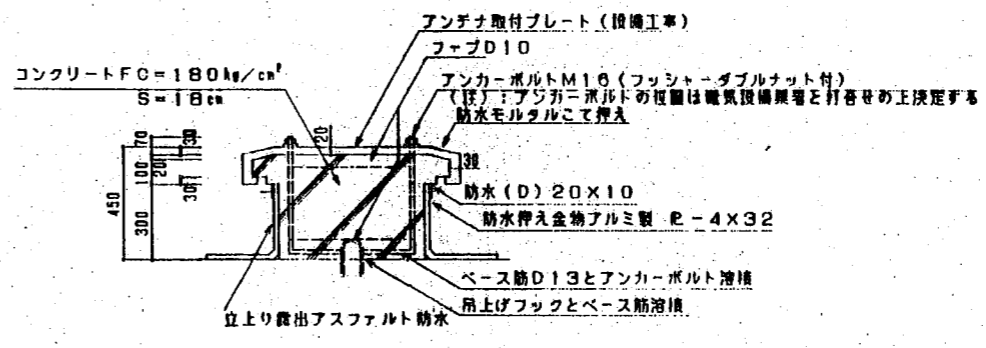
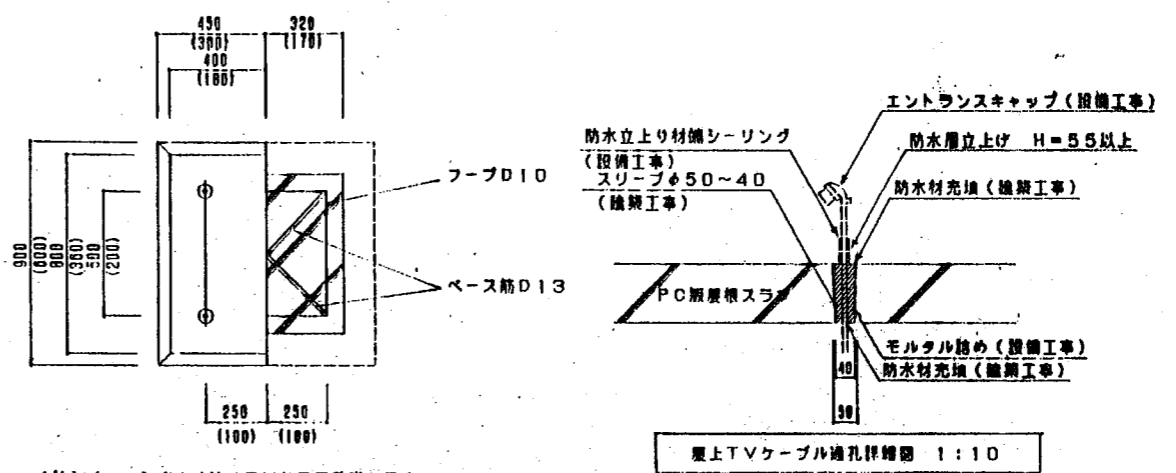
説明事項
上記の他、既存壁廻りは [I-204] に依る。
——、既存床廻りは [I-203(2)] に依る。

名称	既設、出入口廻り詳細図	
縮尺	1/5	番号 詳-301

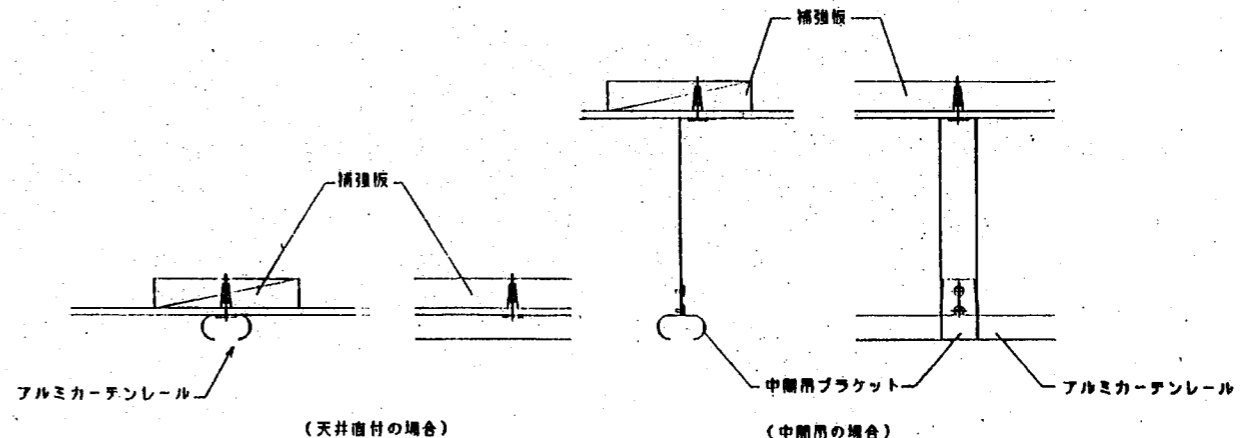
平成 年月日	賞 主 幹 係 長 主 査 担 当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室		阪-増-92-4PC-(4)(4)1半-⑧-60301	特殊詳細図 (3)	A-25
株式会社 共同建築事務所		阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	縮尺	



説明事項	名称	増築バルコニー物干金物
	縮尺	1:10, 1:2
	番付	詳-401

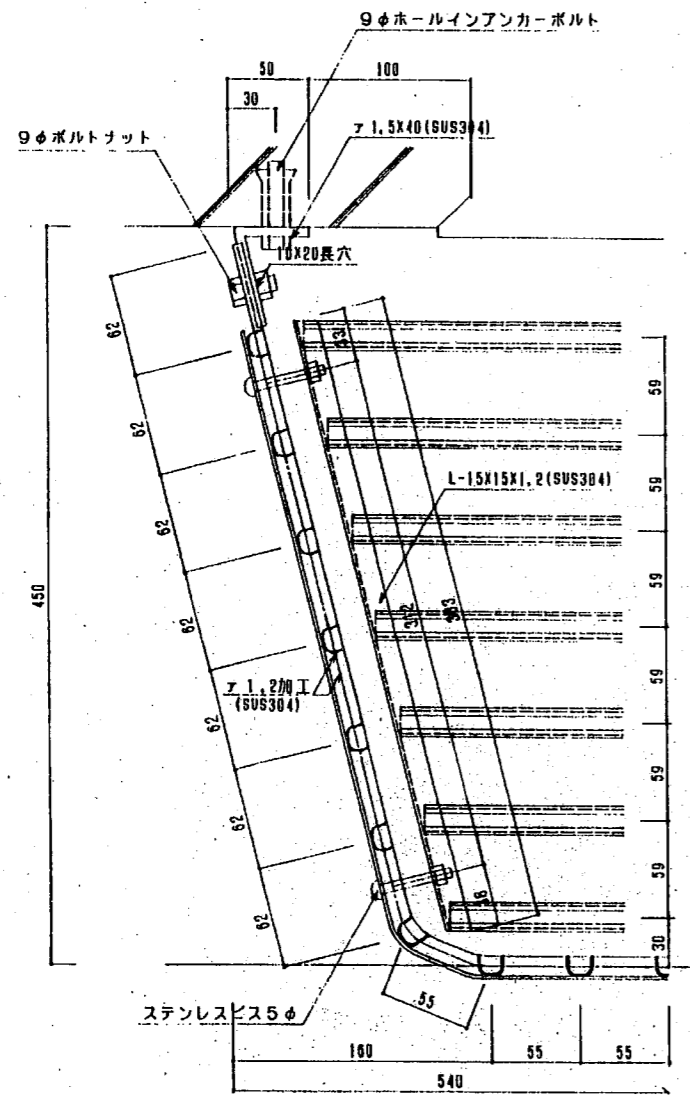


説明事項	名称	TVアンテナ、トラ基礎架台
	縮尺	1:20
	番付	詳-402

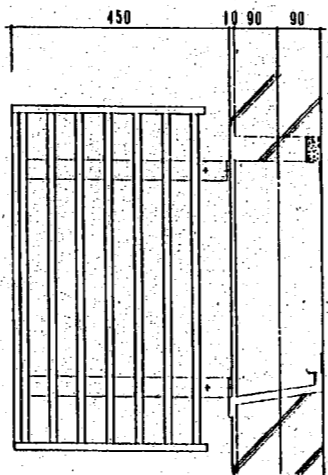
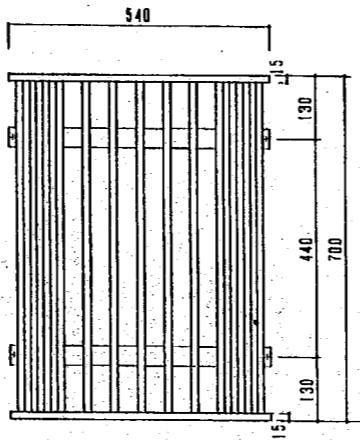


説明事項	名称	アルミカーテンレール
	縮尺	1:2
	番付	詳-403

平成	年月日	営繕監	主幹係長	主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
					阪-増-92-4PC-(4)(4)1半-⑧-60301	特殊詳細図(4)	A-26
					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	補尺	



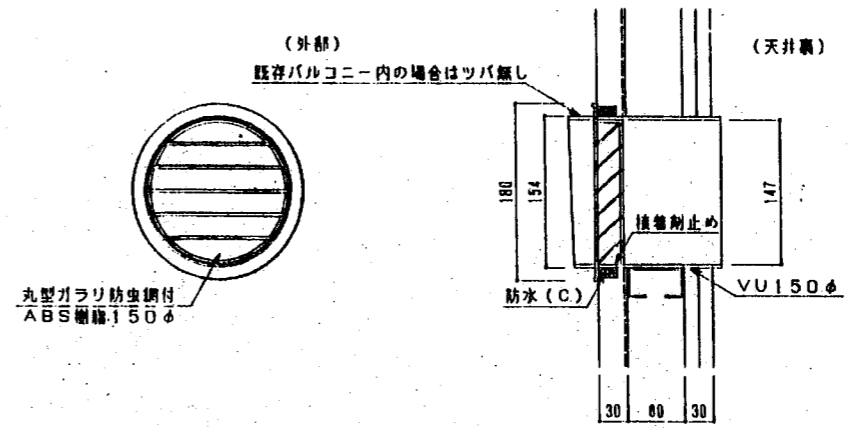
平面図 1:3



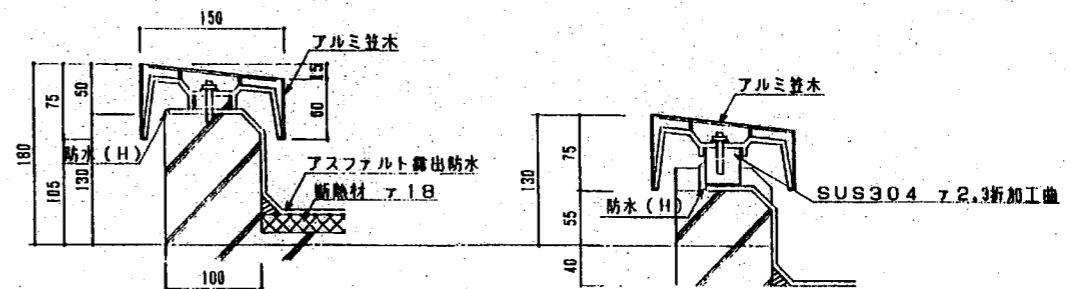
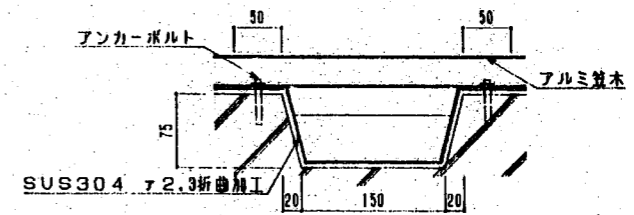
断面図 1:10

註) 上下とも蓋付とする

説明事項	(詳) 次金同寄	名称	バランス釜トップカバー詳細図	縮尺	1:3, 1:10	番号	詳-501

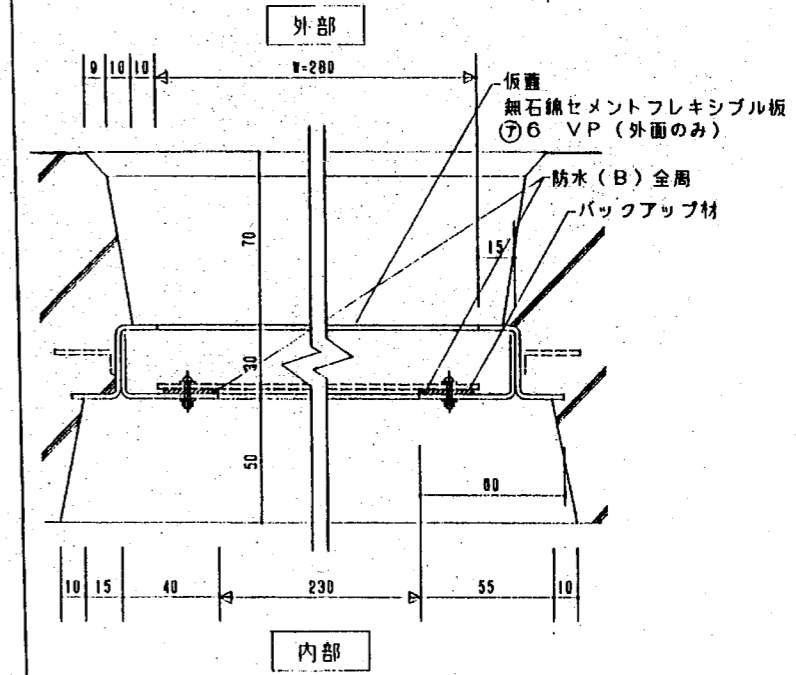
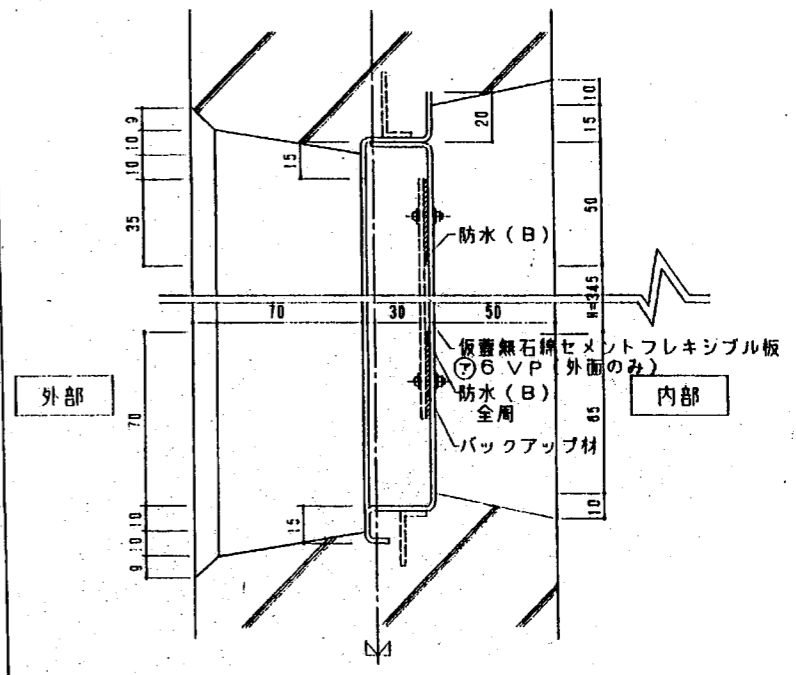
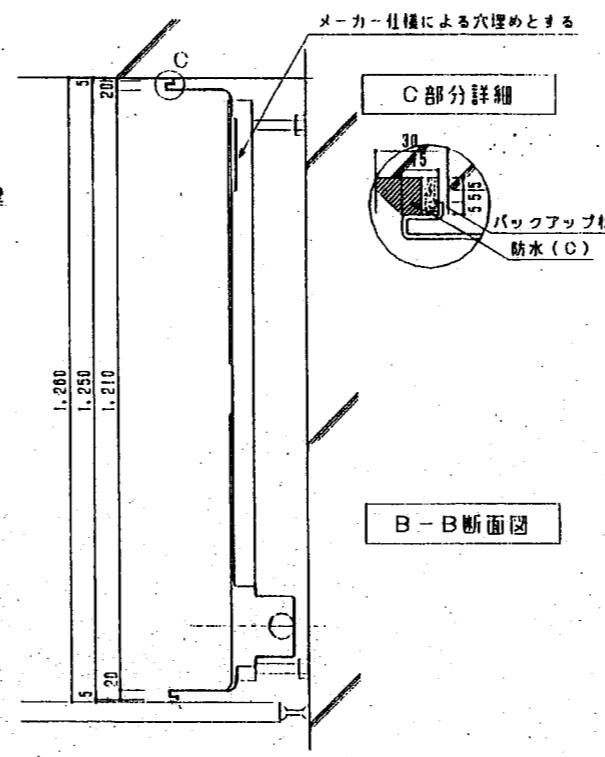
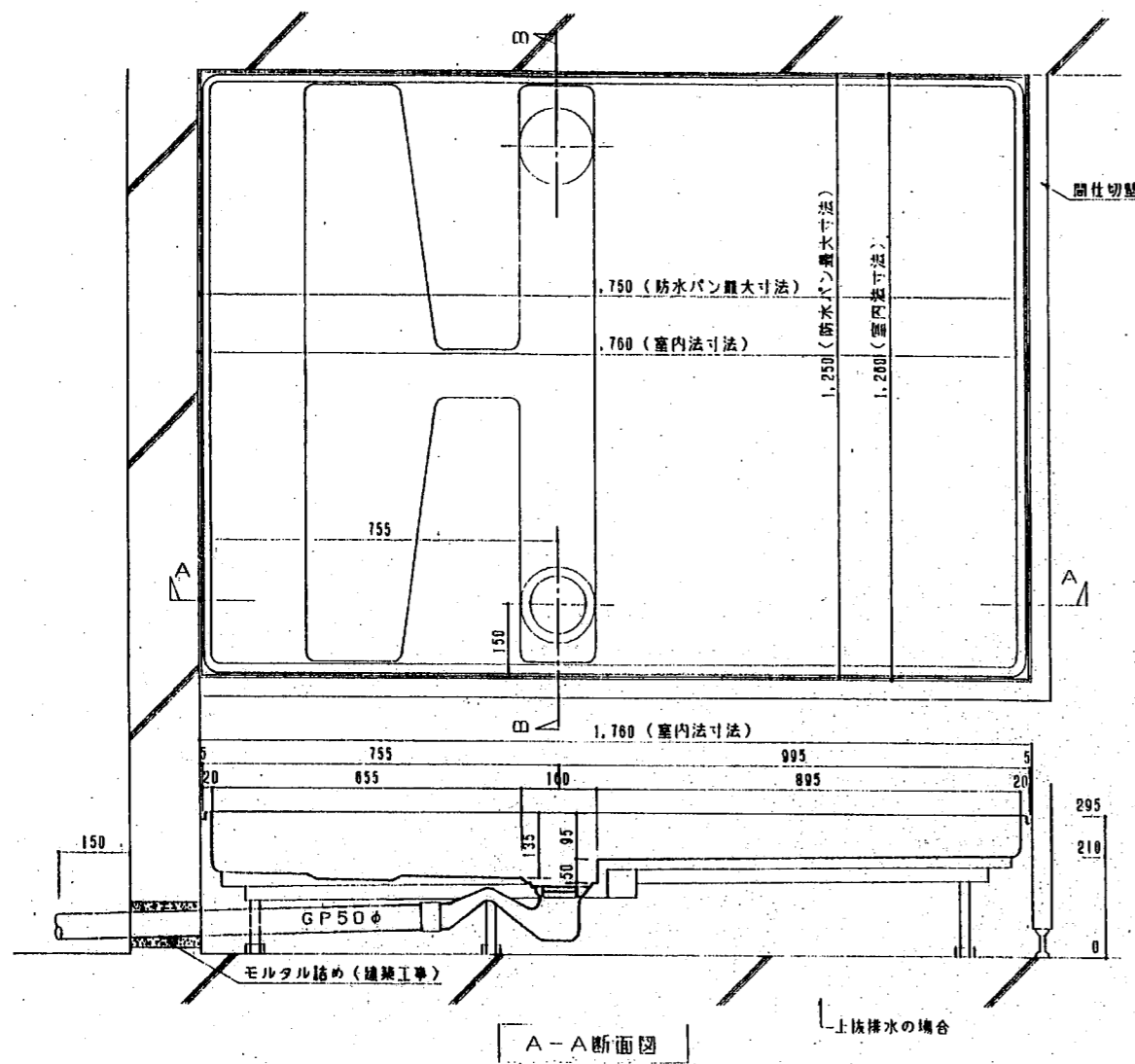


説明事項	1-201参照	名称	天井裏換気ガラリ詳細図	縮尺	1:5	番号	詳-502



説明事項		名称	アルミ笠木詳細図	縮尺	1:50	番号	詳-503

平成	年月日	宮崎監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
							阪-増-92-4PC-(4)(4)1半-⑥-60301	特殊詳細図(5)	A-27
							阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	縮尺	



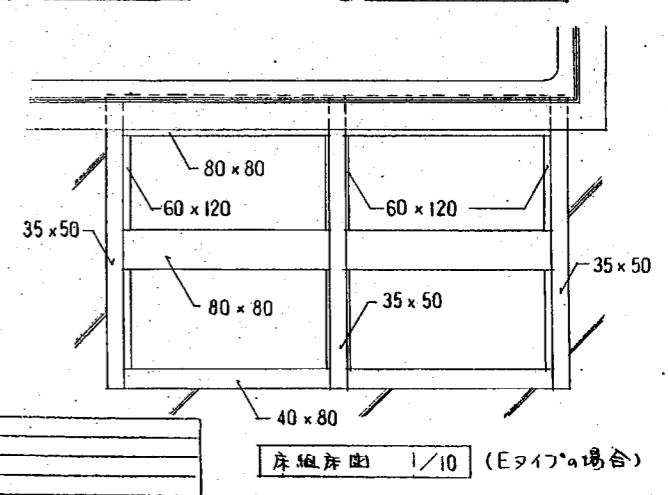
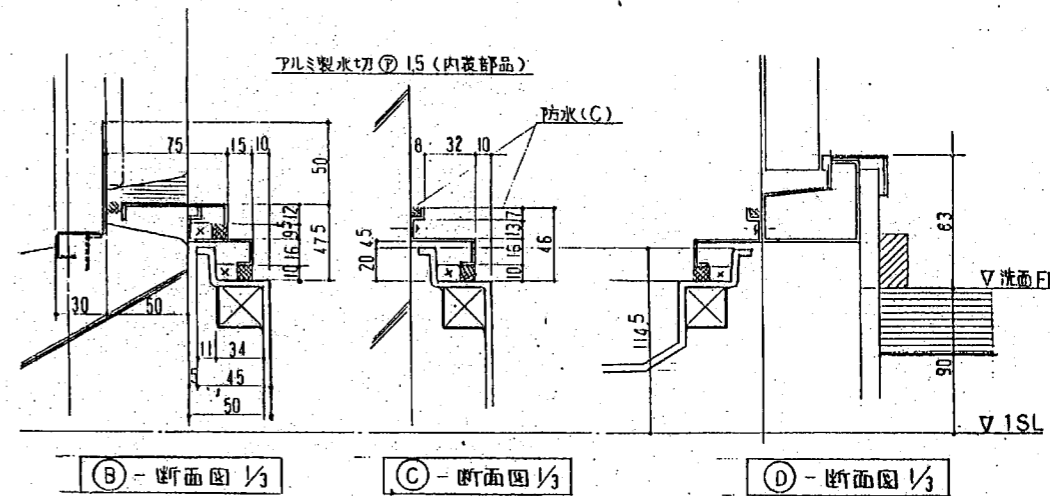
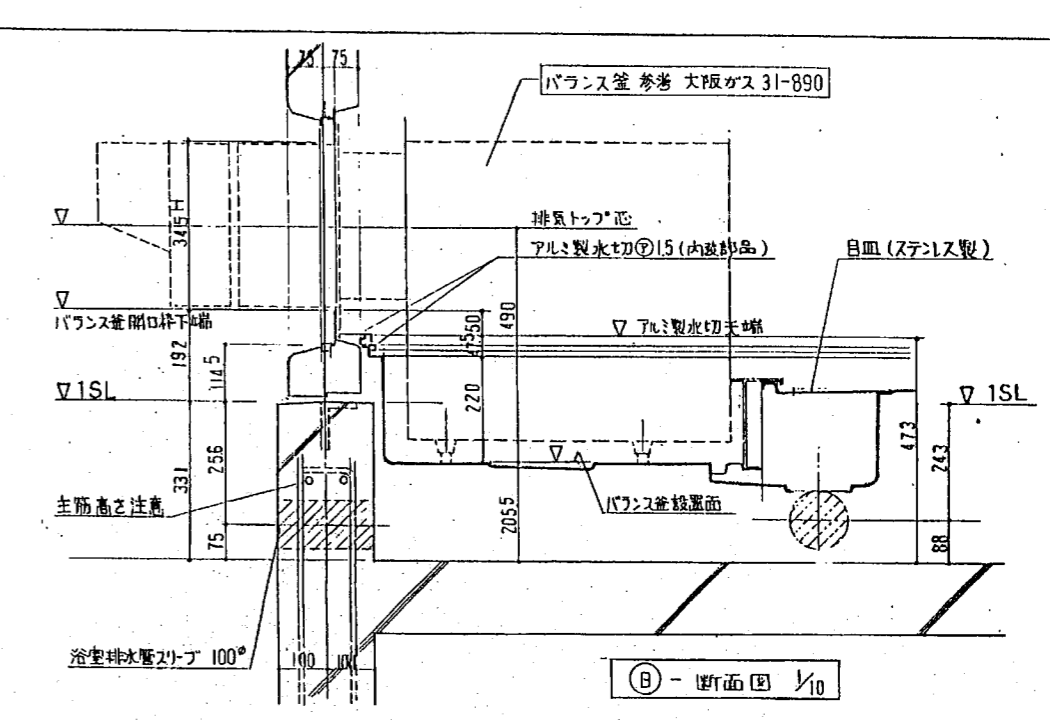
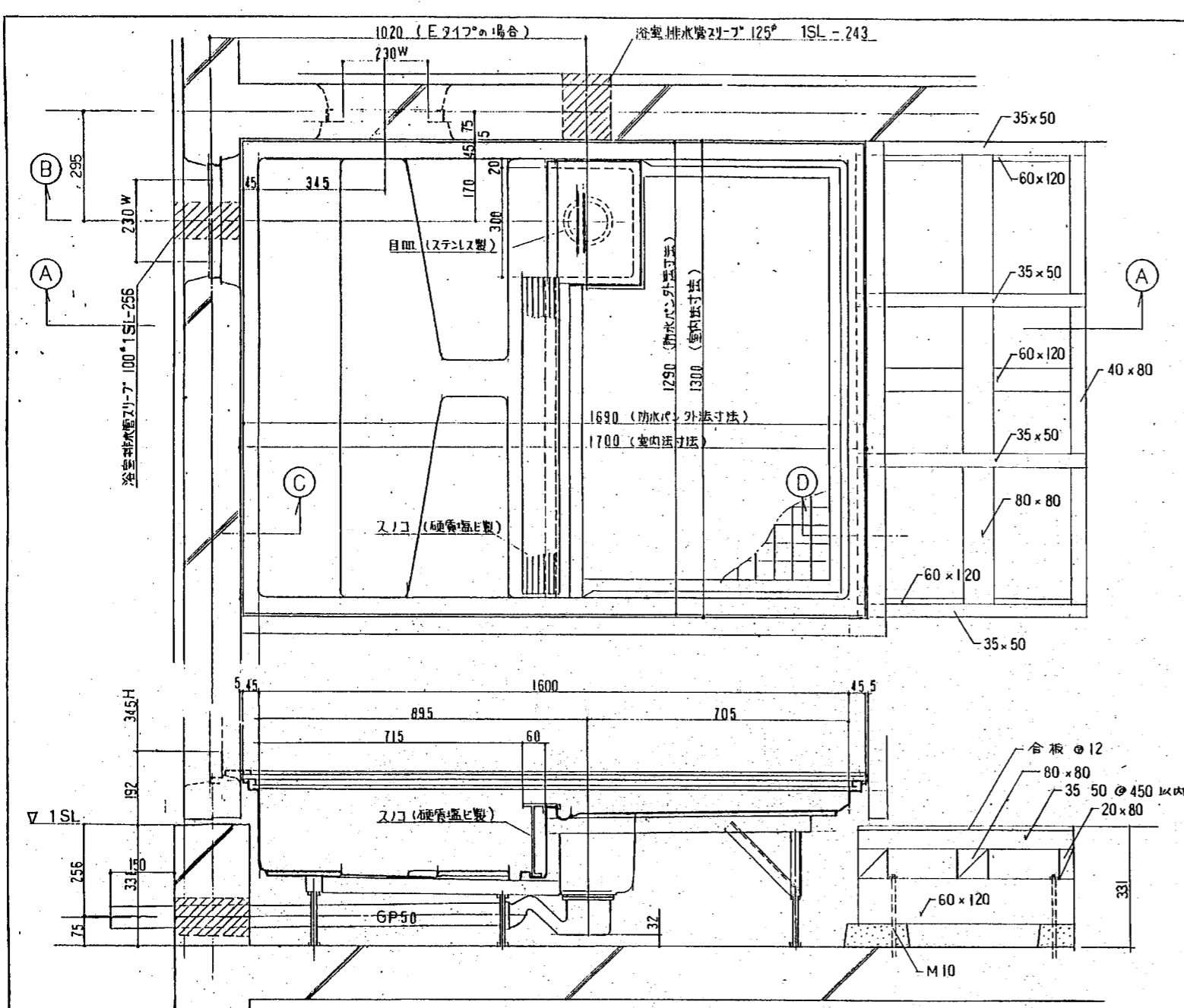
A) 一般仕様 1. 本製品は大阪府営住宅の浴室に設置する防水パンに適用する。
 2. 満水容量 210 以上
 3. 色 調 ブルー又は、アイボリー
 4. 材料及び部品一般 防水パン: FRP製 (SMCホットプレス成形品)
 調整ボルト等: JIS-G-3101亜鉛メッキ (B370以上)
 スノコ: 硬質塩化ビニール製以上
 排水トラップ: ABS製 (上抜用) 3/4インチ目皿付 (木府見本品)
 排水パイプ: GP 50φ
 取付材: 特製接着剤用取付
 周囲防水剤: ポリサルファイド系シーリング材 防水(C)
 バックアップ材: 発泡ポリエチレン
 据付は、基準水準に合わせて床高を調整し、定位置に接着剤にて堅固に据付けする。
 トラップ及びパイプは正確に取付け、漏水のない様、設置する。
 なお製法及び据付けは本工事責任施工とする。

B) 特記仕様 1. 材 質: 防水パン材料FRP (ガラス繊維強化ポリエステル) の厚さは3mm以上とする。
 以下FRPの材質について規定する。
 イ) 樹脂: 防水パン製造に用いる不飽和ポリエステル樹脂はビスフェノール系とする。
 ロ) ガラス繊維: 防水パン製造に用いるガラス繊維はJISに規定する無アルカリ性の物及びこれらを原料として加工した物とする。
 ハ) ガラス含有率: 25%以上
 ニ) 充填材料及びその他の添加材料: 製造の都合により充填材料や添加材料を使用する場合それらの品質及び使用量は製品の品質 (長期間の耐水性等) に害を与える物であってはならない。
 2. 製造方法: SMCによる加圧機械成形とする。
 3. 性 能: 性能は下表に合格しなければならない。

項目	規 格
耐温水性	表面のひび割れふくれ及び著しい変色を認めない事
耐汚染性	著しく目立たない事
耐酸碱性	試験後のパーコル硬さは30以上でかつ表面のひび割れ及びふくれを認めない事。
耐アルカリ性	同上
表面硬さ	パーコル硬さ30以上
耐衝撃性	表面に貫通する亀裂を生じない事

備 考 防水パンは本府指定メーカー品とする
 排水方法 上抜、下抜の別は建物の型による。

名称	浴室防水パン (2-4F)	縮尺	1:10	番号	詳-601	説明事項	SUS304 鋼製1.7 - 樹脂: 無石綿セメントフレキシブル板 ⑦6VP (内付ボルト SUS304 M6 4本 鋼製Bケ用) BF 兼用特フランジ用ボルト 又は DL ステンレスワッシャー SUS304/316C 鋼製	名称	浴室バランス釜取付部	縮尺	1:2	番号	詳-602
平成 年月日	大阪府建築部 営繕室	主任	担当	主幹	担当	主査	担当	建物型式名	阪-増-92-4PC-(4)(4)1半-⑧-60301	図面名称	特別詳細図 (6)	図面番号	A-28
	株式会社 共同建築事務所	代表	担当						阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	縮尺			



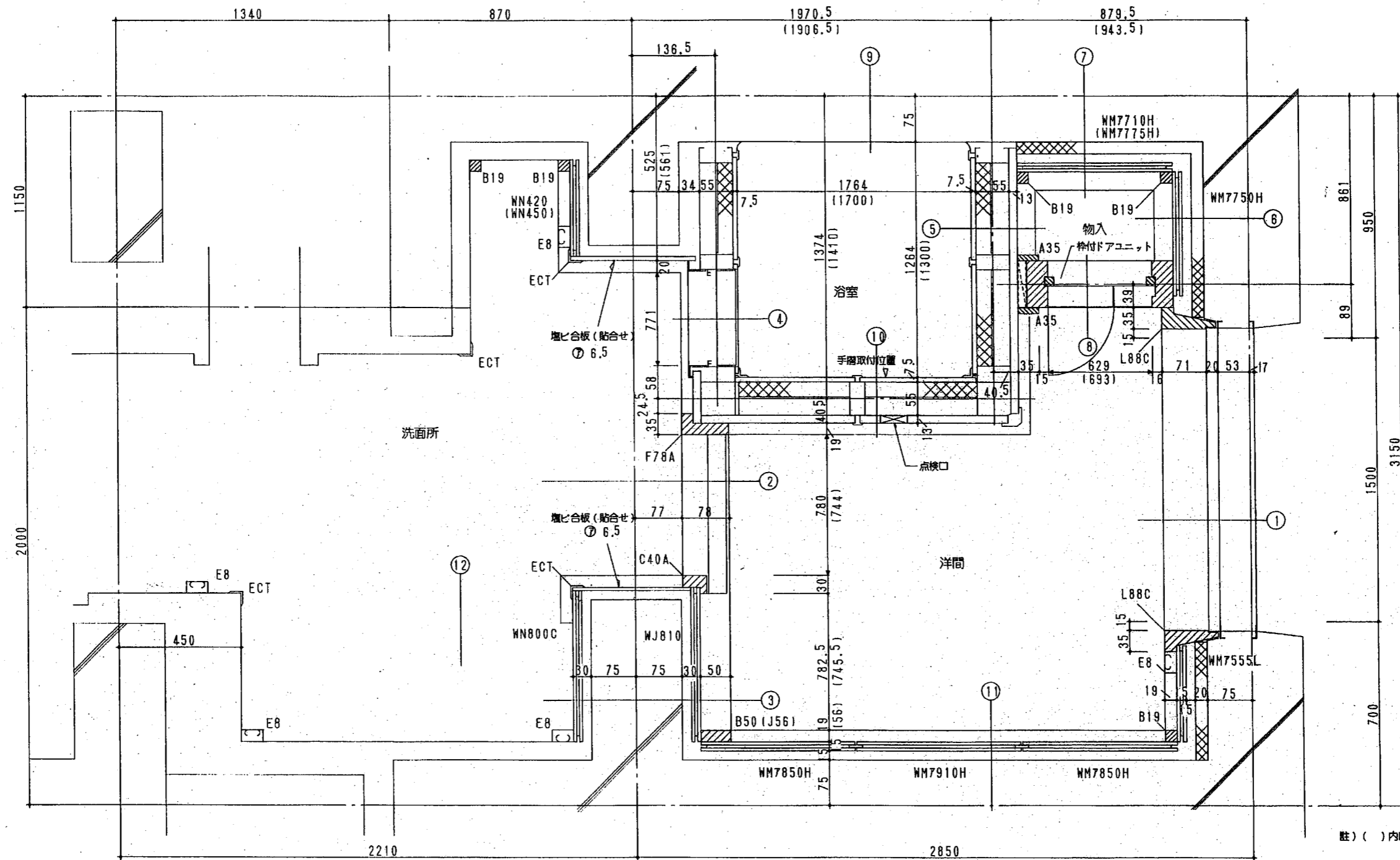
- A) 一般仕様**
1. 本製品は大阪府営住宅の浴室に設置する防水パンに適用する。
 2. 排水容量 310ℓ以上
 3. 色調 アイボリー
 4. 材料及び取付一般
 - 防水パン : FRP製 (ハンドレアップ成形)
 - 取付ボルト : JIS-G-310 亜鉛メッキ (8ミクロン以上)
 - スリコ : 有機物系化ヒニール R=870
 - 目皿 : ステンレス製 (厚) 2.5 (SUS304) 340×260
 - 排水トラップ : 樹脂製Pトラップ (上抜用) ゴムパッキン目皿付 (本府見本品)
 - 排水パイプ : G.P. 50φ
 - 取付 : 接着剤取付 (2液型エポキシ)
 - 周囲防水剤 : ポリサルファイド系シーリング材 防水 (C)
 - バックアップ材 : 発砲ポリエチレン
 5. 施工
 - 取付は基準水準に合わせて床高を調整し、定位置に接着剤にて堅固に取付けする。
 - トラップ及びパイプは正確に取付漏れの無い様、設置する。
 - なお取付方法及び取付けは本工事責任施工とする。

- A) 製法仕様**
1. 材質
 - 防水パン材料FRP (ガラス繊維強化ポリエステル) の厚さは 3mm以上とする。FRPの材質について規定する。
 - イ) 引強: 防水パン製造に用いる不飽和ポリエステル樹脂は、インフェノール系のものとする。
 - ロ) ガラス繊維: 防水パン製造に用いるガラス繊維はJIS規定する無アルカリ性のもの及びこれを原料として加工したものとする。
 - ハ) ガラス含有率: 25%以上
 - ニ) 充填材料及びその他の点火材料: 製造の都合により充填材料や添加材料を使用する場合、それらの品質及び使用量は製品の品質 (長期の耐水性) に響かざるものであってはならない。
 2. 製造方法: ハンドレアップ成形
 3. 性能
 - 性能は下表に合格しなければならない。

項目	仕様	項目	仕様
耐水性	表面のひび割れ、ふくれ及び変色を認めない。	耐汚染性	著しく自立しないこと。
耐酸性	試験後のコーリングは30日以上かつ表面のひび割れ及びふくれを認めないこと。	表面硬さ	パーカール硬さ30以上
耐アルカリ性	同上	耐衝撃性	表面に貫通する亀裂を生じないこと。

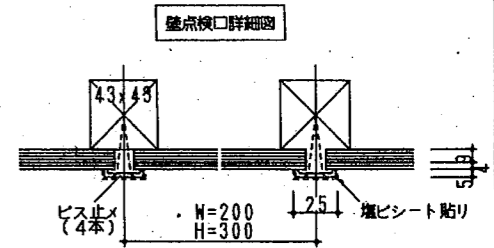
品名 浴室落水込み防水パン廻り 縮尺 1:10 番 詳-701

平成年月日	当務者	主幹係長	主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
				大阪府営住宅 浴室 版-増-92-4PC-(4)(4)1半-(B)-60301	特殊詳細図(7)	A-29
				株式会社 共同建築事務所 版-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	縮尺	

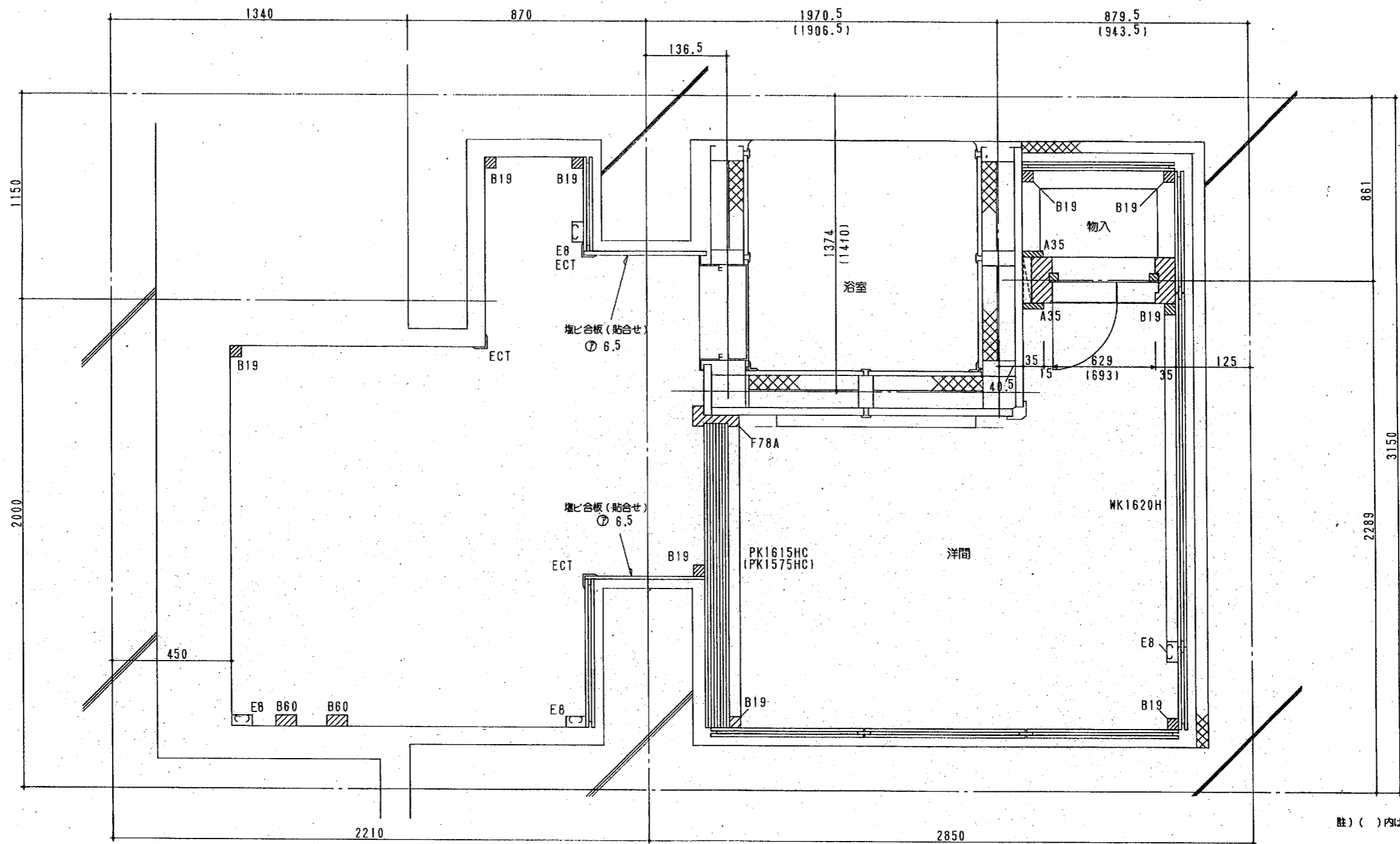


註) ()内は1Fの場合とする

アルミスタート型浴室仕様	
壁パネル	内装 防腐合板裏打ダブ樹脂化粧繊維入りケイ酸カルシウム板(無石棉)φ7.5 外装 石膏ボード裏打塩化ビニルφ13.0
天井パネル	ダブ樹脂化粧繊維入りケイ酸カルシウム板(無石棉)φ5.0
アルミ枠材	アルミニウム合金押出型材A6063S-T5 JIS H4100 普通級による表面処理 JIS H8602 SDH-16(9)B
目地材	硬質塩化ビニール(一部軟質塩化ビニール)
支柱固定上下ランナー	SPG1F(JIS G3302 Z35)
シーリング材	シリコン系
断熱材	グラスウール(JIS A9505)φ25(24K)

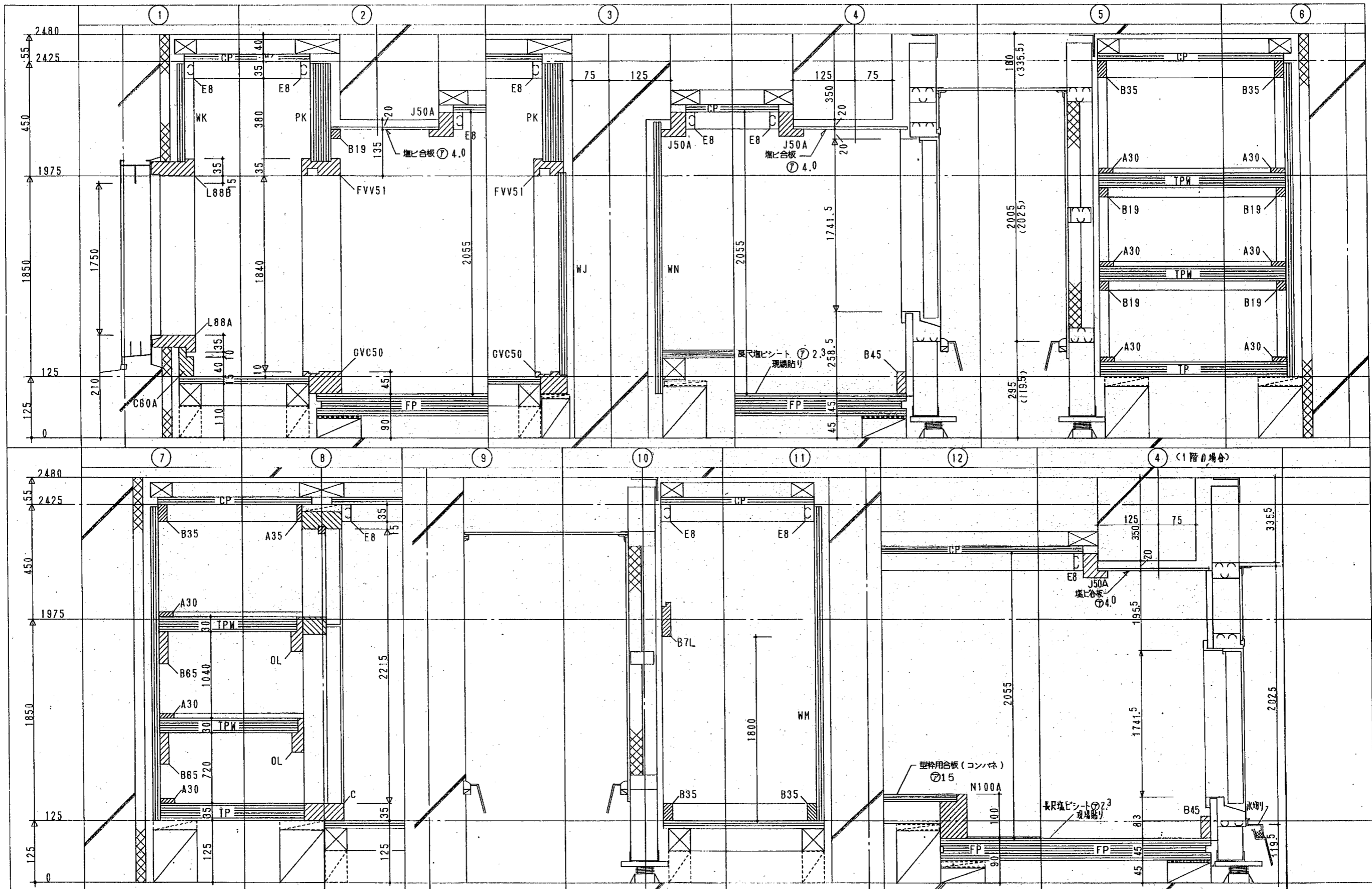


平成 年 月 日	監理 主 幹 係 長 主 査 担 当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部 管轄室	阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	内装材 平面詳細図(1)	A-30
	株式会社 共同建築事務所		縮尺	



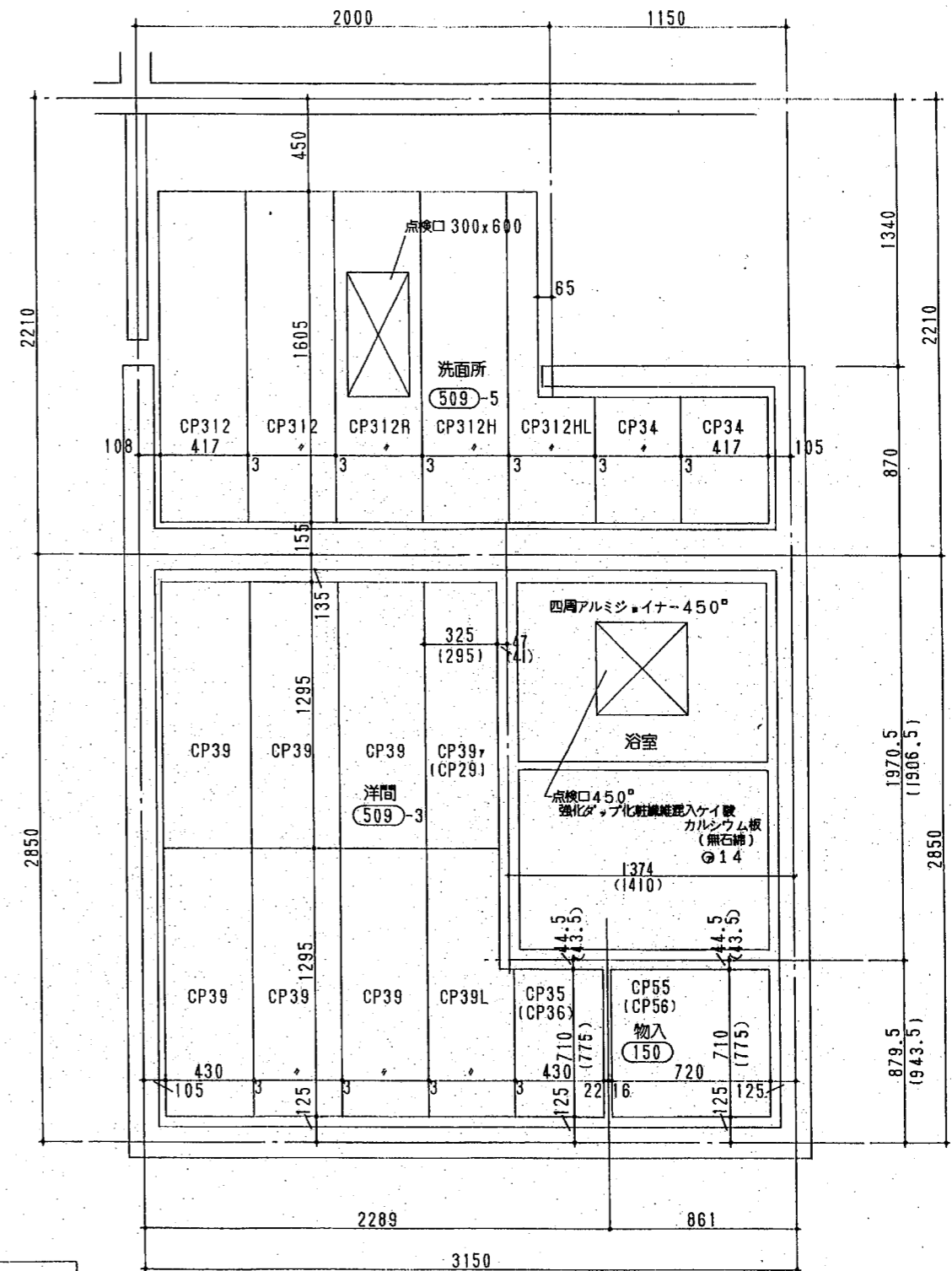
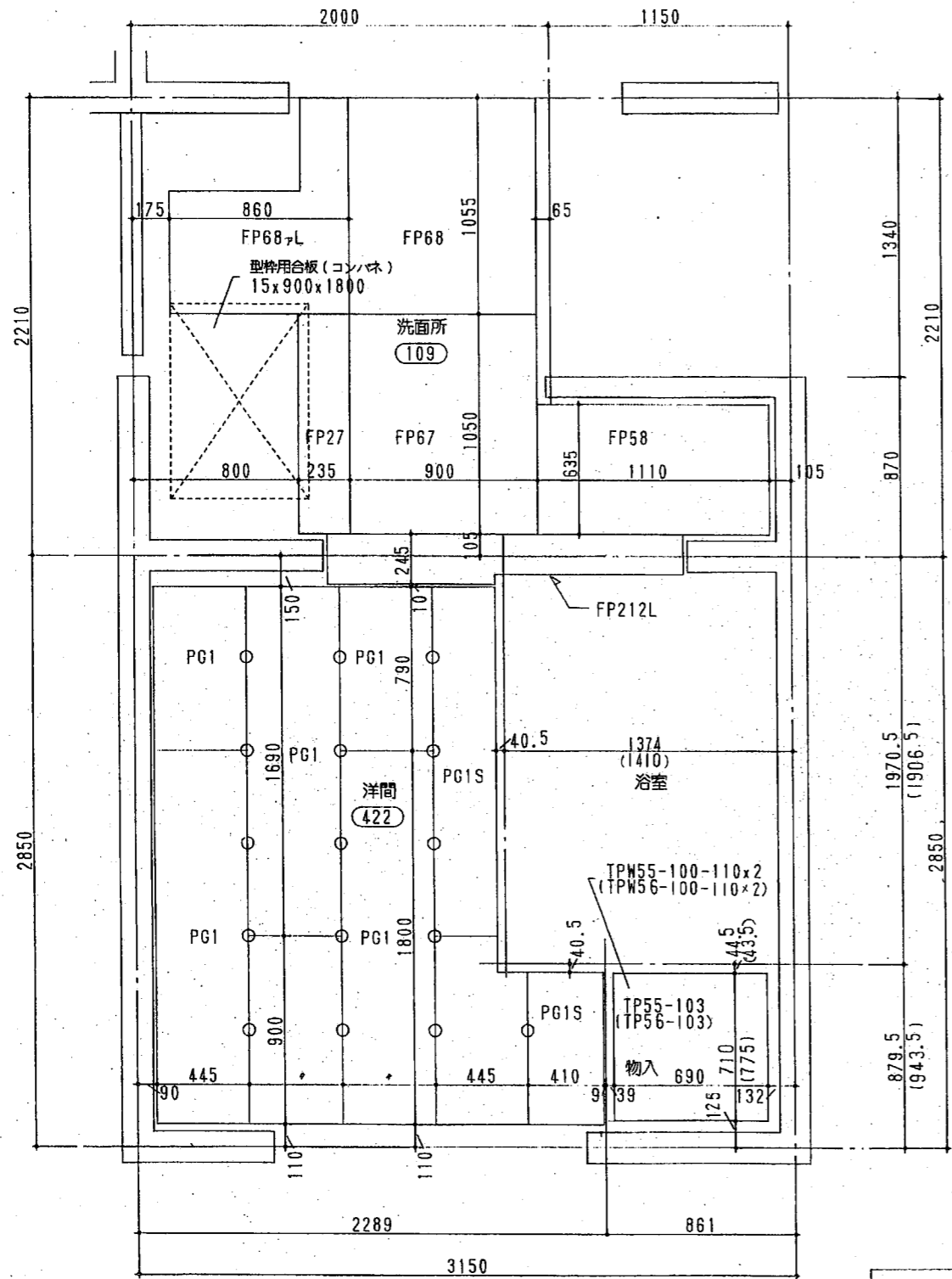
註) ()内は1Fの場合とする

平成	年月日	管轄	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
		大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	内装材平面詳細図(2)	A-31
		株式会社						縮尺	
		共同建築事務所							



註) ()内は1階の場合を示す

平成 年 月 日	監理者	主幹係長	主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部 営繕室			阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	内装材断面詳細図 縮尺	A-32
	株式会社 共同建築事務所					

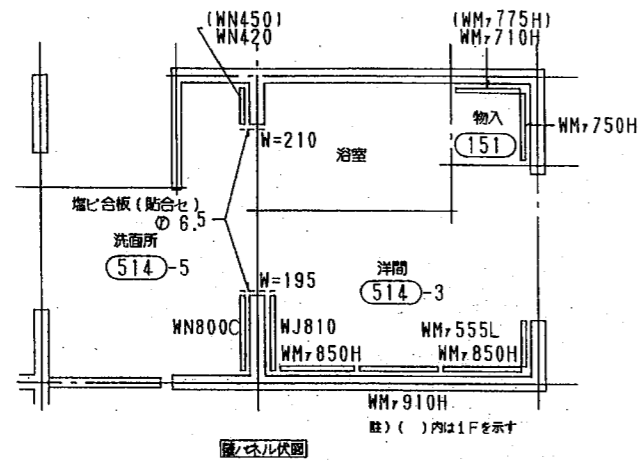


床パネル伏図 註) ()内は1Fの場合とする
 ○---プラホレンを示す
 洗面所床は長尺増シート⑦2.3現場貼りとする

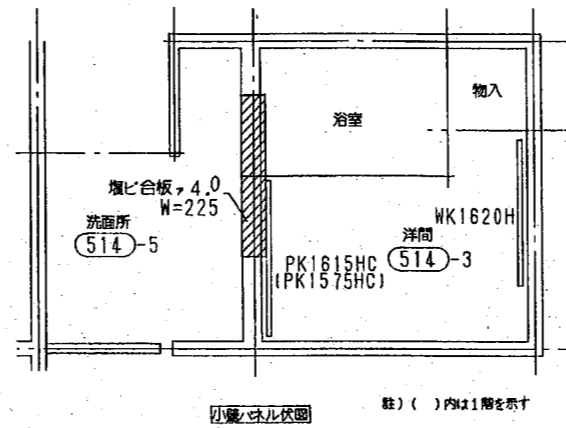
天井パネル伏図 註) ()内は1Fの場合とする

表面仕上材略記号			
100	ラワン合板	T/2	②2.5
110	ラワン合板	*	②4.0
103	ラワン合板	*	②5.5
109	ラワン合板	*	②2.0
422	化粧単板貼床用合板	*	②15
150	押入用プリント合板	*	②2.7
509	塩ビ合板	*	②2.7

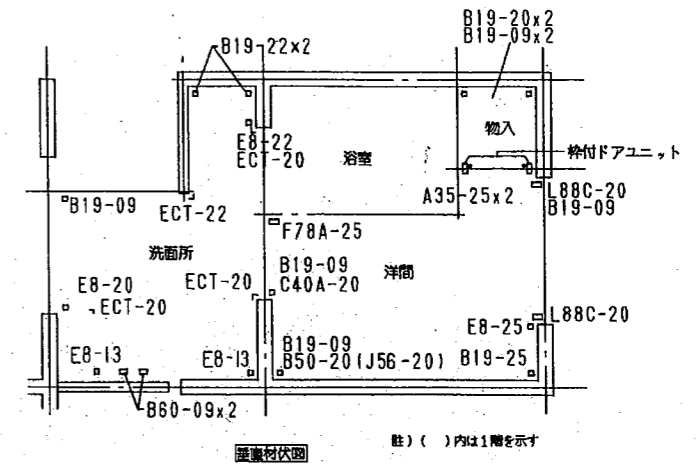
平成 年 月 日	監理者	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	床・天井パネル伏図	A-33
	株式会社						縮尺	
	共同建築事務所							



各部材伏図

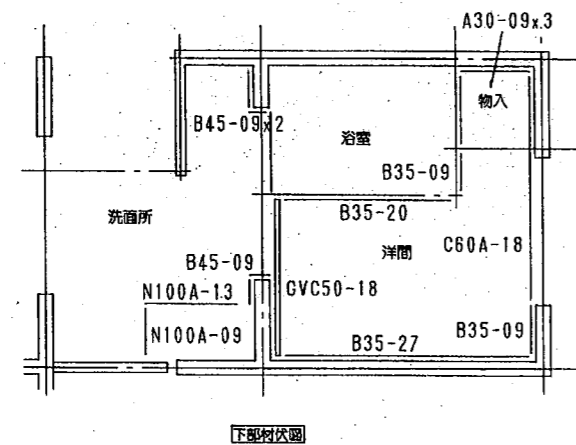


各部材伏図

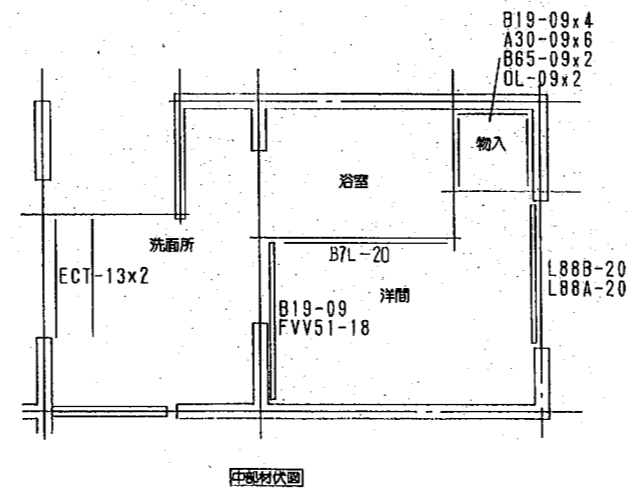


各部材伏図

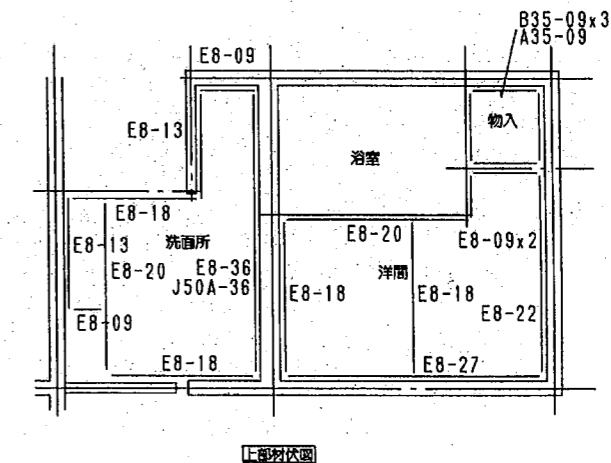
表面仕上材略記号表		
110	ラワン合板	1/2 〇 4.0
151	押入用プリント合板	1/2 〇 4.0
514	塩ビ合板(木端端)	1/2 〇 4.0



下部材伏図



下部材伏図



上部材伏図

平成	年月日	管轄	主任	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
		大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	各部材伏図	A-34
		株式会社						縮尺	
		共同建築事務所							

記号	PG1	PG1S	TP55 (TP56)	TPW55 (TPW56)	FP67	FP27	FP58	FP68	FP68L	FP212L
断面図										
厚サ 名称	15 床パネル	15 床パネル	35 床パネル	30 床パネル	45 床パネル	45 床パネル	45 床パネル	45 床パネル	45 床パネル	45 床パネル
記号	WM750H (WM710H)	WM555HL	WM910H (WM850H)	WJ810	WN800	WN420 (WN450)	WK1620H	PK1615HC (PK1575HC)		
断面図										
厚サ 名称	15 外周壁パネル	15 外周壁パネル	15 外周壁パネル	15 外周壁パネル	15 外周壁パネル	15 外周壁パネル	15 外周壁パネル	40 間仕切壁パネル		
記号	CP39 (CP29)	CP39 L	CP35 (CP36)	CP55 (CP56)	CP34	CP312 CP312H	CP312HL	CP312R		
断面図										
厚サ 名称	15 天井パネル	15 天井パネル	15 天井パネル	15 天井パネル	15 天井パネル	15 天井パネル	15 天井パネル	15 天井パネル		
記号										
断面図										
厚サ 名称										

平成 年 月 日	営繕係	主幹係	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部					阪一増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	内装材リスト(1)	A-35
	営繕室						略尺	
	株式会社							
	共同建築事務所							

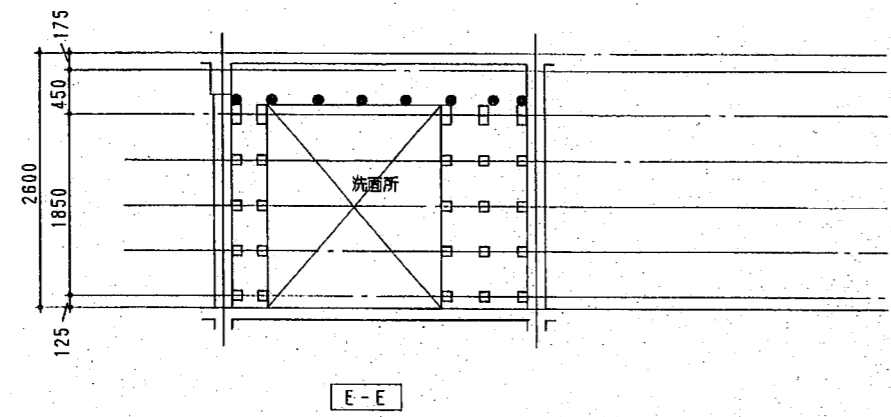
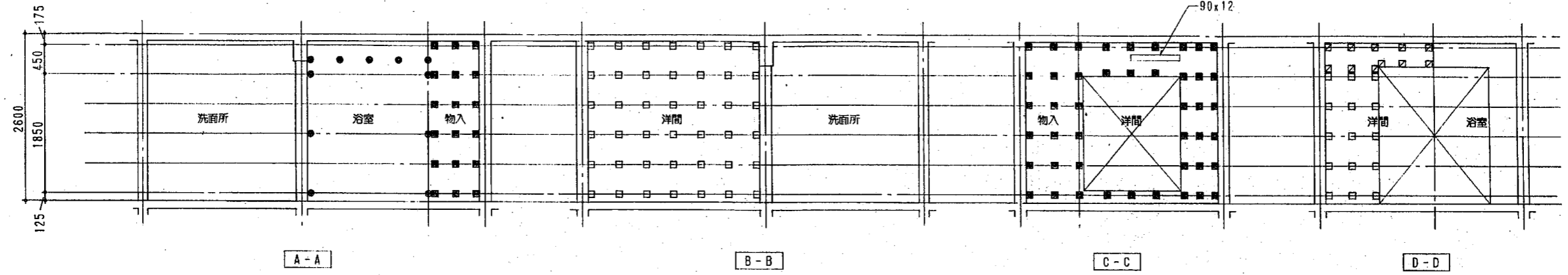
記号	L88A	L88B	L88C	C	V	F78A	J50A	FVV51	GVC50	OL
断面図										
記号	C40A	A-		B-		B7L	C60A	N100A	J56	
断面図		W	W	W	W					
		A15	15	A35	35	B19	19	B50	50	
		A30	30			B35	35	B60	60	
						B45	45	B65	65	
記号	プラホレン(5A型)	E8	ECT							
断面図		塩ビ製品	塩ビ製品							
			塩ビシート貼り							
			25							

註) 特記無き造作材は米桐単一材(上小節)とする。

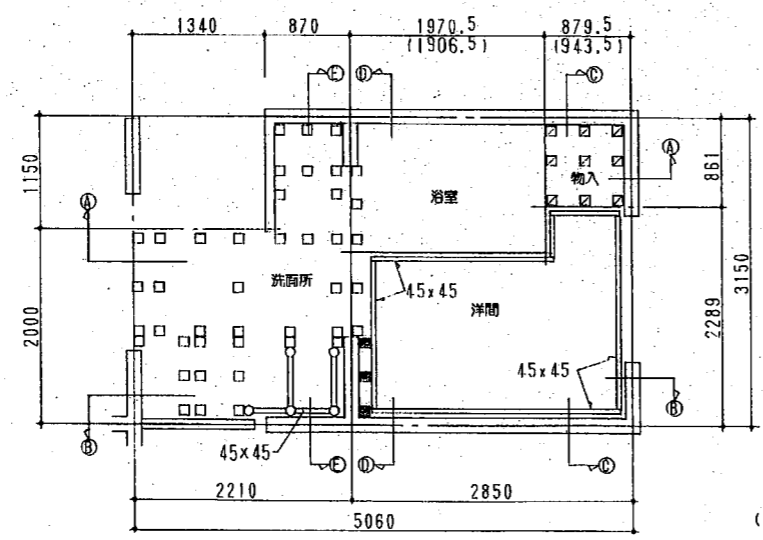
枠付ドアユニット(開き戸)	
姿図	仕様
<p>()内は1Fの欄合とする</p>	(造作材) 枠材 米桐単板貼集成材 戸当り 米桐単一材
	(建具) 表面材 建具 塩ビ合板 T/2 〇2.7 (両面) パネル 塩ビ合板 T/2 〇2.7 (片面) 押入用プリント合板 T/2 〇2.5 (片面)
	芯材 LVLコア・ペーパーハニカム入り 木口 エッチテープ貼り 見込 27M/M
	(金物) 取手 ステンレス角形ハンドル(大・小) 2ヶ 丁番 船泊丁番 76 M/M (下) 3ヶ " (上) 2ヶ 戸当り ローラーキャッチ (小) 3ヶ 戸当りゴム 30 M/M 1ヶ 空気抜き プラスチック製(外径 65 M/M) 2ヶ

平成 年月日	図監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部 営繕室					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	内装材リスト(2)	A-36
	株式会社 共同建築事務所						縮尺	

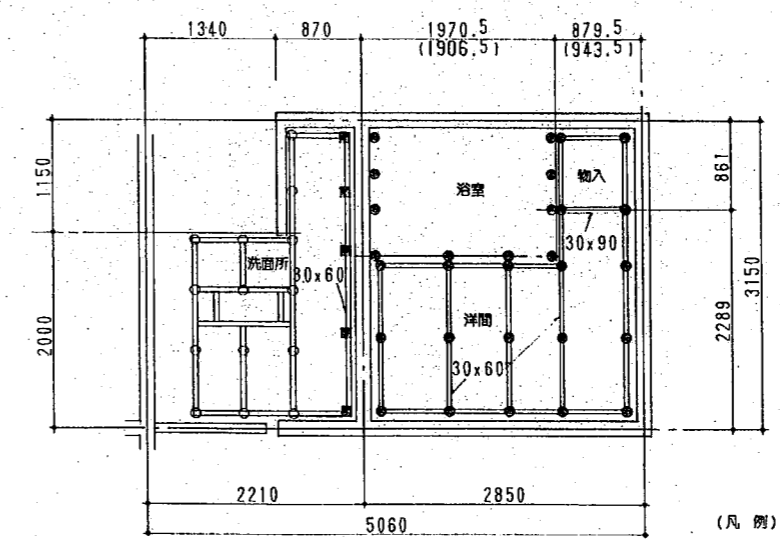
壁下地材伏図



- (凡例)
- 12x90x90 + 調整パッキン + ホレンガを示す
 - ▣-----15x90x90 + " + " + "
 - 12x150x150 + " + " + "
 - ホレンガを示す

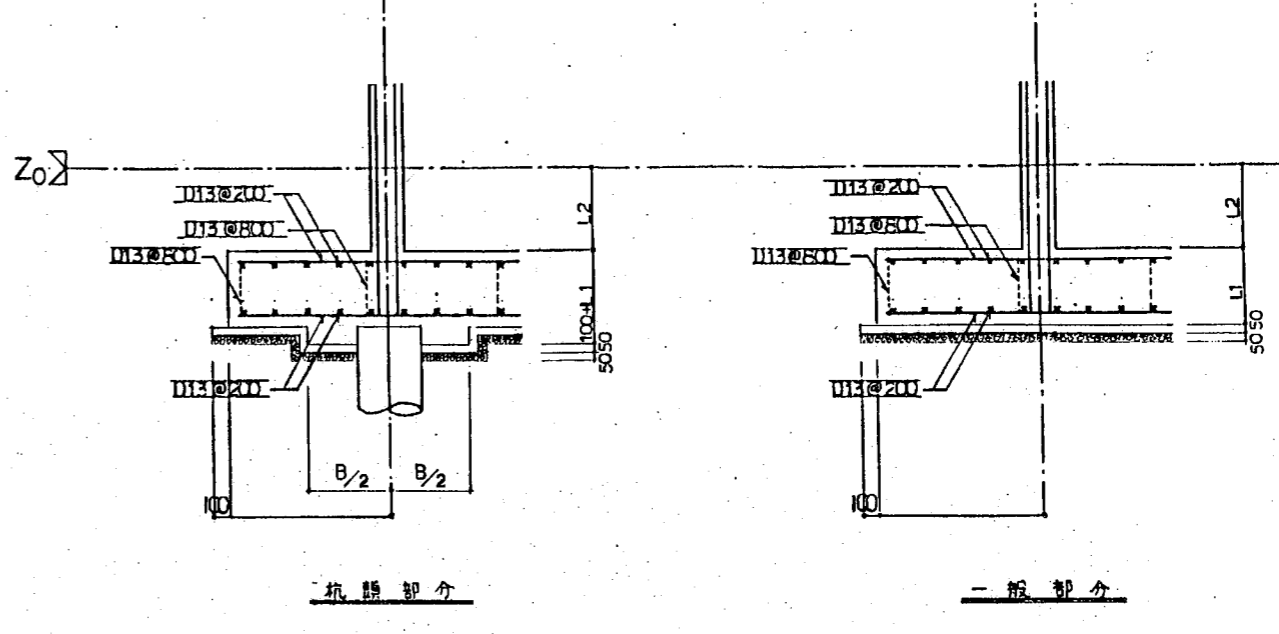
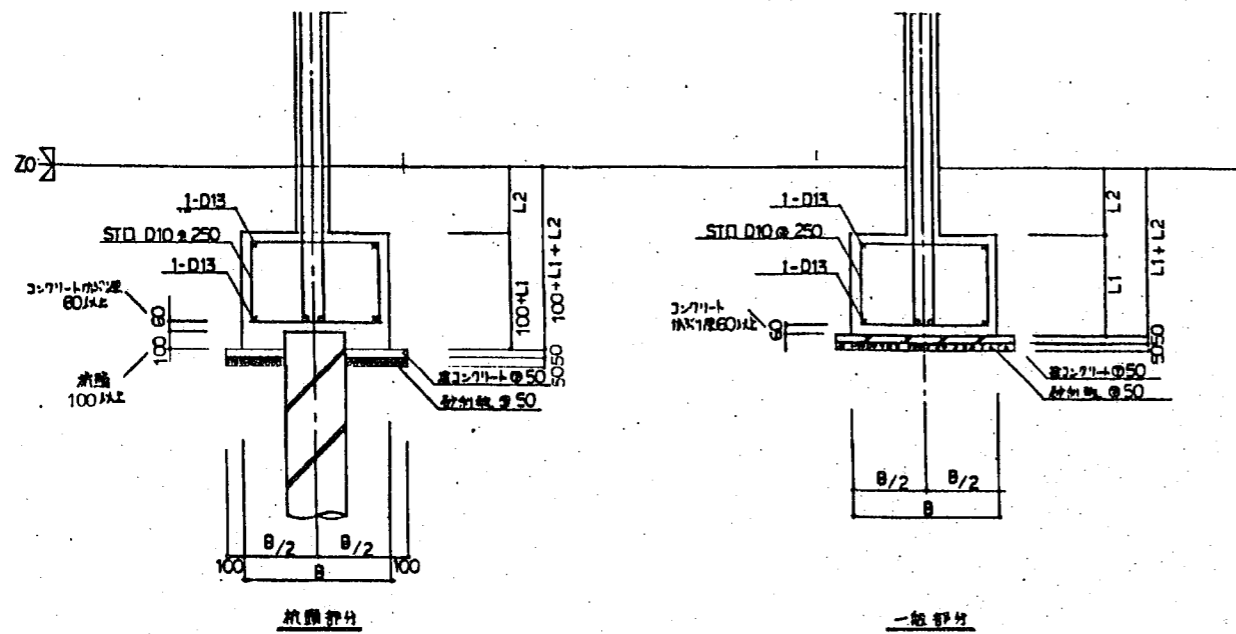


- (凡例)
- 40x90x120 + 調整パッキンを示す
 - ▣-----105x90x120 + " + "
 - 90x60x120 + " + "
 - 90x90x120 + " + "
- ※根太受けはφ450 (パッキンを入れる事とする)
()内は1Fの場合とする



- (凡例)
- ホレンガを示す
 - インサート+吊木(30x45)を示す
 - ホレンガ+吊木(30x45)を示す
- ※特記無き下地材は(30x45)とする
()内は1Fの場合とする
註) 全ての下地材及びホレンガ・インサート等は、内装部品外とする

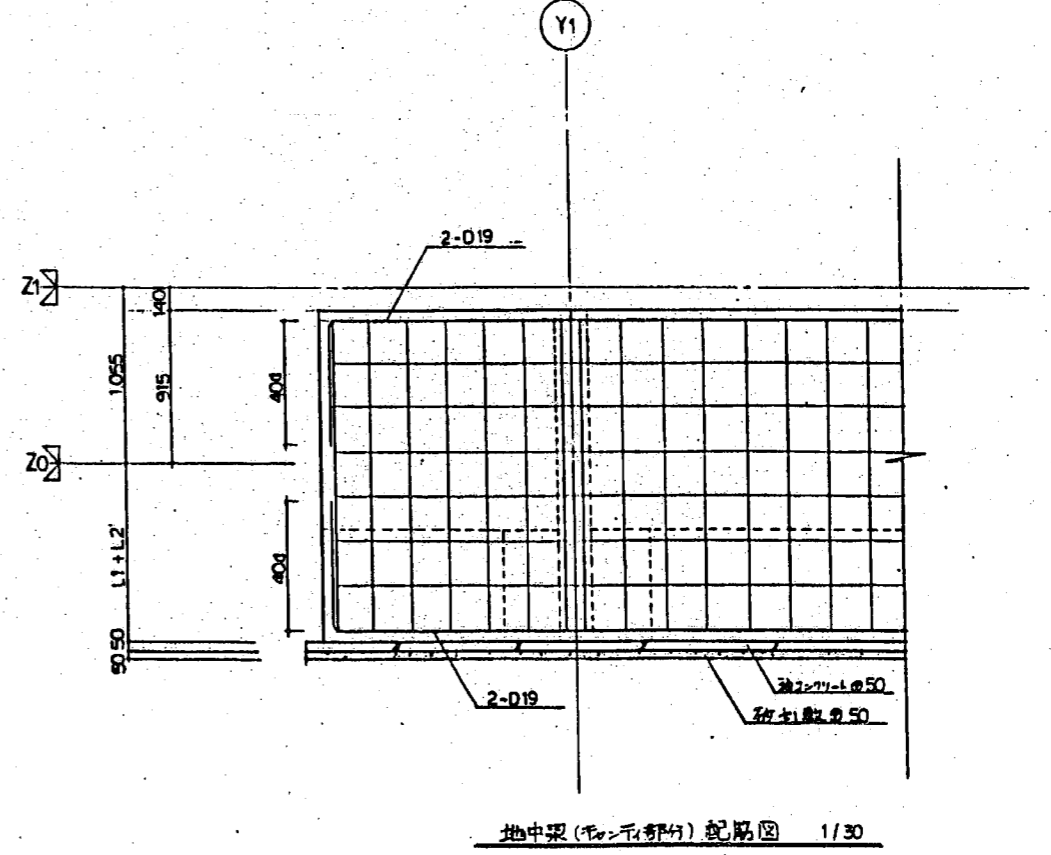
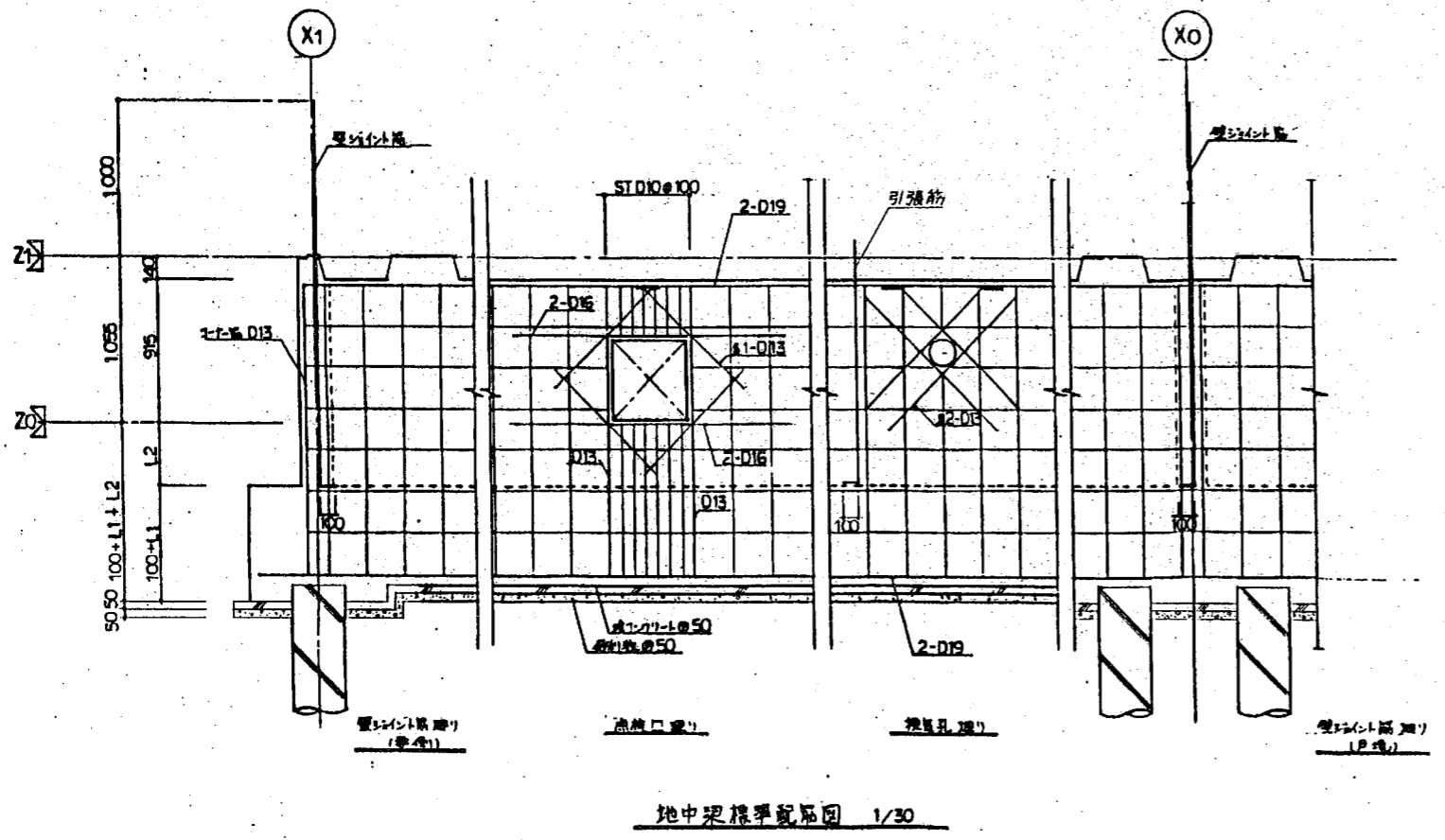
平成 年 月 日	管轄部	主任係長	主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部			阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	下地材伏図	A-37
	株式会社				縮尺	
	共同建築事務所					



直径 +400 の場合	B = 1000
+350	B = 900
+300	B = 750

基礎配筋図 1/30

基礎配筋図 (杭バ基礎) 1/30



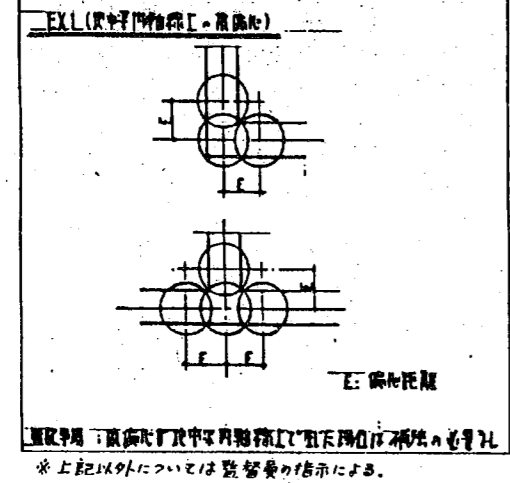
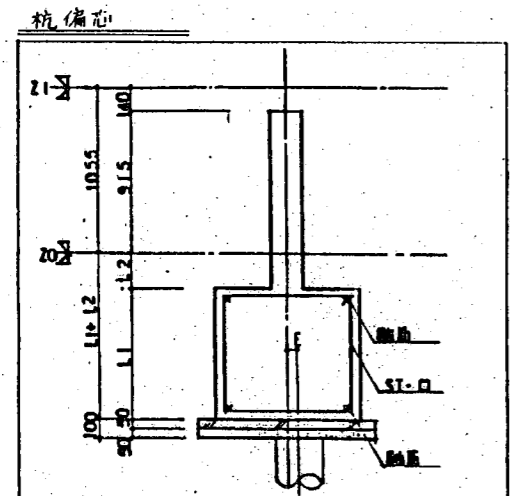
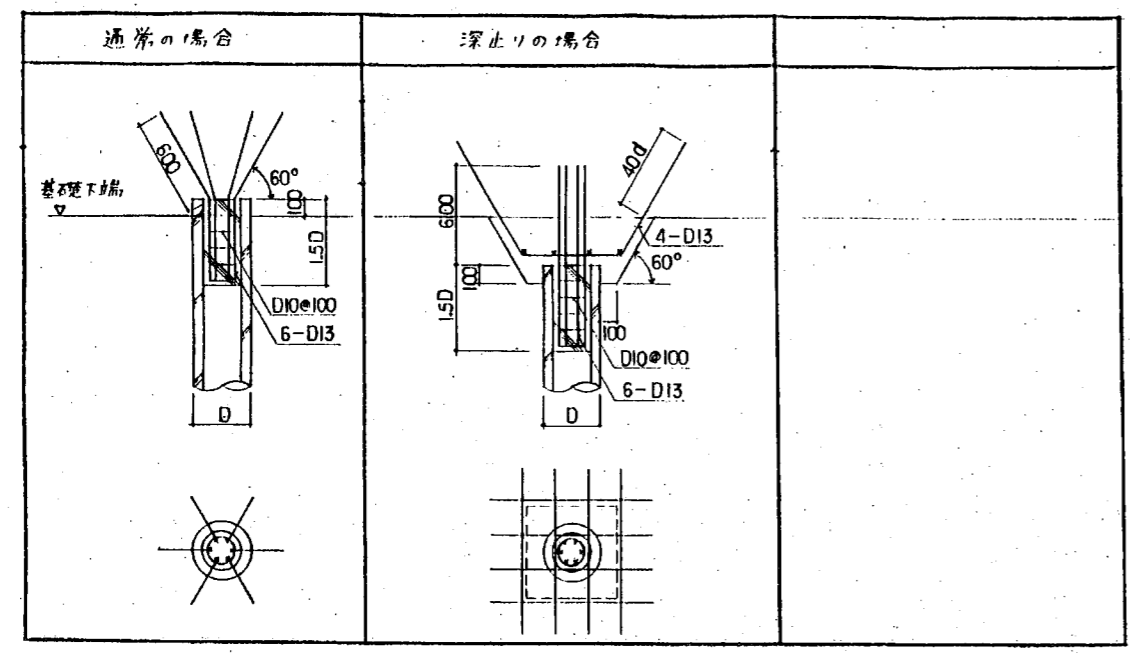
地中梁標準配筋図 1/30

地中梁 (コンクリ部付) 配筋図 1/30

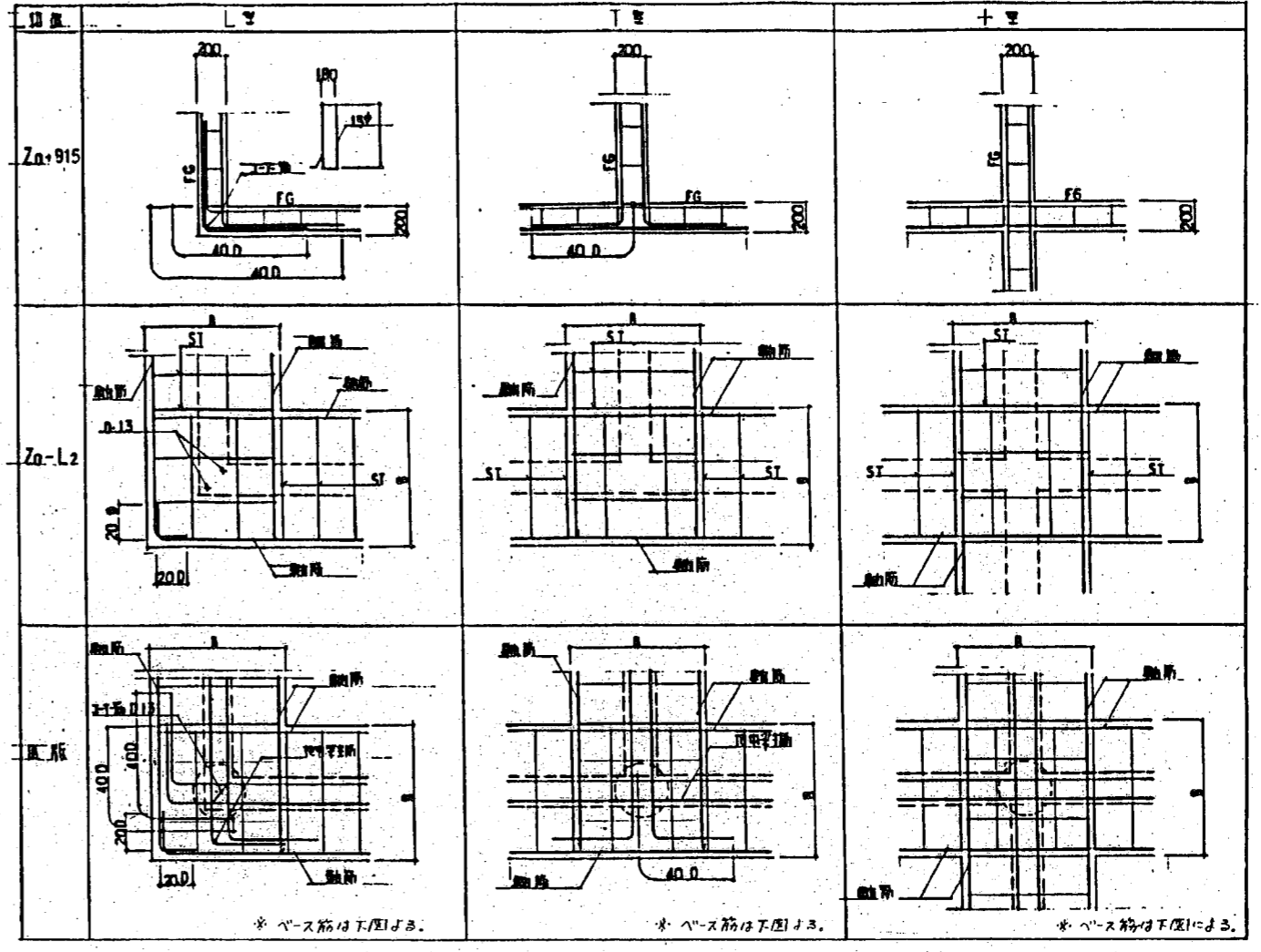
3

昭和63年7月	建設省	主幹	部長	主査	担当	建築物型式名	図面名称	1.8.9号棟	図面番号
大阪府建築部						阪-増-92-4PC-(3号)(3)-900-60301	杭基礎配筋図		C-1
株式会社						阪-増-92-4PC-(4)(4)1号(3)-60301	床梁配筋図		
共同建築事務所							縮尺: 1:30		

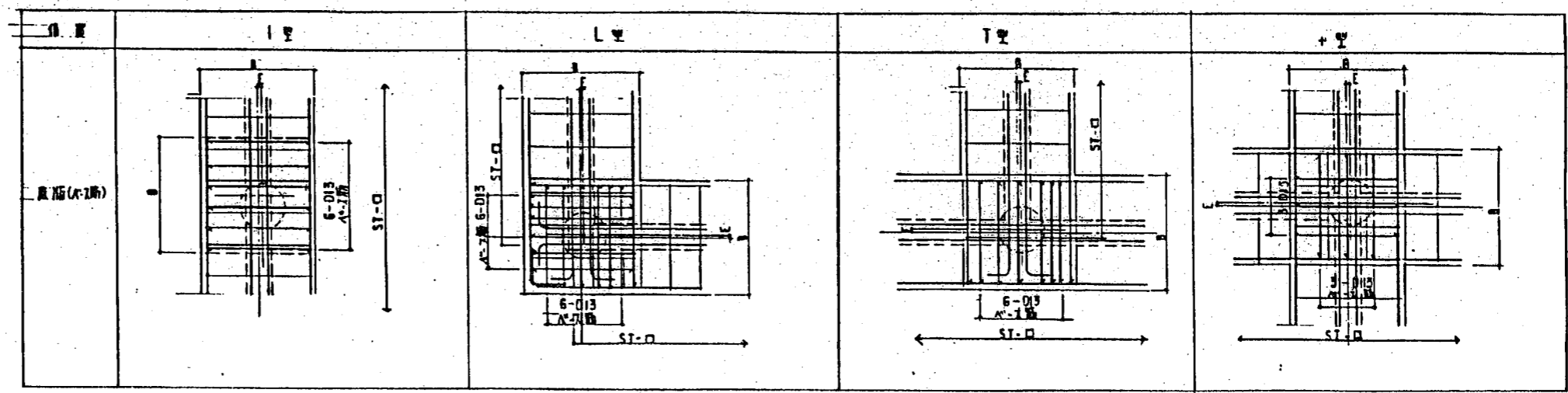
PCパイプ杭施工



杭基礎部分の配筋図

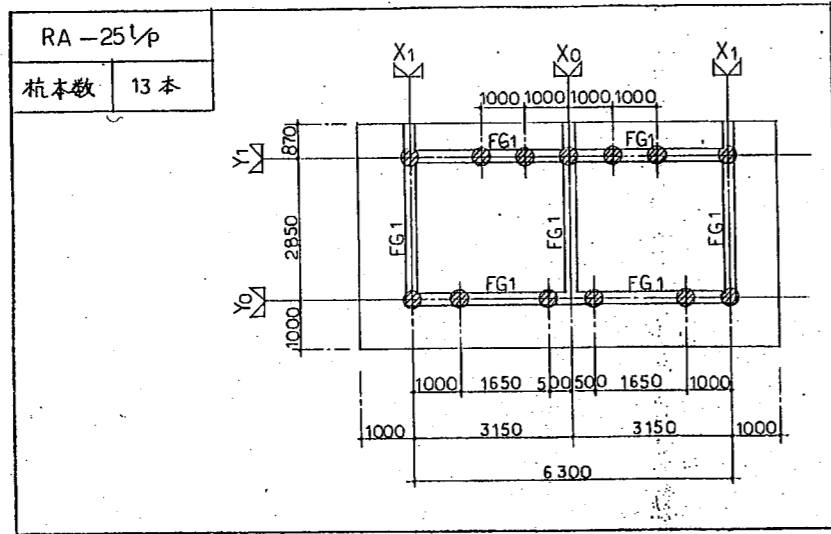


基礎部分

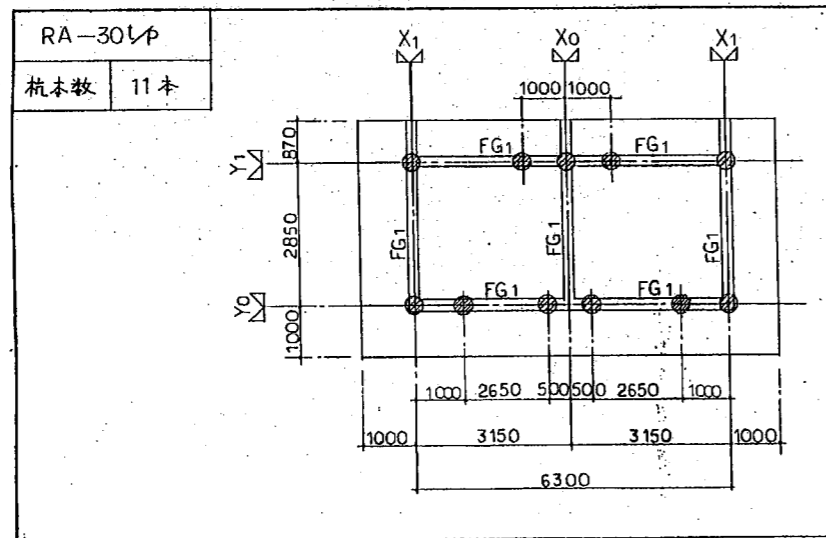


昭和63年7月	設計者	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	明細名称	図面番号
大阪府建築部						阪-増-92-4PC-(3#)3)-900-60301	1.8.9	1.8.9
株式会社						阪-増-92-4PC-(4#)4)-1#-60301	杭基礎部分の配筋図	C-2
兵庫建築事務所								

杭基礎伏図 (1棟-A)



杭基礎伏図 (1棟-B)

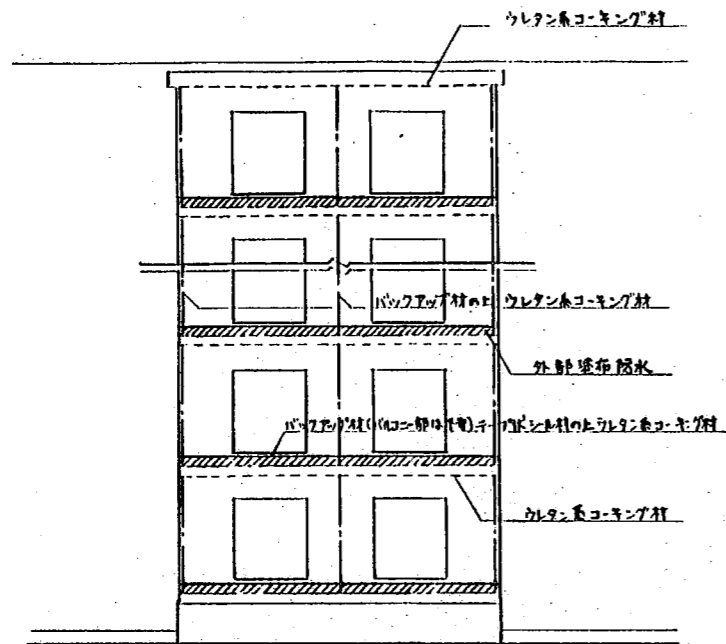


基礎梁リスト

中止筋 D10 @750

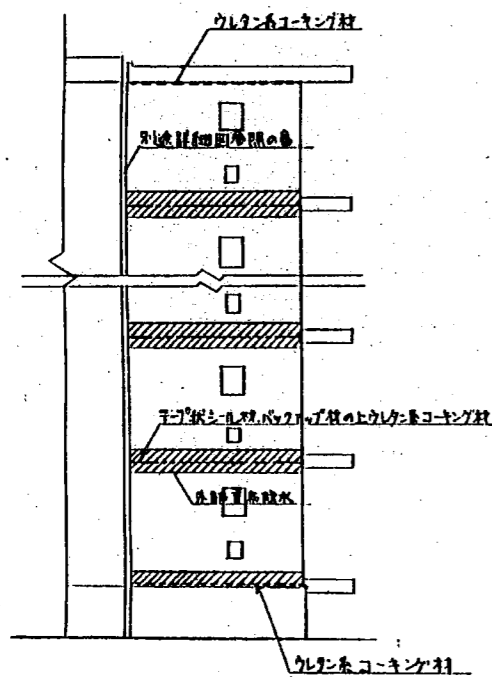
符号	FG1	FG2
位置		
上端筋	2-D19	2-D22
下端筋	2-D19	2-D22
ST	D10-@250	D10-@250
腹筋	12-D10	12-D10

平成 年月日	営繕監	主幹係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	1号棟	図面番号
	大阪府建築部				阪-増-92-4PC-(3#X3)-900-60301	杭基礎伏図		C-3
	営繕室					基礎梁リスト		
	株式会社					縮尺		
	共同建築事務所							

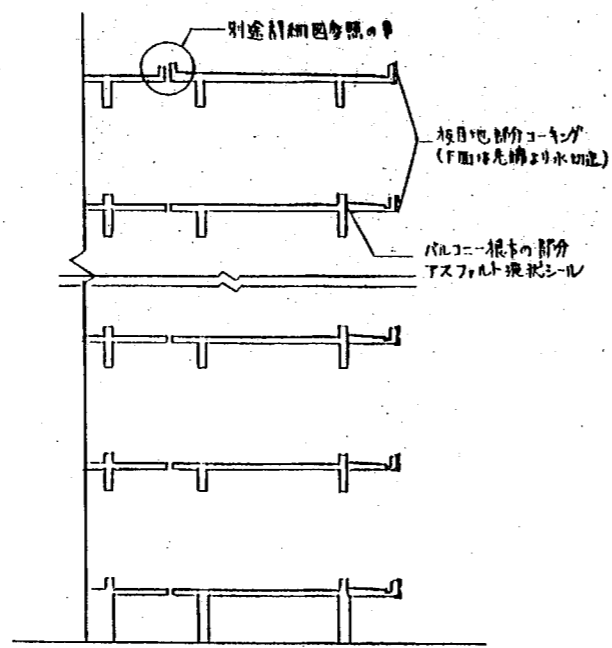


(2住戸棟)

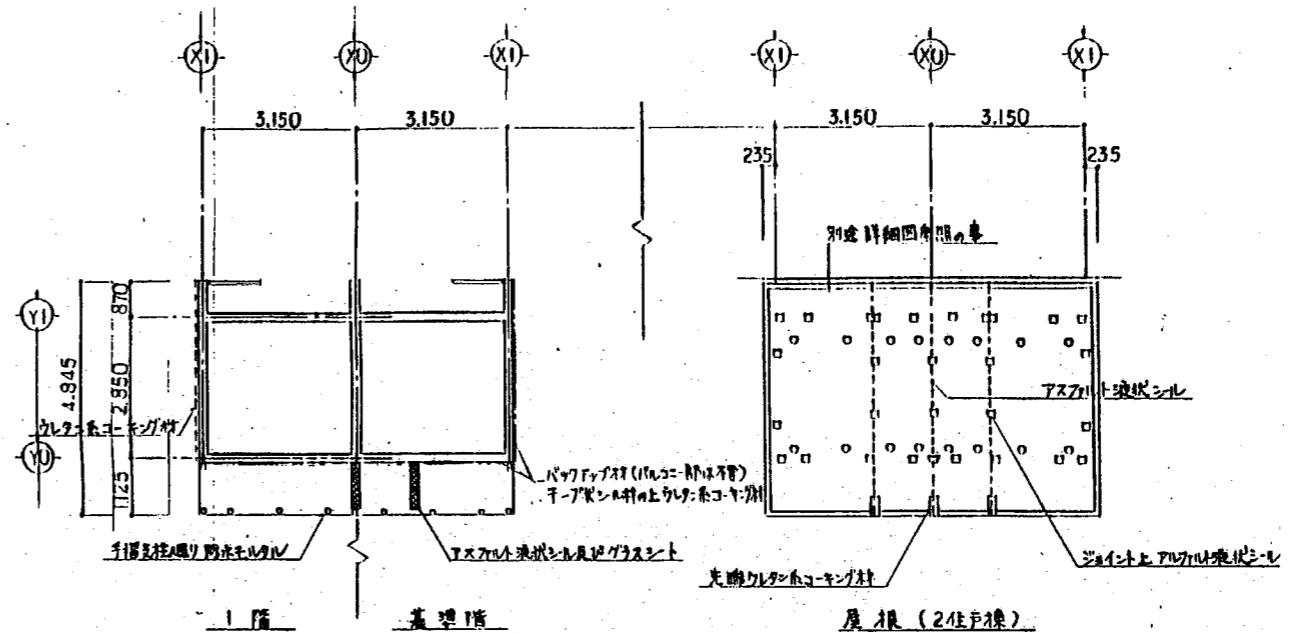
南側



妻側



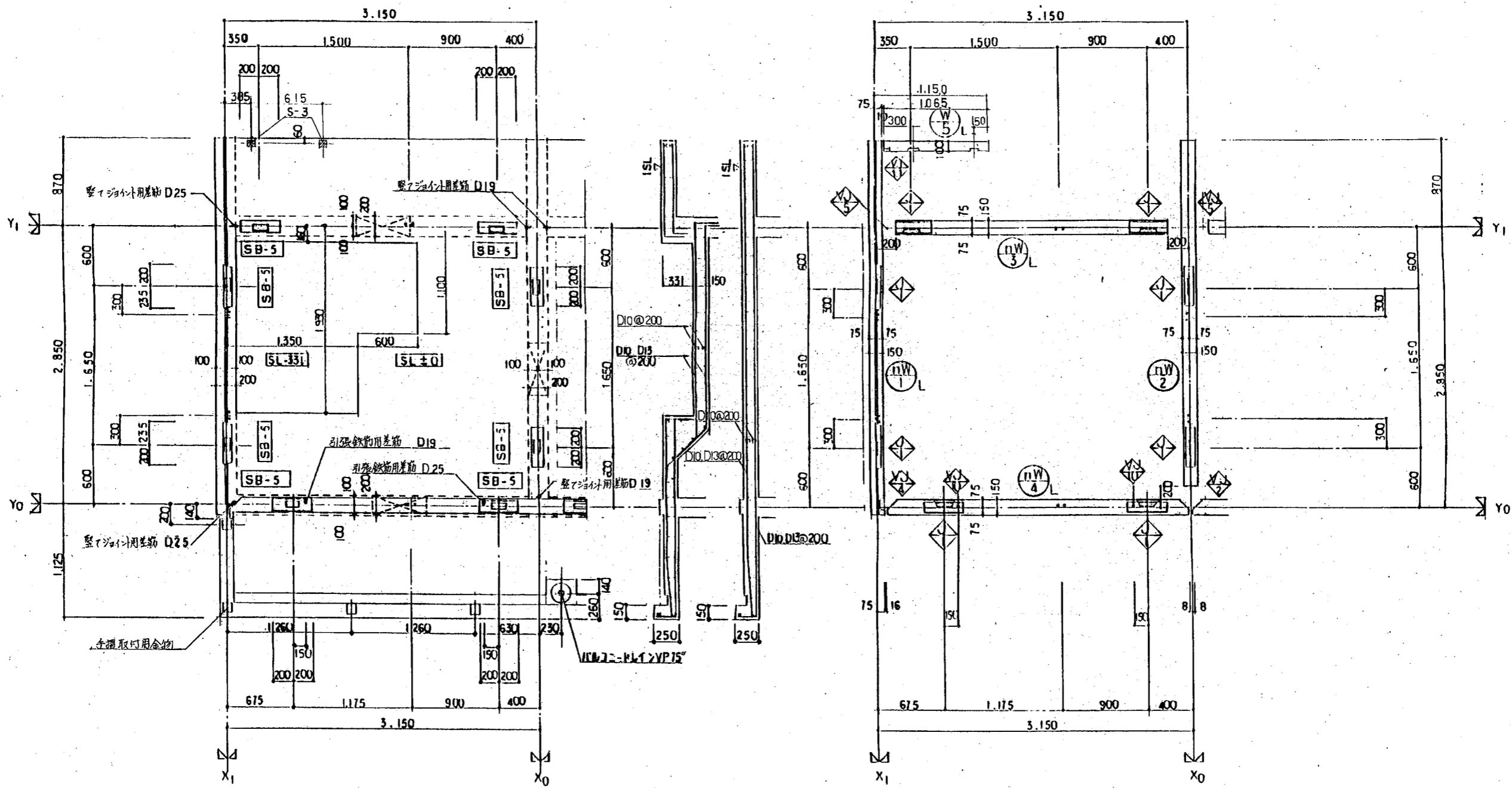
断面



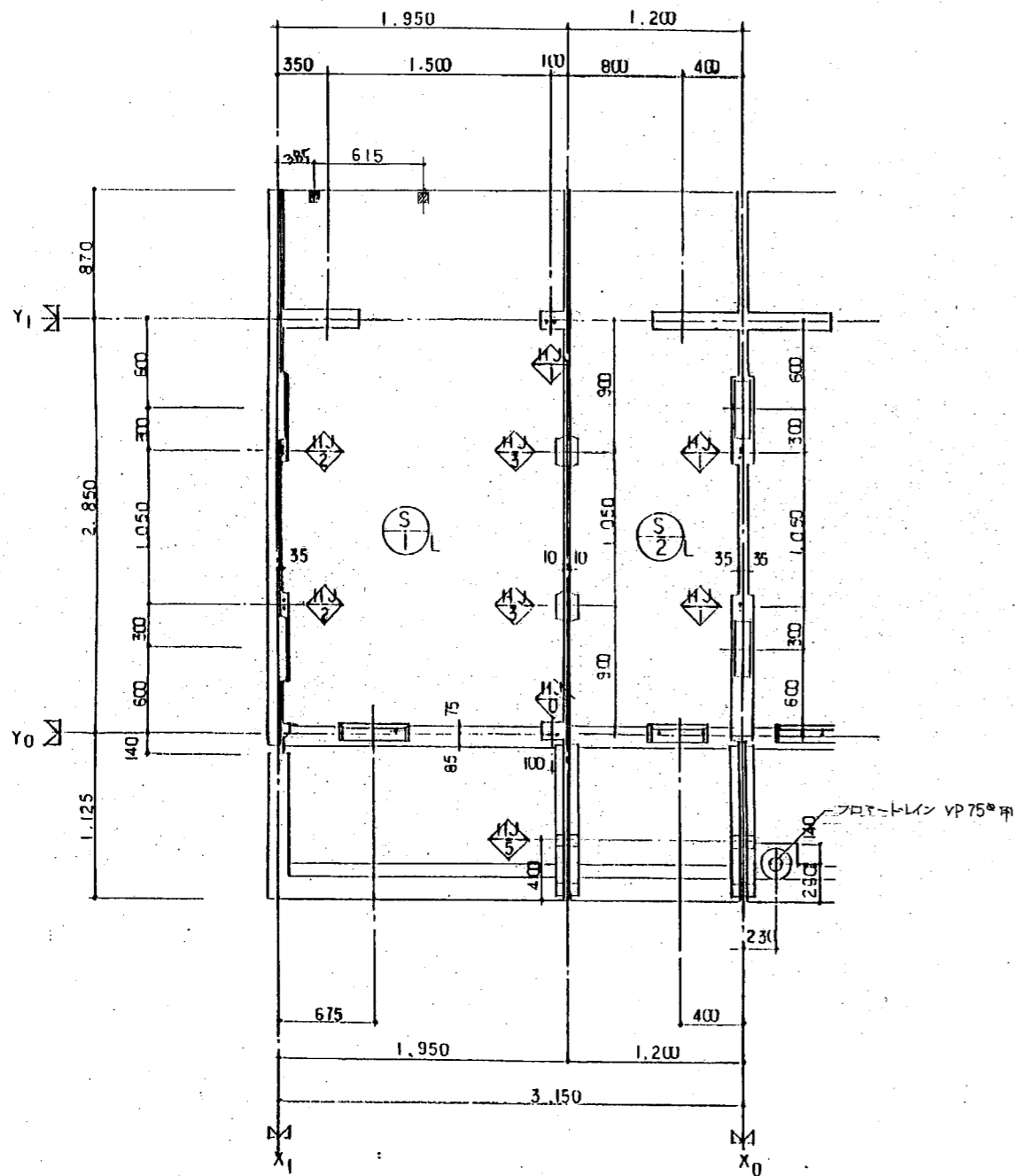
防水箇所	材料	備考	
外壁	水平ジョイント目地処理	ウレタンコーキング材の上 保護モルタル	外部水平目地 1/100 以下 壁面防水足跡 1箇所は
	一般	テープ状シール材、パッキン材の上ウレタン系コーキング材	
	屋根	ウレタン系コーキング材	
	バルコニー 上部	テープ状シール材、ウレタン系コーキング材	
	バルコニー 下部	ウレタン系コーキング材	
バルコニー	垂直ジョイント目地	パッキン材の上ウレタン系コーキング材	
	ジョイント目地	アスファルト液状シール 見込 グラスシート	
	根元	アスファルト液状シール	
	先端	ウレタン系コーキング材	
内部	排水パン廻り	ポリサルファイド系コーキング材	
	ジョイント継目地	ウレタン系コーキング材	
	排水管廻り	アスファルト液状シール	
屋根	屋根板目地	アスファルト液状シール	
	X 通	巾 200 ㎜	
	Y 通	巾 200 ㎜	
	屋根底先端	ウレタン系コーキング材	
屋根防水	断熱防水と併用		

1. アスファルト液状シール : フジシールと同等以上の性能を有する製品とする。
2. テープ状シール材 : 専ら主材指定の試験に合格した製品とし工法は製造所の仕様による。
3. ウレタン系コーキング材 : ウレタンを主材とした2液硬化型弾性シーラントとする。
4. パッキン材 : 丸又は角状の発泡樹脂シールと同等もしくはそれ以上の製品としシール材に対して接着性の良好なものとする。
5. ガラス繊維を強化したポリサルファイド系シール材 : フジガラスシートと同等以上の性能を有する製品とする。
6. ポリサルファイド系コーキング材 : オールコーキング材と同等以上の性能を有する製品とする。

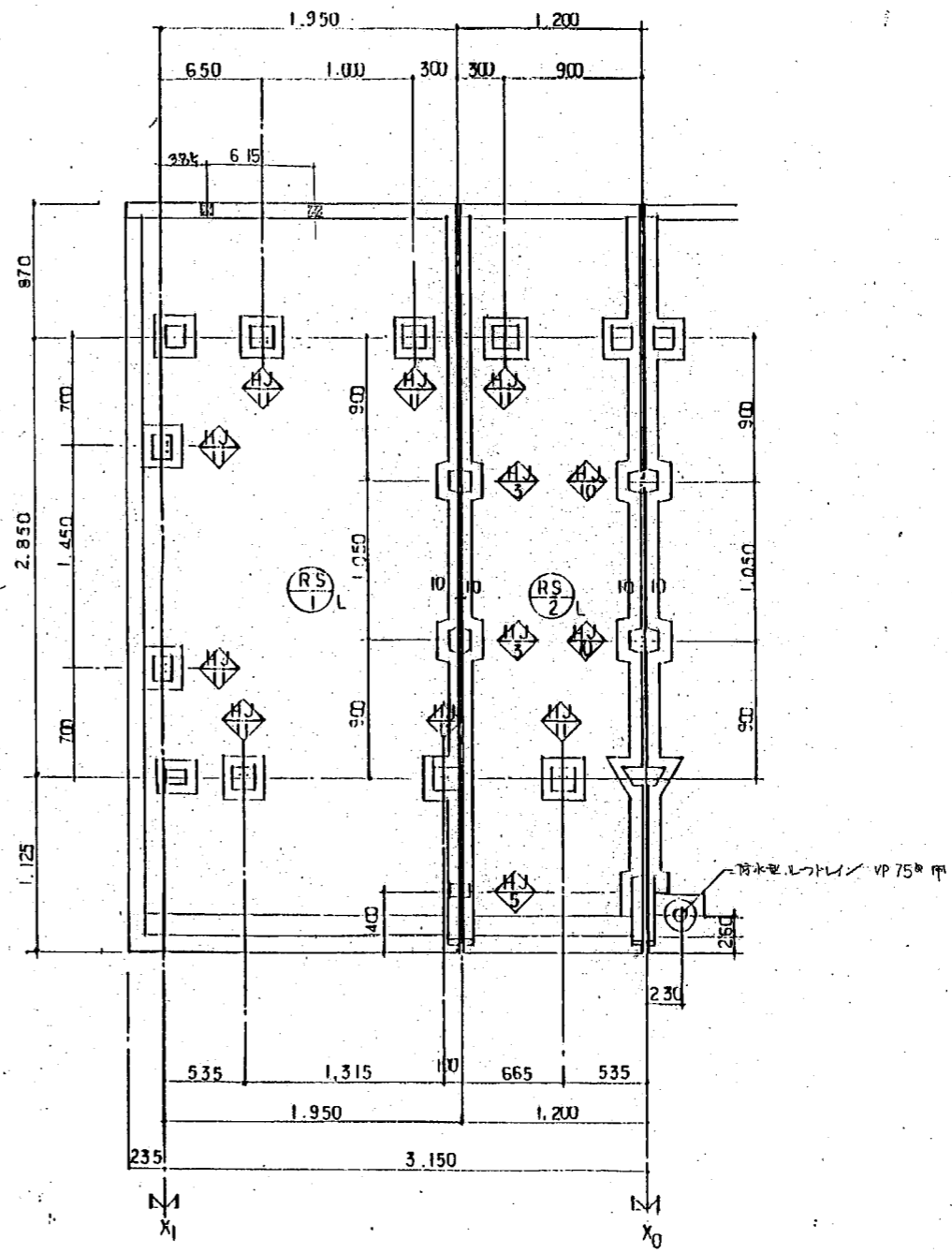
平成 年月日	監理	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	号棟	図面番号
	大阪府建築部 営繕室					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	防水架内図		C-5
	株式会社 共同建築事務所						縮尺		



平成 年月日	管線監	主幹係長	主査担当	建物型式名	図面名称	号棟	図面番号
				阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	基礎・壁柱組立図		C-6
				株式会社 共同建築事務所	縮尺		



1F 27714 RC造 2/3



平成 年月日	営繕監	主幹係長	主査担当	建物型式名	図面名称	号棟	図面番号
	大阪府建築部			阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	床・屋根取組立図		C-7
	株式会社				縮尺		
	共同建築事務所						

工事名称 大阪府豊能郡東住宅第2期増築その他工事
 工事場所 大阪府豊能郡東1丁目
 特記 1) 杭の施工法 — アースオーガー先端ミルク注入工法。
 2) 杭 種 — 高強度プレストレストコンクリート杭(管径ABC種 JIS A 5337(ブレンジョン方式連心高強度プレストレストコンクリート)の規格品とし、かつ建仕指巻462号による許容耐力と満足されるもの)
 3) 杭径、杭長、耐力 — 下表による。

工区	計画連杭数	杭			オガー 深さ (m)	長期杭 耐力 (kN)	標準 耐力 (kN)	ボリ ン Pp	杭間 距離 (m)
		本数 (本)	杭径 (mm)	杭長 (mm)					
1	A	13	350	24	A17	25	25	2	1
					A10				
	B	11	350	23.5	B16.5	24.5	30	2	2
					A10				
8	A	11	350	19	C19	20	35	1	3
					A10				
	B	11	350	19	C19	20	35	1	4
					A10				
C	11	350	19	C19	20	35	1	4	
				A10					
9	A	9	400	26	C17	27	40	2	5
					A10				
	B	9	400	26	C17	27	40	2	5
					A10				
C	11	350	19	C19	20	35	1	6	
				A10					
D	11	350	19	C19	20	35	1	6	
				A10					

オガー深さは、現況地盤及び設計地盤を考慮の上、ボリリング
 参考値及び試験値を参考に決定すること。
 ①—1 上記表の※印は、試験杭を示す。
 ①—2 試験杭 — 上記表により試験杭を行う場合は下記による。
 1. 所定のオガー深さまで掘削の後、打固工法とす。
 2. 支保力算定式は下記による。

$$Ra = \frac{F}{55 + 0.01}$$

 ①—3 試験値 — 上記表により試験値を行う場合は下記による。
 1. 本杭に先立ち、指定深さまで掘削し、オガーを停止し、
 静かに引抜き、オガー先端に付着している土砂を採取
 して支保層を確認する。
 2. 深さは杭先端+1mを標準とし、必要に応じて支保層
 を貫通する。
 3. アースオーガーの駆動用電動機の電流値は自動記録
 できるものとする。
 4) 建築本体業者との取合 — 下記項目は本工事とする。
 a 杭の出し(建築本体業者の立会を受け施工すること)
 b 杭の出し(杭径、杭長等)による基礎等の補強は本工事による
 c 杭頭処理(GL上部掘削はフリック壁等防止処置は本工事による)
 d 泥水漏入防止処置(杭打込み前には下層に防水、杭頭に蓋を
 取付けること)
 e 埋め戻し(試験値の取付ボリリング使用杭の次の埋め戻しは
 本工事とは建築工事仕指巻3.2.3に準じて行うこと)

アースオーガー先端ミルク注入工法の仕様

- I 工法の概要 1) 安定液をアースオーガー先端から噴出して、所定の深さに達した後、
 アースオーガーを引き上げる。その際、根固め液を所定量注入し、
 その後、再度安定液を掘削孔全長に充填せしめ引き上げる。
 2) 杭を連打した後、杭を圧入または軽打す。
- II 施工計画
 1. 施工計画書 — 施工に先立ち、施工計画書を提出し、監督員の承認を受ける。
 2. 機械の配置
 1) 杭打ち機は、三脚支持型の使用を原則とする。
 2) オガーの寸法は下記による。
 先端部 — 杭径+10cm以上
 本体 — 杭径以上
 長さ — 杭長(延) + 3m
 3) 杭のソウ入補助装置
 圧入装置は20t以上。
 4) プラウトプラント
 液の用途別にそれぞれ専用のミキサーを使用し、容量は
 600ℓ以上、数量は4個(但し根固め液の量が600ℓ
 未満の場合は3個)以上とする。

III 施工

- 1 準備作業 — 杭工事に先立ち、試験掘削等により地中障害物の有無等を
 調査する。また地盤の安全性を確かめて危険のないよう
 鉄板敷等の補強処置を行う。
- 2 掘削作業
 1) 杭心にオガーの中心を正確に合せ、オガーの垂直性を
 トランジットあるいは下堀りによって二方向から確認して掘削
 する。
 2) 掘削速度は、施工の良否に關係が深いので地盤に適した
 速度で掘削を進めること。
 3) 掘削中、オガーは逆回転を行ってはならない。引上げ時に
 もオガーは正回転とする。その際、吐出量と引き上げ速度の
 關係に十分注意する。
 4) オガーによって排除される土は、掘削孔中に落ち込まない
 ように引上げなければならない。又、杭のソウ入時にも特に注意が
 必要である。
- 3 支保層の掘削と確認
 1) 杭先端は、先端支保力を確保するために注入した根固め液
 の中に十分に浸透させる。支保層への掘削深さは1.5mを標
 準とし、掘削速度は十分に注意する。
 2) 支保層の確認は、ボリリング調査結果等を参考にすると共に
 支保層に近づいた後、掘削速度を一定に保ち、アースオーガーの
 駆動用電動機の電流値の変化を読みとり、支保層への到達
 を確認する。
- 4 掘削長の検査
 掘削が杭先端深さに達したら、掘削長を測定し、監督員
 の検査を受ける。なお、掘削長の測定は10cm単位とする。
- 5 各種液及び注入作業
 5-1) 材料と計量
 1) セメントは着流ボリリング用セメントとし、セメントは200メッシュより
 も細かい粒子のものとする。
 2) セメント・セメント・水・砂の配合にあたっては外部から水が浸
 入しないよう保護場所を設けると共に防湿にも注意する。

- 3) 水量は混合タンクの見易い位置に透明レベル管を固定し、タンク
 容量を使用開始前に監督員の立会いのもとに測定し、レベル管
 水量計に目盛をつける。さらに掘削用液、根固め液の必要量位
 置に前者は黒、後者は赤テープ等で表示する。
 4) セメント・セメントの計量は袋または半袋単位とするが、セメント
 は重量計量としてもよい。
- 5-2) 掘削液
 掘削液の配合は表-1を標準とする。但し監督員の承認を
 得て地質に応じた配合とすることができる。

表-1

	使用量	備 考
セメント	120kg	600ℓ混合タンクに於ける 標準配合
セメントナイト	25kg	
水	450ℓ	
練り上り量	500ℓ	

5-3) 根固め液
 1) 根固め液の配合・使用量は表-2による。

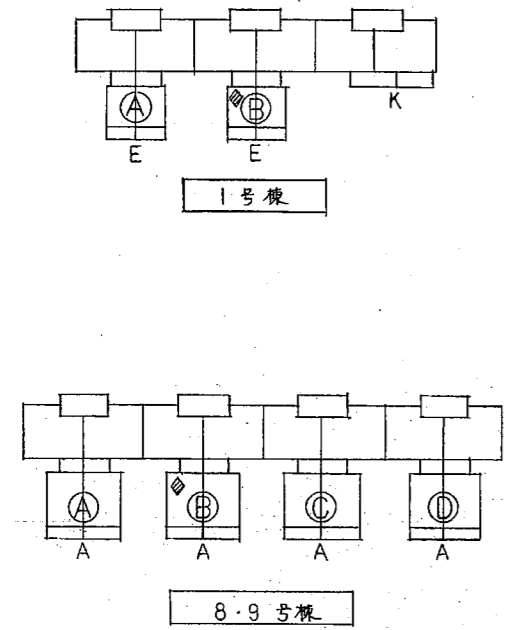
表-2

杭径 (mm)	掘削 深さ (m)	水 (ℓ)	300		350		400		450		500		600	
			水 (ℓ)	セメ (kg)	水 (ℓ)	セメ (kg)	水 (ℓ)	セメ (kg)	水 (ℓ)	セメ (kg)	水 (ℓ)	セメ (kg)	水 (ℓ)	セメ (kg)
30	2.0	200	280	250	380	320	440	400	560	450	620	610	850	
	2.5	250	360	320	440	390	540	470	660	560	780	770	1120	
30	2.5	250	360	320	440	390	540	470	660	560	780	770	1120	
	3.0	300	420	360	500	440	600	520	700	600	800	780	1320	

備考 1) 水:セメント = 1:1.4
 2) 前掲係数: 1.3 距離比: 0.9

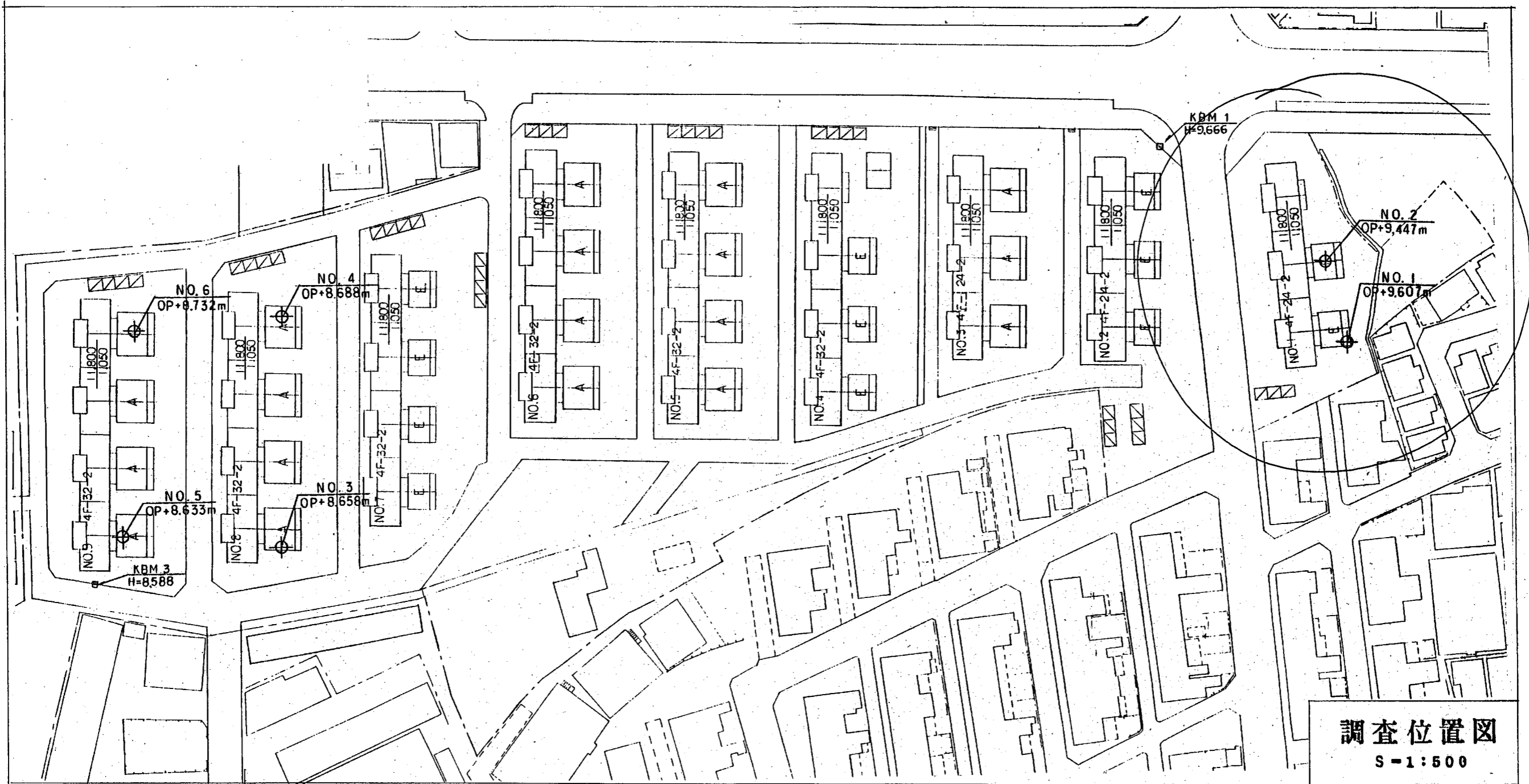
- 2) 根固め液は必ず杭の先端位置から注入しはじめ、掘削液を
 押し上げるようにする。その際、掘削液から根固め液への切替
 え時期とオガーの引上げ時期は掘削液の吐出量、ホース径、ホース長、
 オガー長を考慮して行う。すなわち、ポンプから根固め液を送
 った時、オガーヘッド先端から孔中に注入されるまでには
 時間的余裕があるので十分に確認しておくこと。
 3) 根固め液注入時には、オガーの上下は行わず、オガーヘッド
 を常に注入した根固め液の上より下方に保持しながら、
 徐々に引上げるものとする。なお、スライム処理のため、オガーの
 上下が必要とされる場合には、根固め液を注入する前の級
 階で行う。
 4) 所定量の根固め液が注入された後は、再び掘削液に切替
 え、掘削孔全長に充填せしめながらオガーを徐々に引上げる。
 5-4) 掘削液の液練方法
 セメントのみとあらかじめ水に液練し、ストックしたもの、セメント
 を加えるかあるいはセメントを先にミキサーに投入し5分液練、
 液練してからセメントを投入する。
 6. 杭の連打
 1) 杭のソウ入は、ソウ入を与えないように掘削孔中心部にゆとりと
 行う。終り杭については、下層に落ち込まないよう適当な保護
 装置を設ける。杭の自重によるソウ入後、圧入又は軽打を行う。なお、
 圧入の場合、圧入時の保持時間が短くと、間隙水圧の上昇により、杭の
 浮上りが起るので、間隙水圧が低下するまで(2~5分間)圧入力を保
 持しなければならない。
 7. 掘削の処理
 掘削の掘削は50cm以内を原則とし、必要とされる場合は掘削又は増削を行う。

IV その他
 1. 泥水処理 — 掘削液の処理方法は、掘削業者の責任において場外処分とする。
 なお、監督員が指示する場合は、処分地の搬入日時、処分時の写真等を
 報告書にまとめて提出すること。
 2. 養生処分 — 掘削液の処理方法は、掘削業者の責任において場外処分とする。
 なお、監督員が指示する場合は、処分地の搬入日時、処分時の写真等を
 報告書にまとめて提出すること。



--- 試験杭位置を示す。
 (註) 増築棟1棟につき、1ヶ所試験掘を行う。

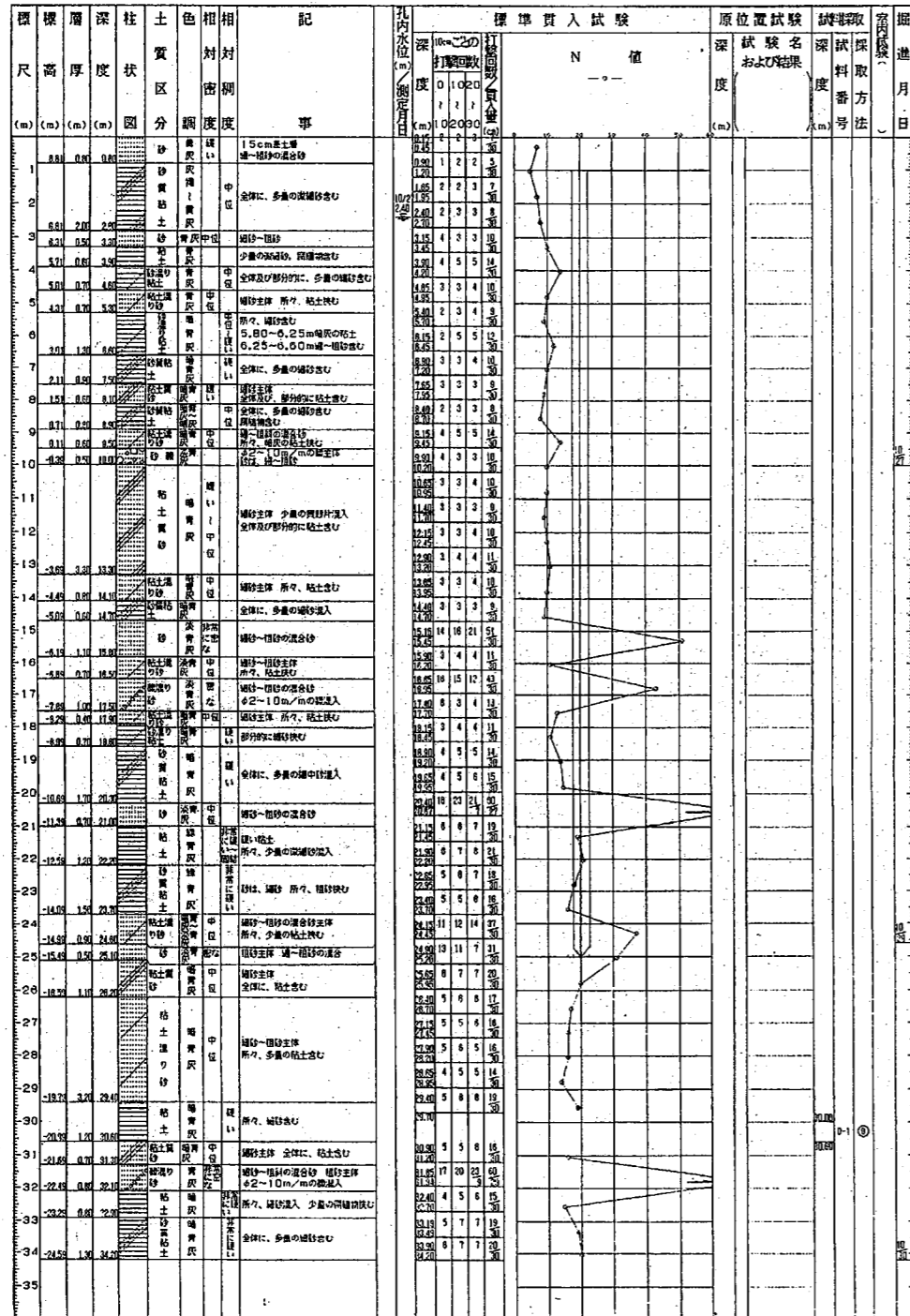
昭和 年 月 日	監理 係長 主任 担当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部		阪-増-92-4PC-(3)(3)-900-60301	杭、特記仕様書	C-11
		阪-増-92-4PC-(4)(4)1キ-⊙ 60301		



平成 年月日	営繕監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(3)(3)-900-60301	ボ-リング位盤図	参考図-1
	株式会社					阪-増-92-4PC-(4)(4)1併-⑥-60301	縮尺	
	共同建築事務所							

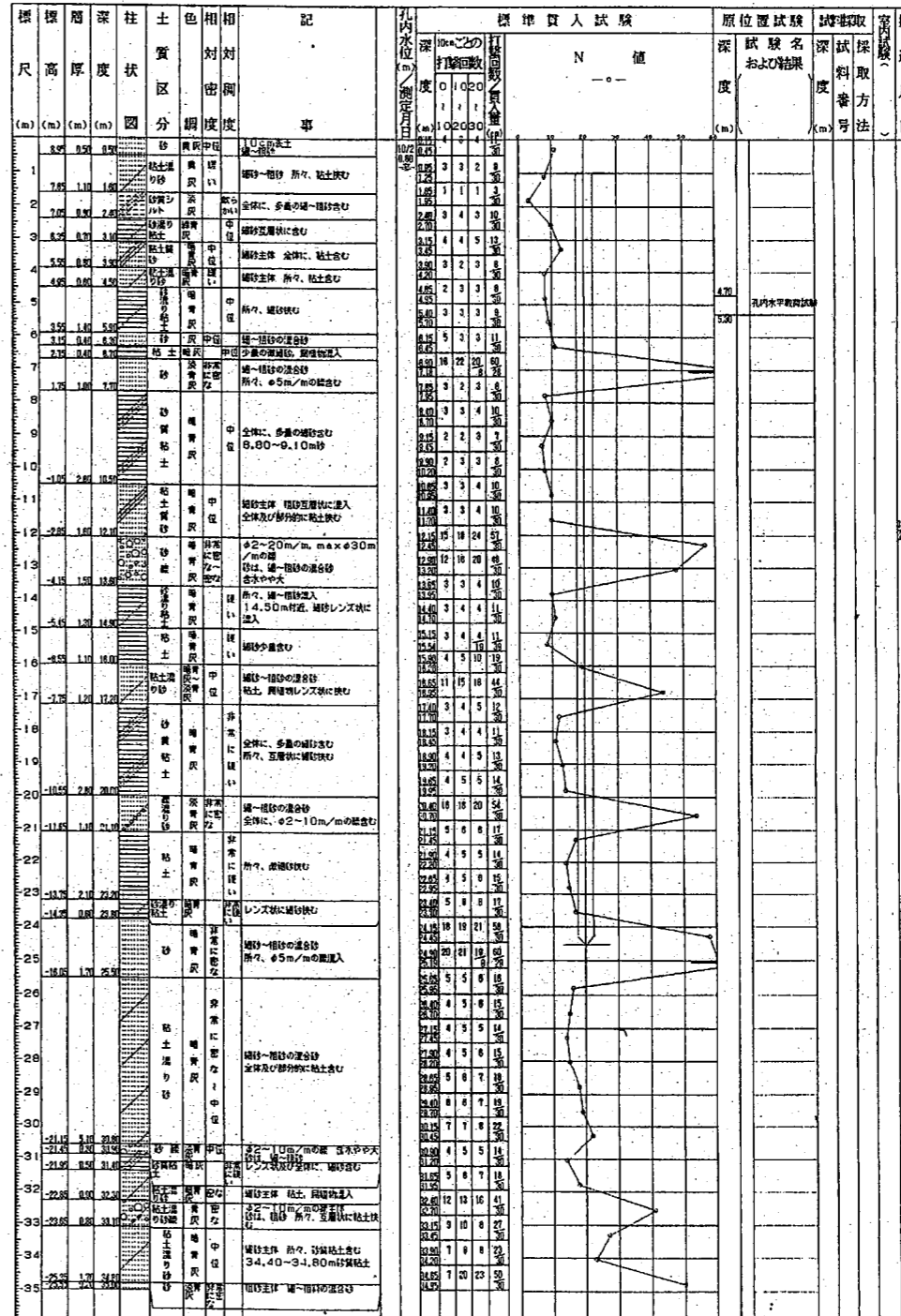
事業・工事名

Table with project details including NO. 1, location (大阪市東区瓜破東1丁目), and dates (平成4年10月29日 - 平成4年10月30日).



事業・工事名

Table with project details including NO. 2, location (大阪市東区瓜破東1丁目), and dates (平成4年10月21日 - 平成4年10月28日).

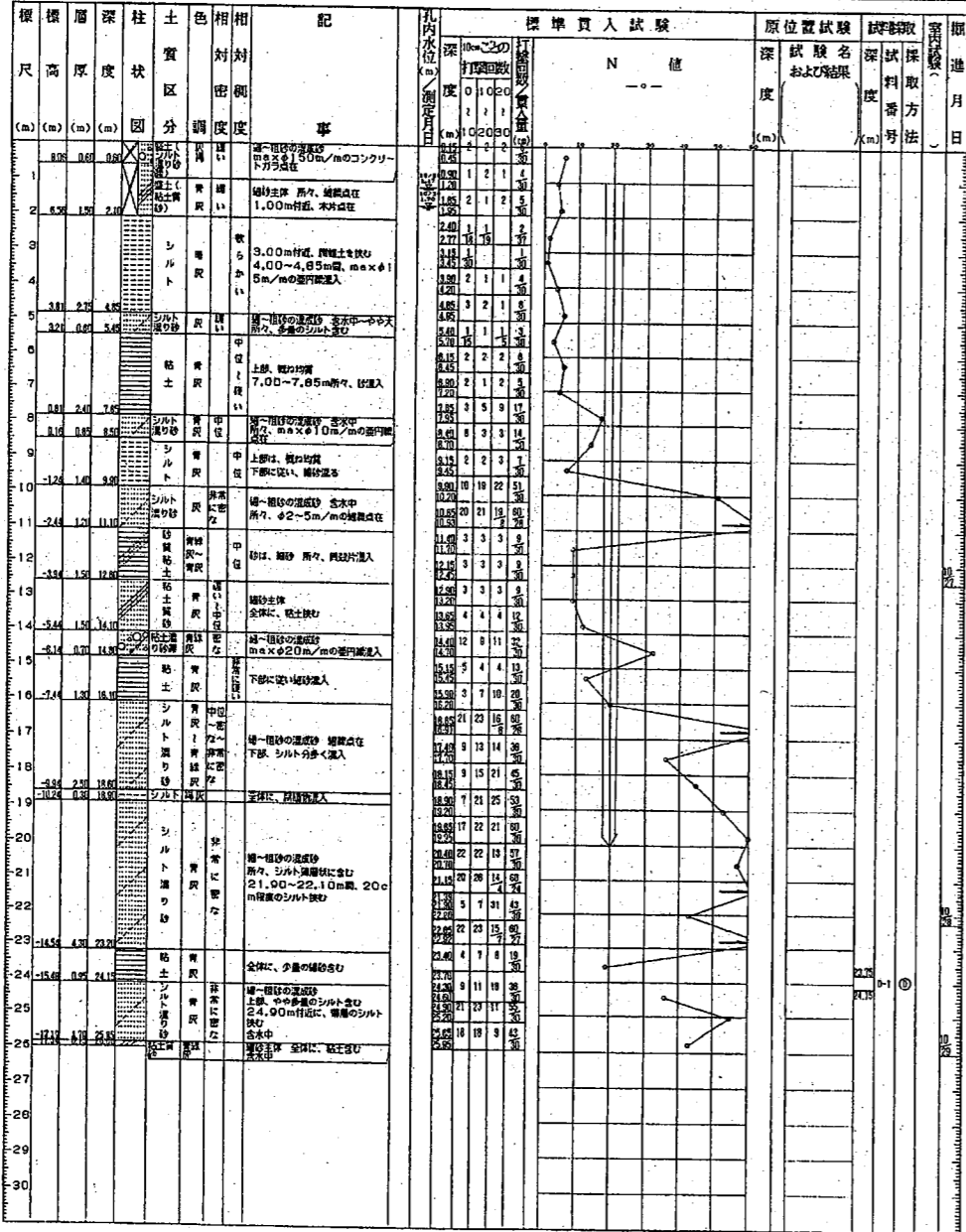


Summary table with columns for date (平成 年月日), site name (大阪府建築部 営繕室), building type (版-増-92-4PC-(3#K3)-900-60301), drawing name (土質柱状図), and drawing number (参考図-2).

調査名 大阪府管内東住宅2期増築工事地質調査
事業・工事名

ボーリング No. 03020410076

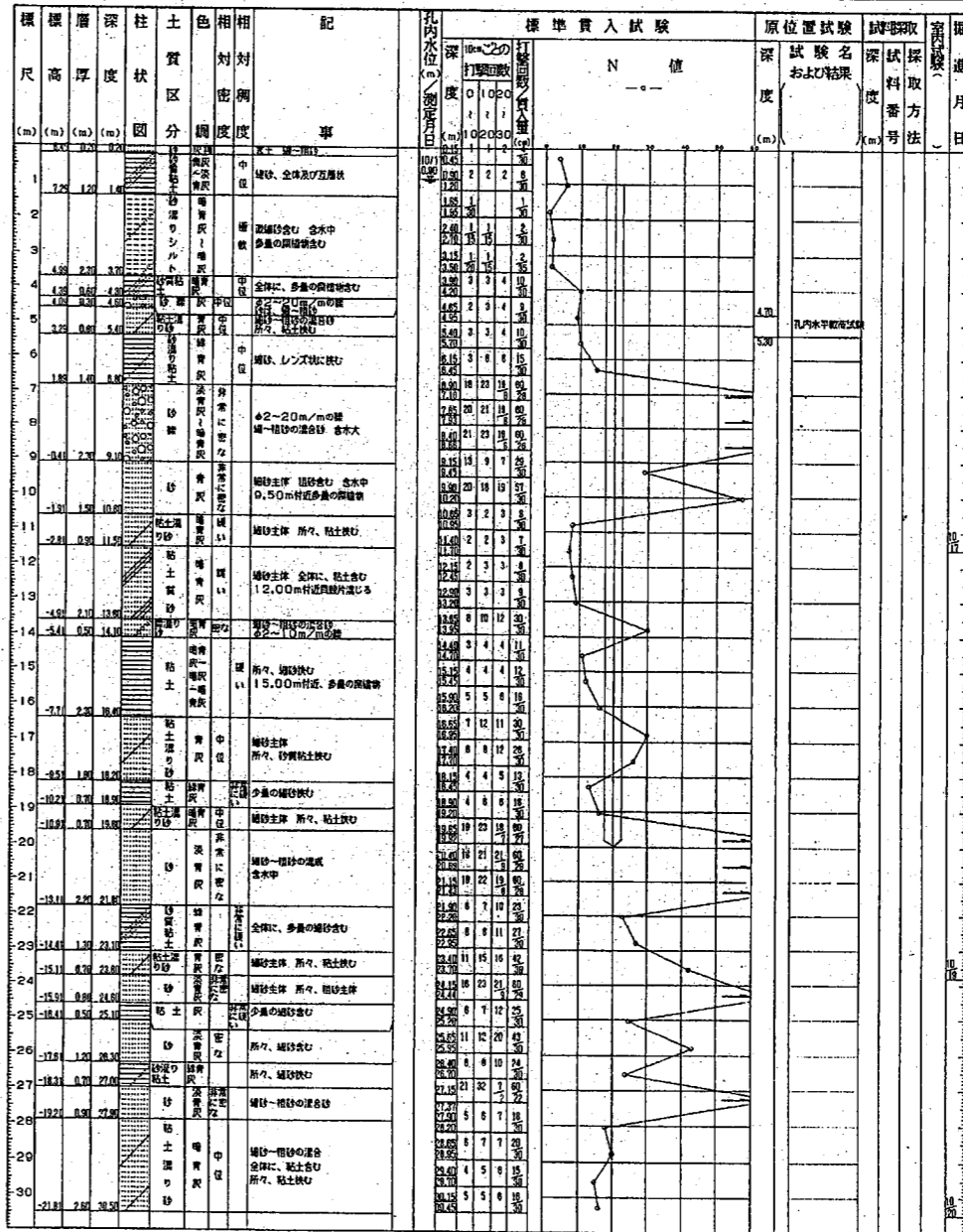
ボーリング名	NO. 3	調査位置	大阪市平野区瓜破東1丁目 北緯
発注機関	大阪府建築部 営繕室		
調査業者名	東海地質工業(株)	主任技師	角 正一
調査期間	平成4年10月27日~4年10月30日		
調査場所	東区	代理人	松田重樹
調査者	コア	監定者	宮崎良彦
ボーリング責任者	植地和子	試験機	DI-B(58)
エンジン	NFD-13	ポンプ	コーンブリー
総掘進長	28.00m		BG-3B



調査名 大阪府管内東住宅2期増築工事地質調査
事業・工事名

ボーリング No. 03020410079

ボーリング名	NO. 4	調査位置	大阪市平野区瓜破東1丁目 北緯
発注機関	大阪府建築部 営繕室		
調査業者名	東海地質工業(株)	主任技師	角 正一
調査期間	平成4年10月17日~4年10月20日		
調査場所	東区	代理人	松田重樹
調査者	コア	監定者	宮崎良彦
ボーリング責任者	海村真志	試験機	KR-100H
エンジン	NF-90	ポンプ	V5-P
総掘進長	35.00m		

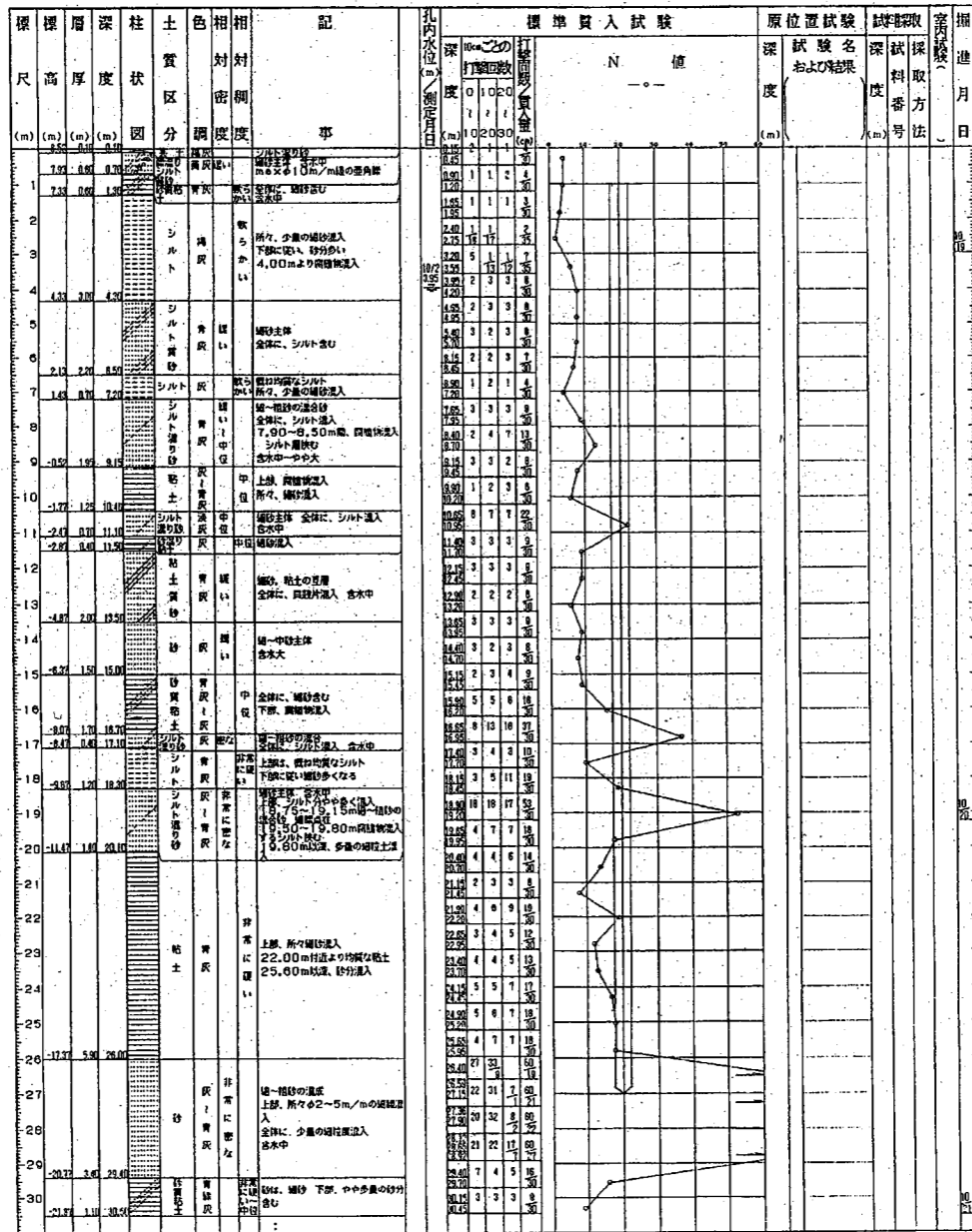


平成 年月日	営繕室 主幹係長 主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室		阪-増-92-4PC-(3)1(3)-900-60301	工賃状況図	参考図-3
株式会社 共同建築事務所		阪-増-92-4PC-(4)1(4)1(4)-60301	縮尺	

調査名 大阪府営瓜破東住宅第2期建築工事地質調査

ボーリング No. 05

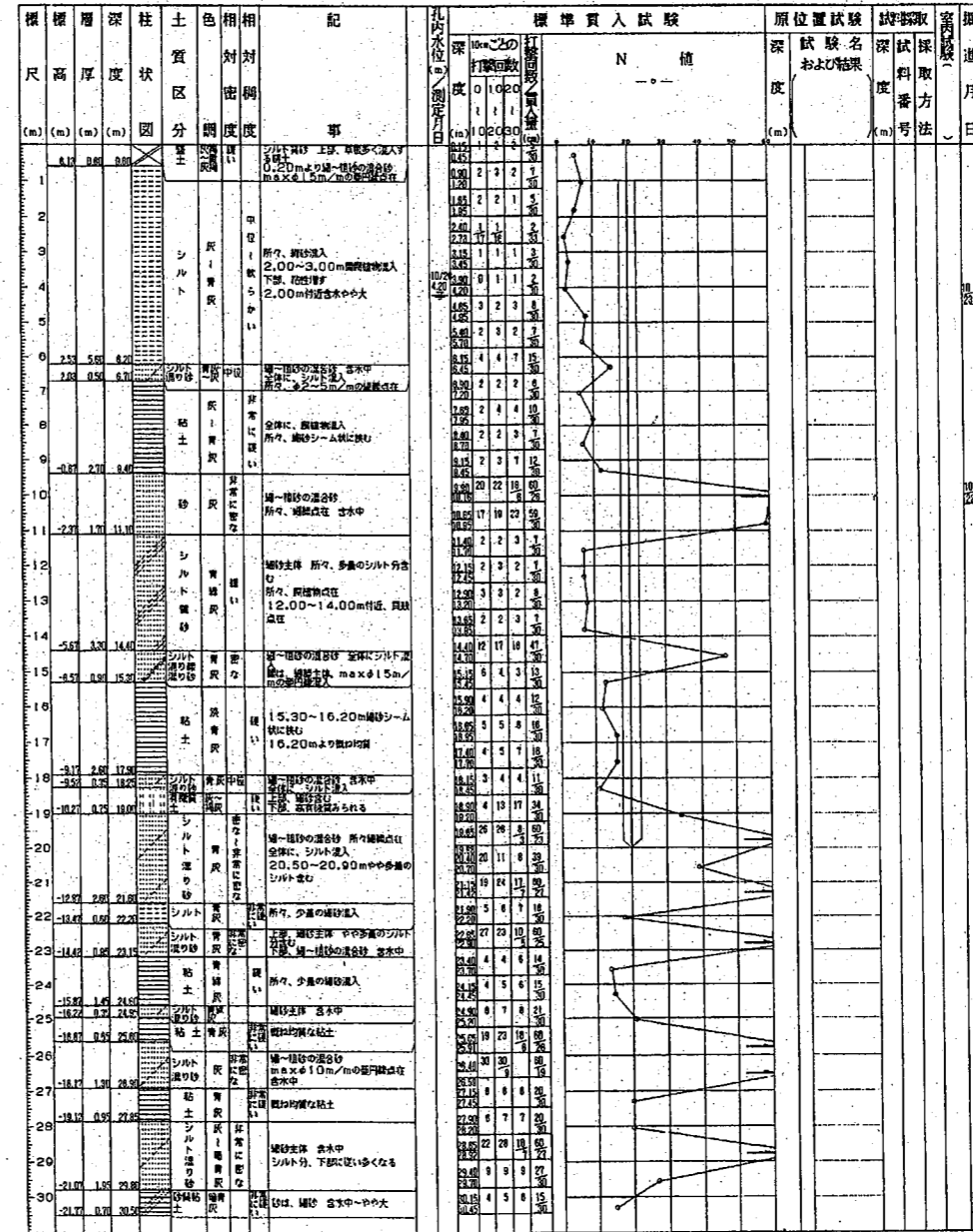
ボーリング名	NO. 5	調査位置	大阪市平野区瓜破東1丁目	北緯
発注機関	大阪府建設部建築課			
調査業者名	東海地質工業(株)	主任技師	宮崎 康彦	調査期間
孔口標高	48.52m	角	東	平成 4年10月19日 ~ 4年10月21日
総掘進長	30.50m	方	南	東経
		度	30°	
		分	00	
		秒	00	
		試錐機	D1-B(58)	ボーリング機
		エンジン	NFD-13	落下用具
				ポンプ
				BG-3B



調査名 大阪府営瓜破東住宅第2期建築工事地質調査

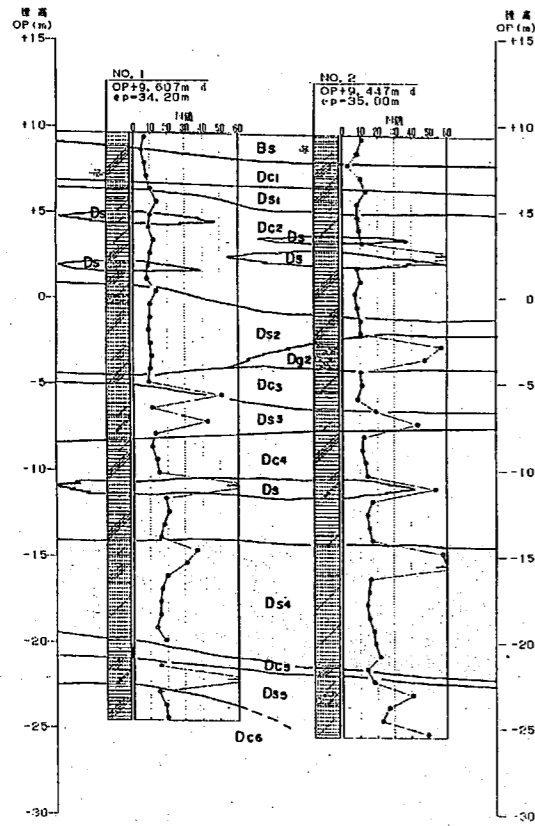
ボーリング No. 06

ボーリング名	NO. 6	調査位置	大阪市平野区瓜破東1丁目	北緯
発注機関	大阪府建設部建築課			
調査業者名	東海地質工業(株)	主任技師	宮崎 康彦	調査期間
孔口標高	48.70m	角	東	平成 4年10月22日 ~ 4年10月26日
総掘進長	30.50m	方	南	東経
		度	30°	
		分	00	
		秒	00	
		試錐機	D1-B(58)	ボーリング機
		エンジン	NFD-13	落下用具
				ポンプ
				BG-3B

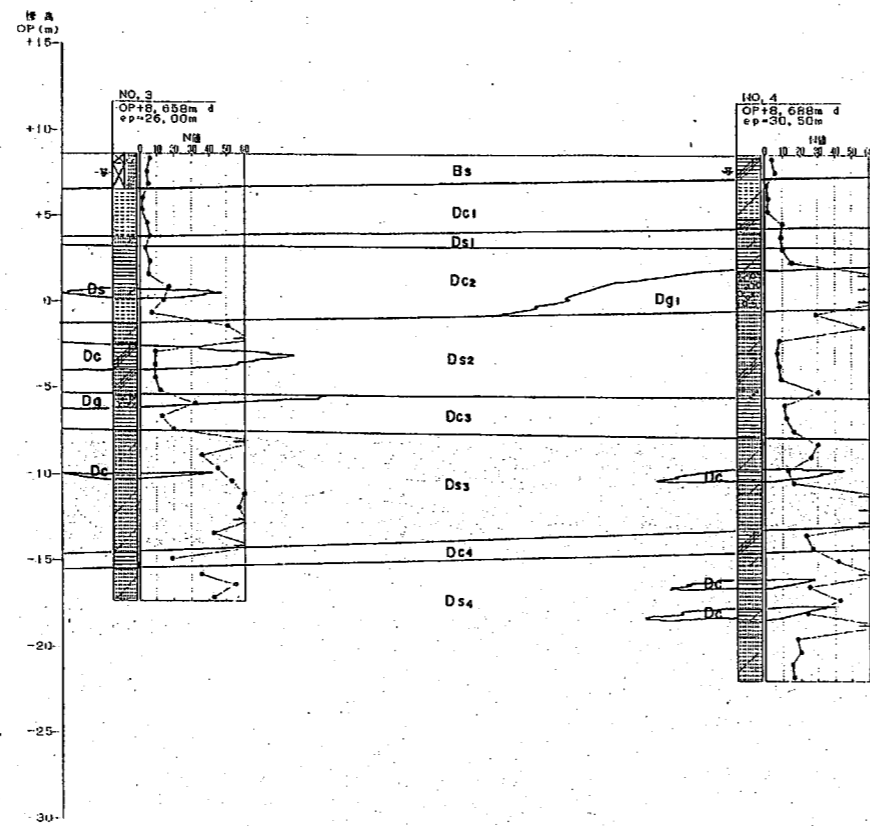


平成 年月日	宮崎 康彦	主幹係長	主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建設部 営繕室				阪-増-92-4PC-(3#)X3)-900-60301	土質 柱状図	参考図-4
株式会社 共同建築事務所				阪-増-92-4PC-(4)(4)1#(B)-60301	縮尺	

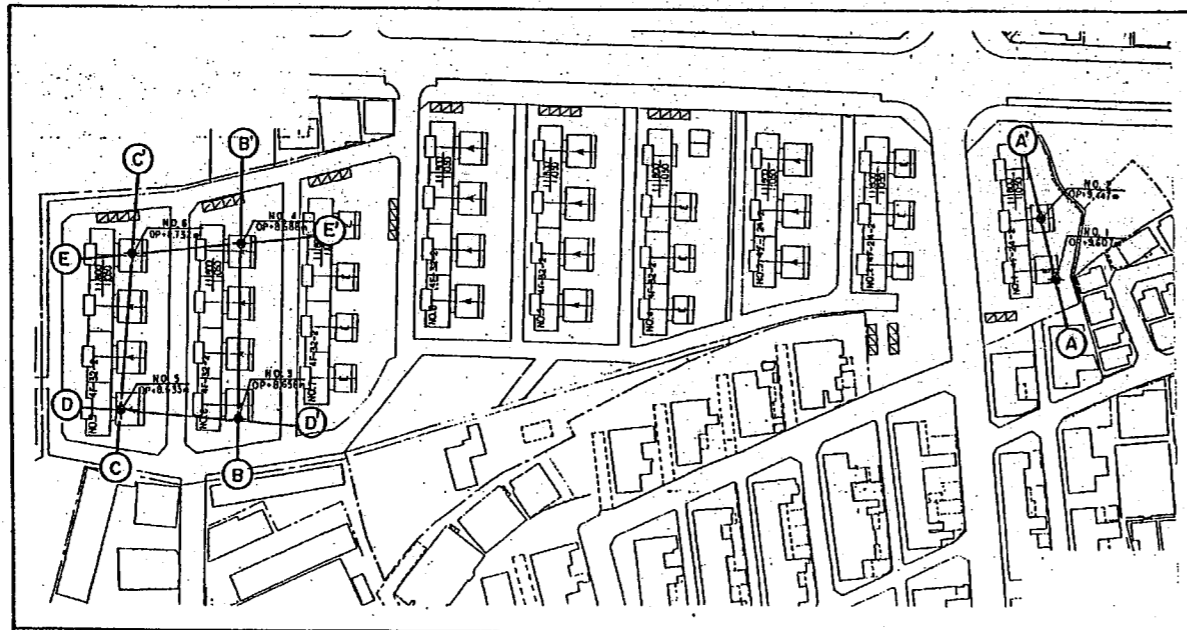
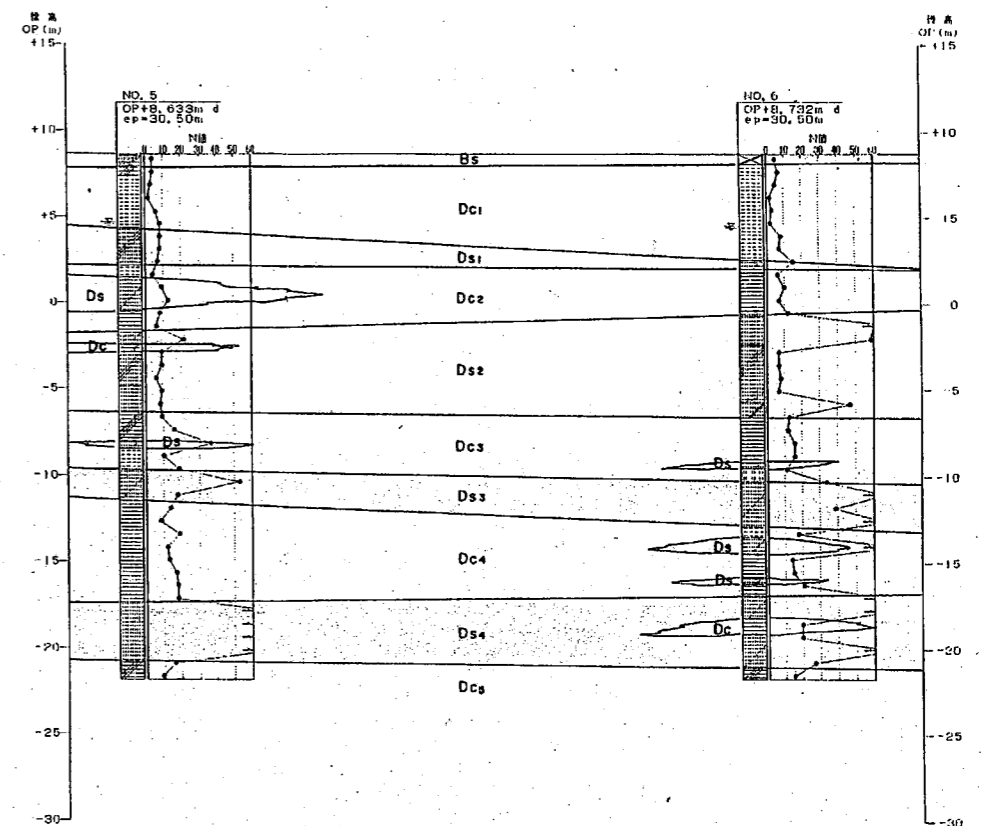
A - A' 断面



B - B' 断面



C - C' 断面



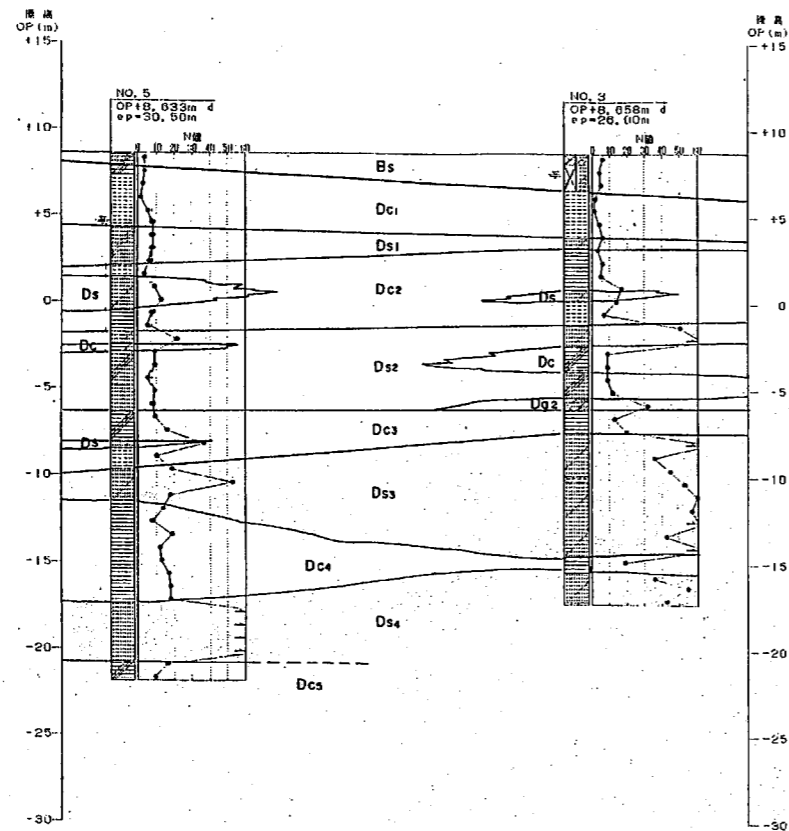
断面方向図

凡例

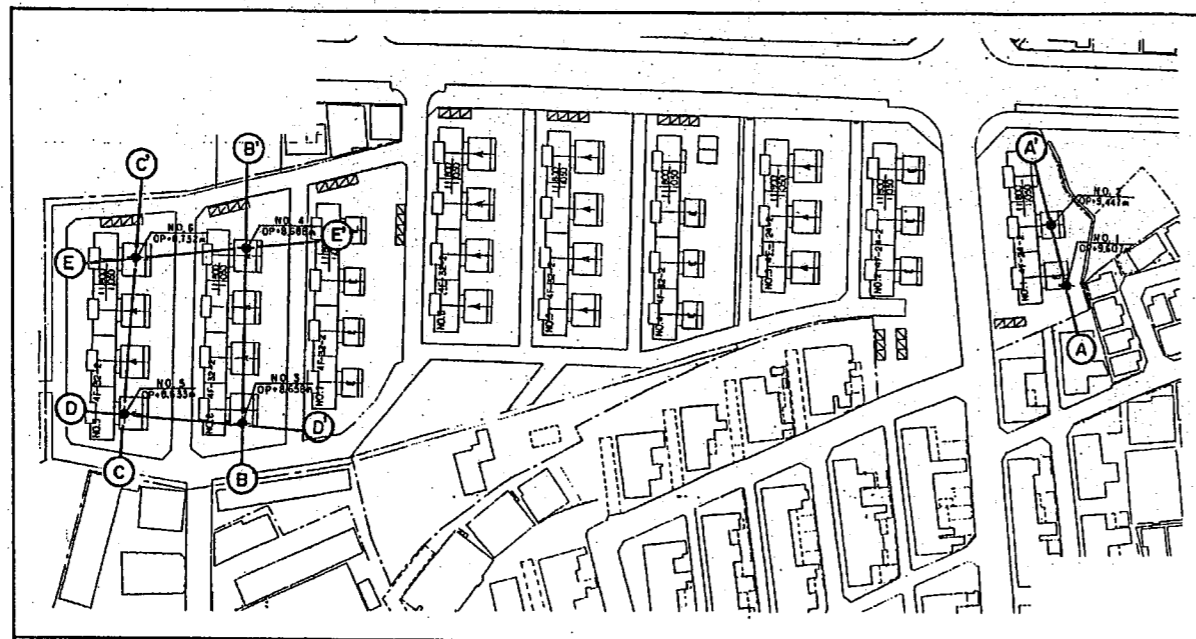
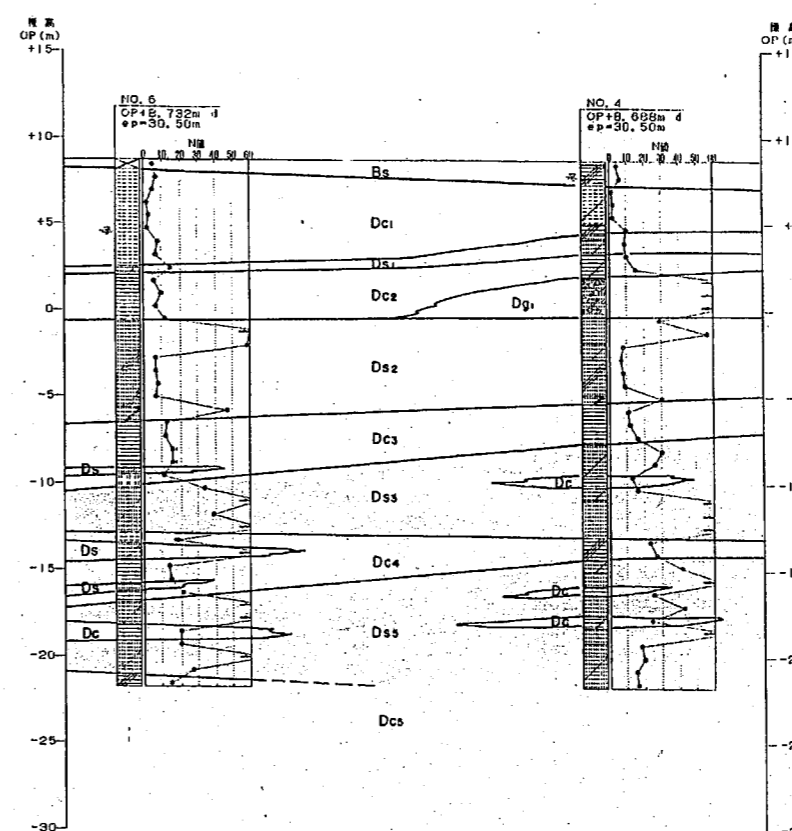
時代	土層名	記号	記 述	厚 度
新 興 土 層	粘性土	Bs	砂質粘土。細砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。	4~8
	砂・ 質黄土	Ds	粘土質シルト〜黄砂〜シルト混り砂。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	4~11
旧 興 土 層	第 1 粘性土	Dc1	砂質粘土。細砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。厚さ 1.0~1.5m の硬質土。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	1~10
	第 1 砂質土	Ds1	砂質粘土。細砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。厚さ 1.0~1.5m の硬質土。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	7~15
	第 2 粘性土	Dc2	粘土〜シルト混り砂〜シルト混り砂。厚さ 0.5~2.0m。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	3~15
	第 2 砂質土	Ds2	砂質粘土。細砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。厚さ 0.5~2.0m。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	60以上
	第 3 粘性土	Dc3	粘土〜シルト混り砂〜シルト混り砂。厚さ 0.5~2.0m。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	6~80
	第 3 砂質土	Ds3	砂質粘土。細砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。厚さ 0.5~2.0m。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	32~57
	第 4 粘性土	Dc4	粘土〜シルト混り砂〜シルト混り砂。厚さ 0.5~2.0m。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	6~20
	第 4 砂質土	Ds4	砂質粘土。細砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。厚さ 0.5~2.0m。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	11~60
	第 5 粘性土	Dc5	粘土〜シルト混り砂〜シルト混り砂。厚さ 0.5~2.0m。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	9~21
	第 5 砂質土	Ds5	砂質粘土。細砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。厚さ 0.5~2.0m。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	14~60
	第 6 粘性土	Dc6	粘土〜シルト混り砂〜シルト混り砂。厚さ 0.5~2.0m。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	9~16
	第 6 砂質土	Ds6	砂質粘土。細砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。厚さ 0.5~2.0m。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	16~60
第 7 粘性土	Dc7	粘土〜シルト混り砂〜シルト混り砂。厚さ 0.5~2.0m。細砂・粘砂を多量に混入。色黄褐色〜黄褐色。色黄褐色〜黄褐色。	15~20	

平成 年月日	営繕主 幹 係 長 主 査 担 当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室		阪-増-92-4PC-(3)半(3)-900-60301	地質推定断面図	参考図-5
株式会社 共同建築事務所		阪-増-92-4PC-(4)(4)1号-⑥-60301	縮尺	

D - D' 断面



E - E' 断面

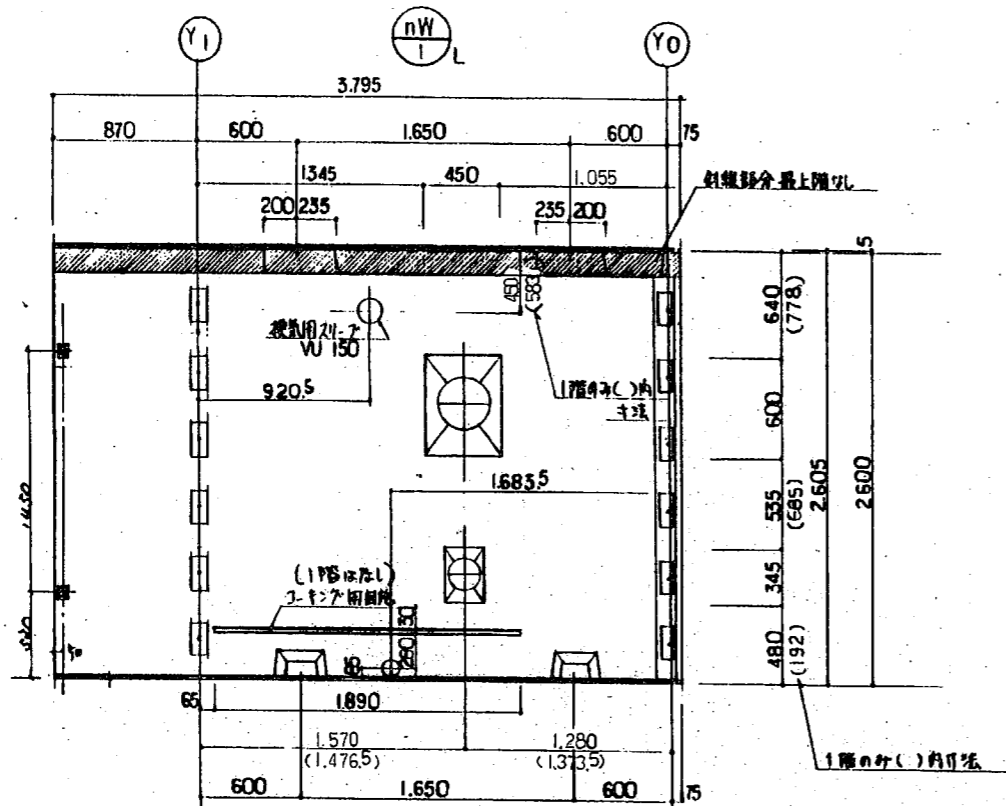


断面方向図

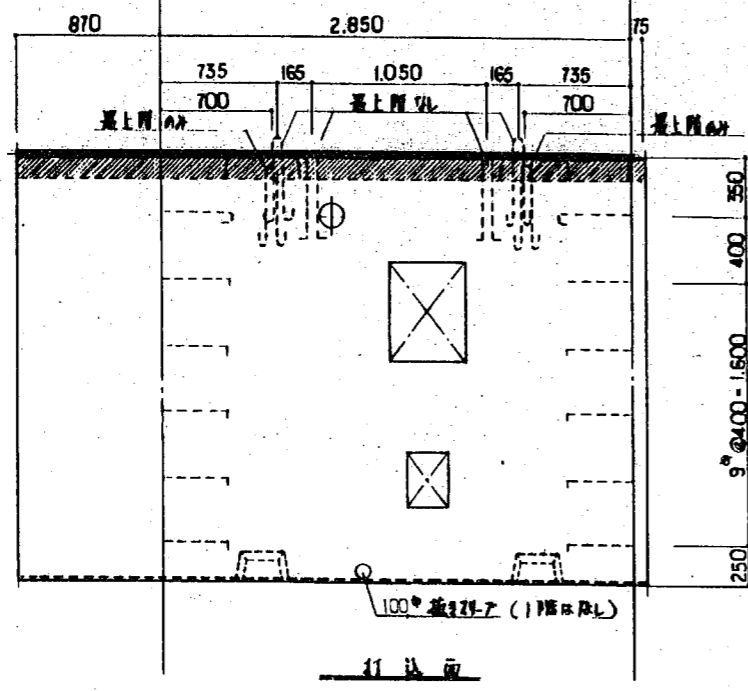
凡例

時代	土層名	記号	記号	層厚
新	土	粘粘土	B5	4~6
			Dc1	4~11
生	土	粘粘土	Ds1	1~10
			Ds2	7~15
代	土	粘粘土	Dc2	3~15
			Dc3	6以上
旧	土	粘粘土	Ds3	6~60
			Dc4	32~57
配	土	粘粘土	Dc5	9~20
			Ds4	11~60
置	土	粘粘土	Dc6	9~21
			Ds5	14~60
	土	粘粘土	Dc7	8~18
			Ds6	18~60
	土	粘粘土	Dc8	15~20
			Ds7	

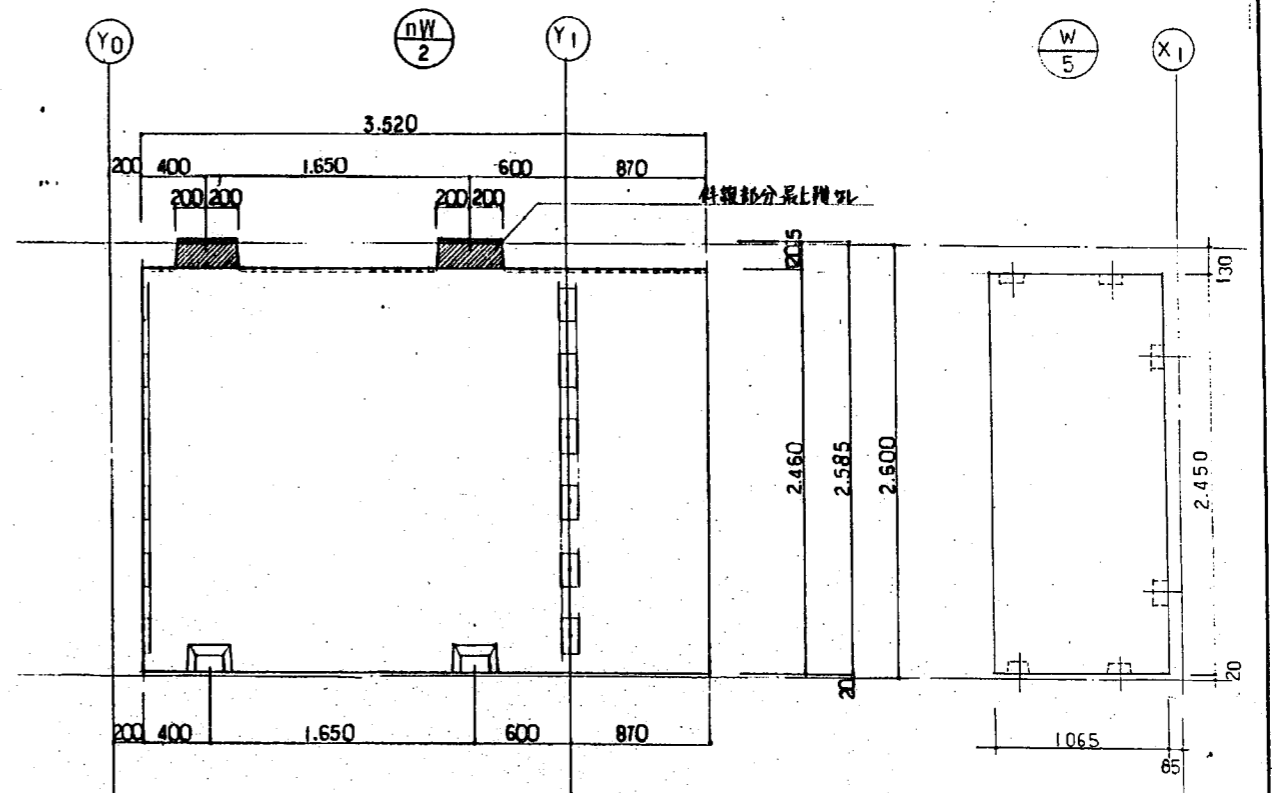
平成 年月日	営繕監	主幹係長	主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部 営繕室			下反-増-92-4PC-(4)4)1)単-⑧-60301	地盤推定断面図	参考図-6
	株式会社 共同建築事務所				縮尺	



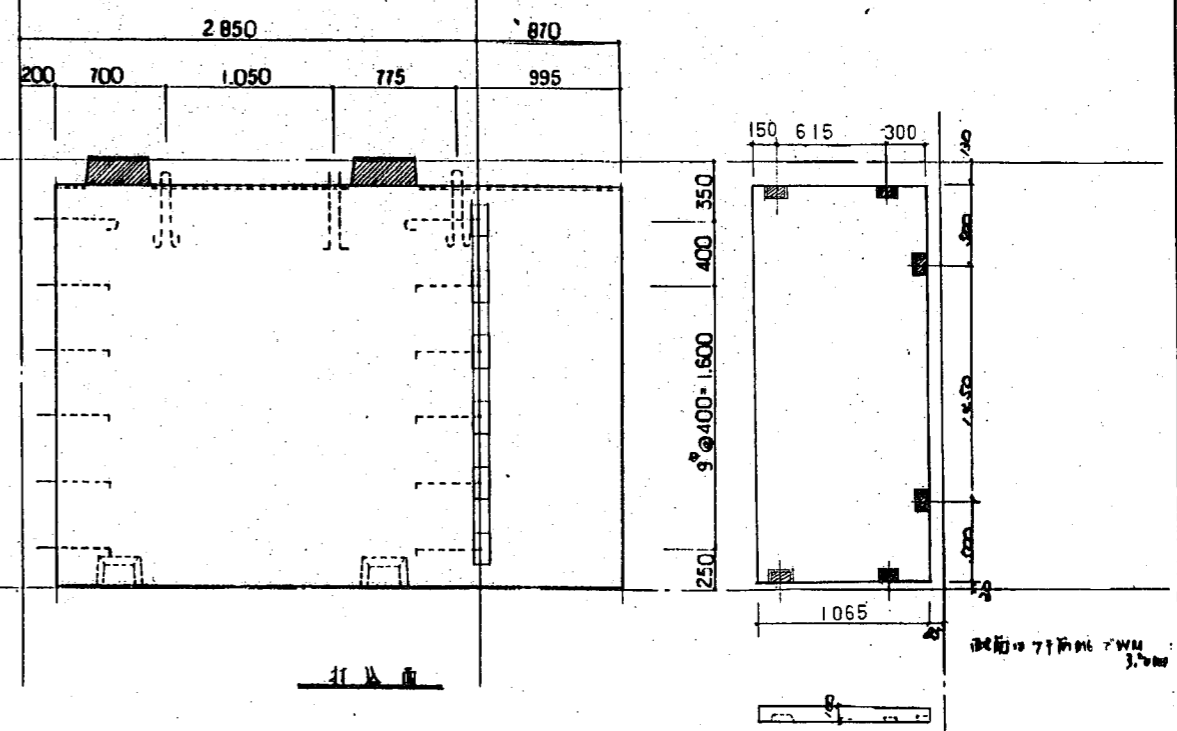
上層部



下層部



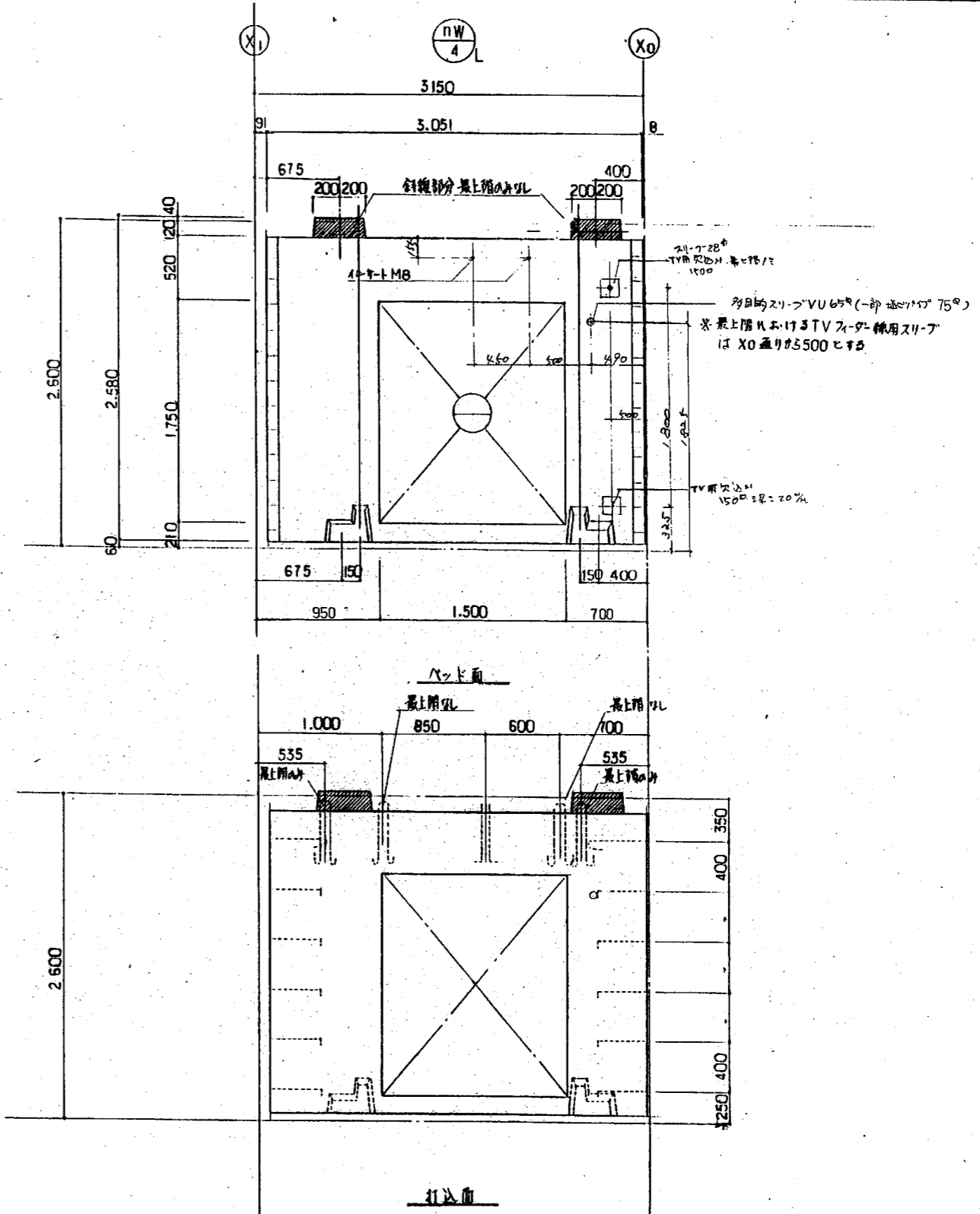
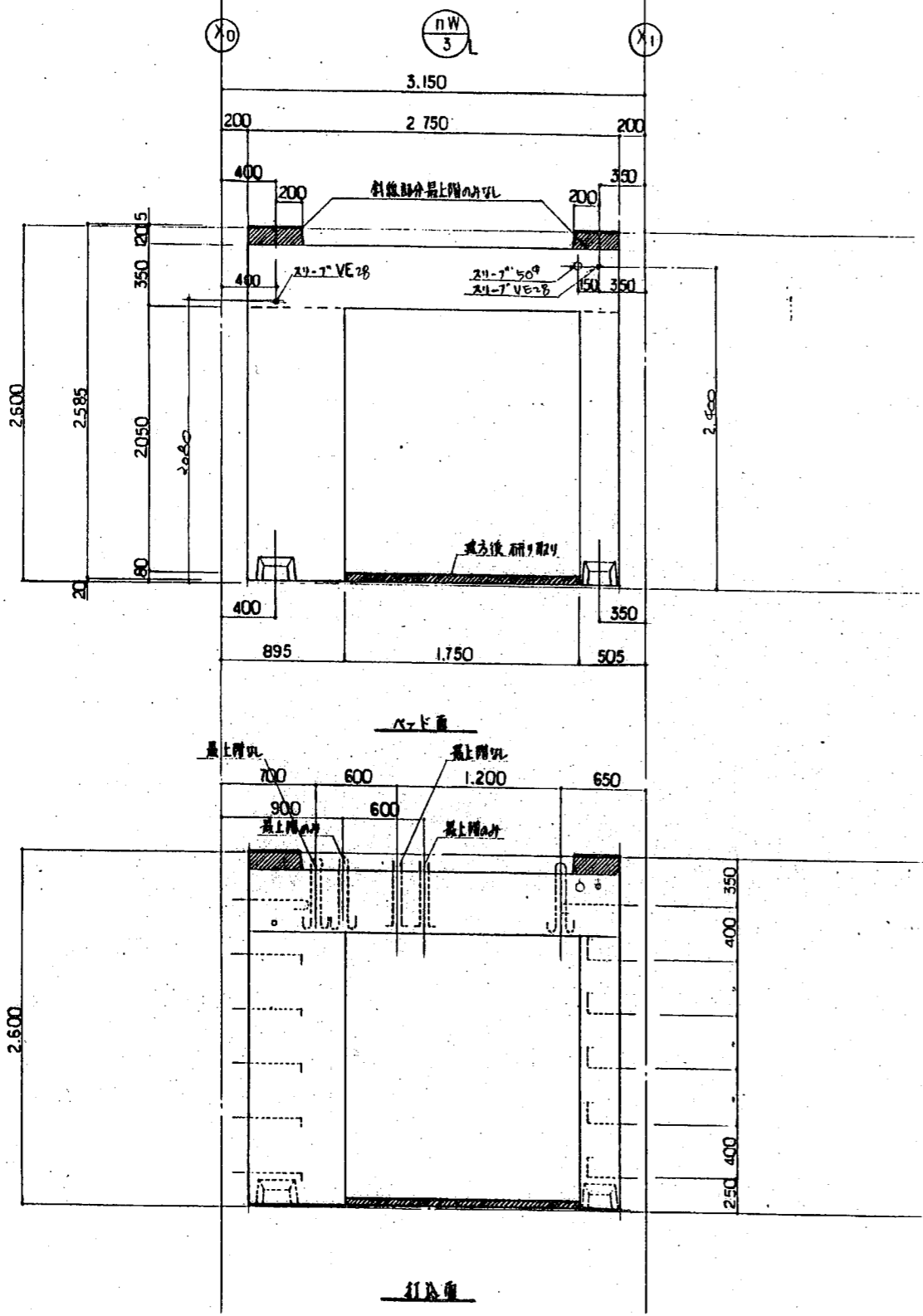
上層部



下層部

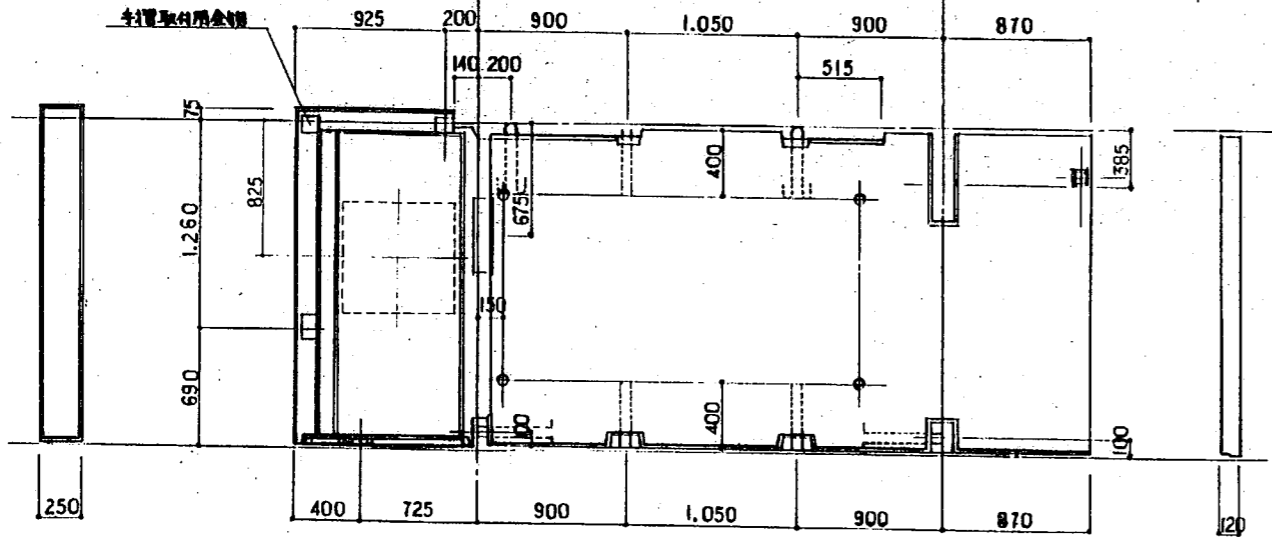
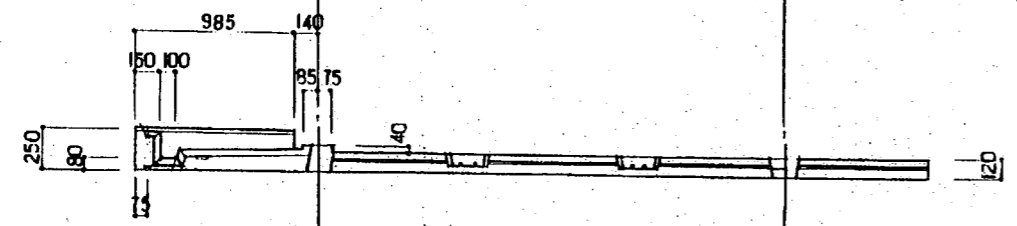
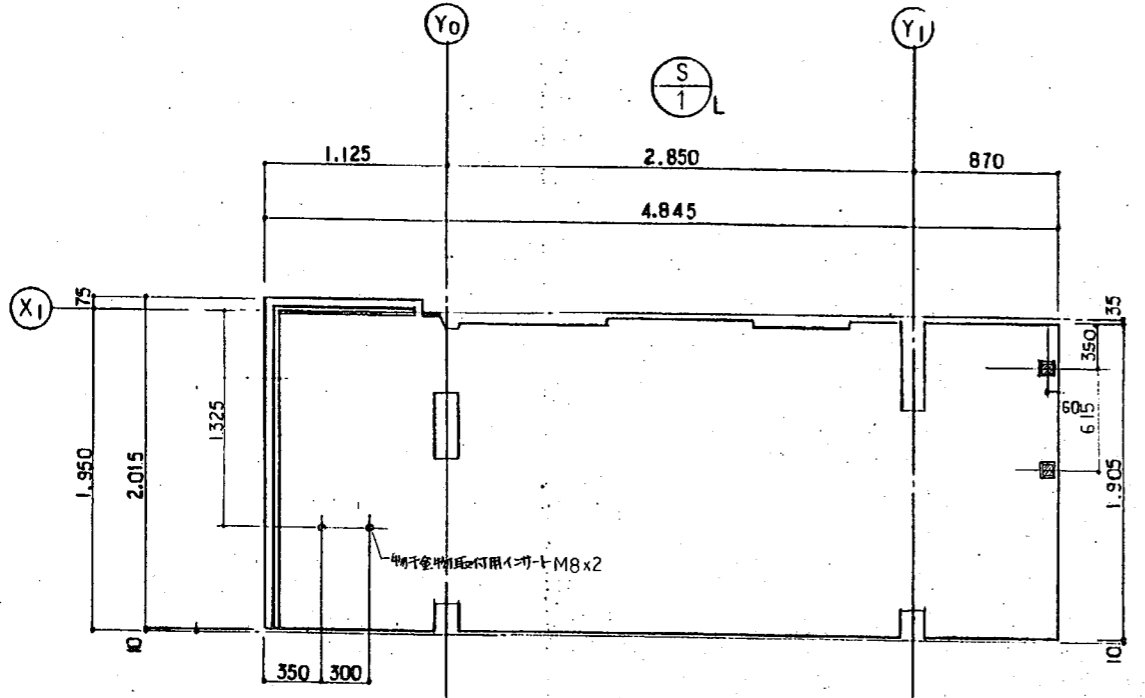
図面24-713 断面詳細(1) 依

平成 年月日	管轄監	主幹係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部	菅野 隆	菅野 隆	菅野 隆	阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	nW1 nW2 W5 壁板図	PC-1
	株式会社	共同建築事務所				縮尺 S:1:30	

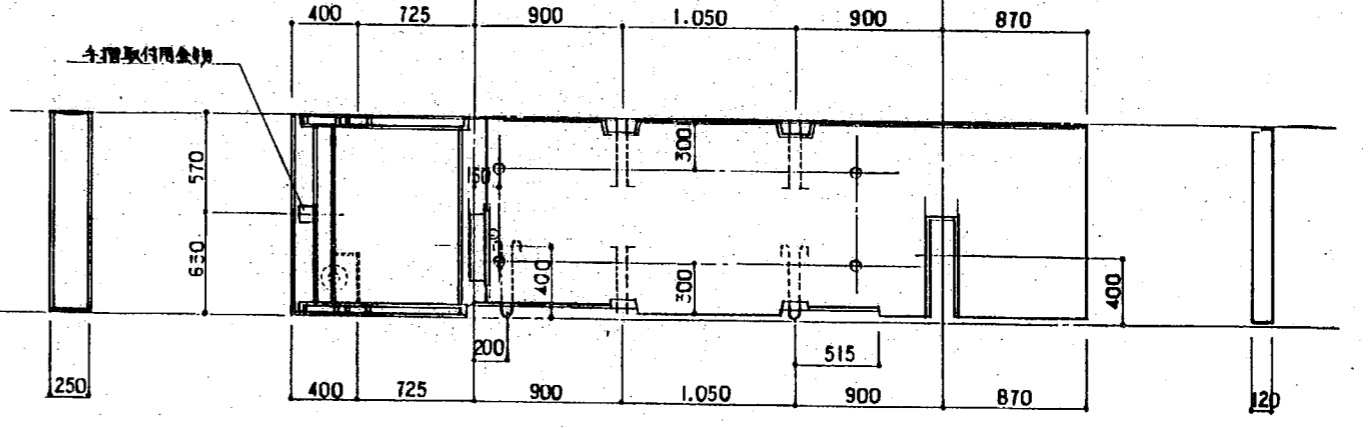
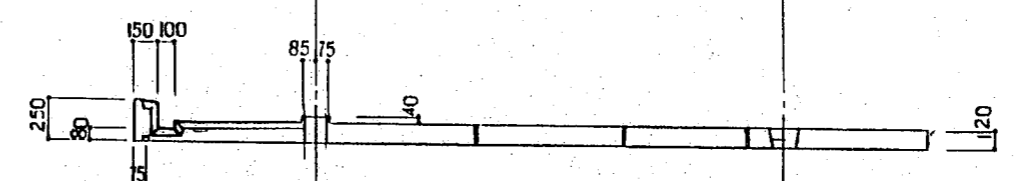
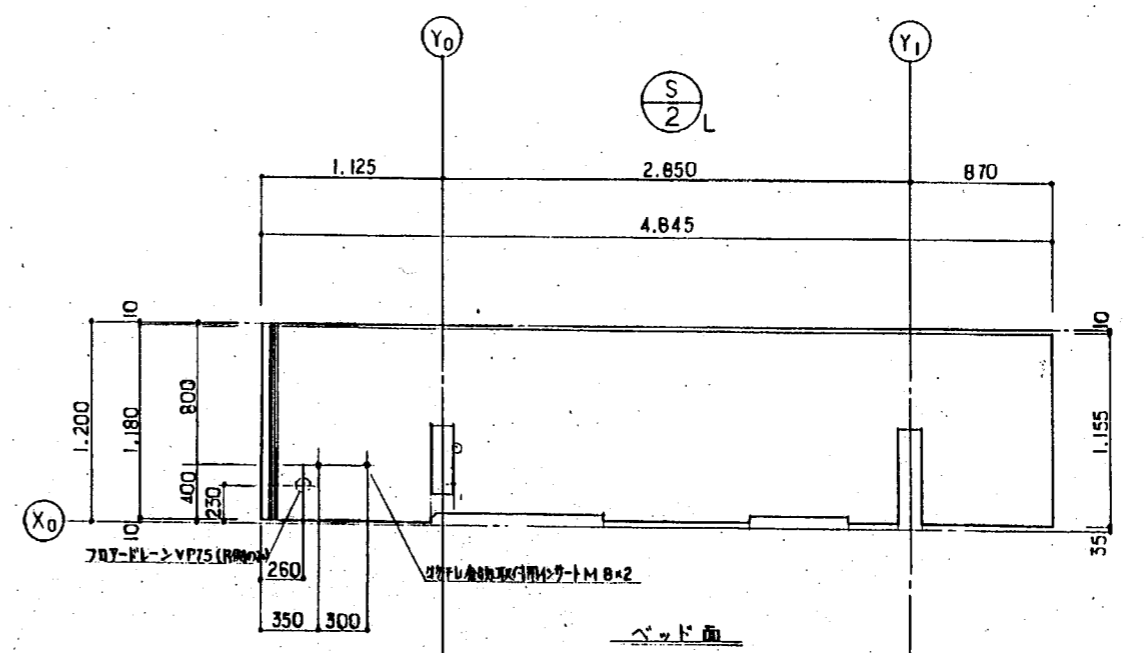


設備スリッパは詳細図に依る

平成 年月日	監理主幹係長主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室	[Redacted]	阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	nW 3 nW 4 壁板図 縮尺	PC-2
株式会社 共同建築事務所	[Redacted]		S=1:30	



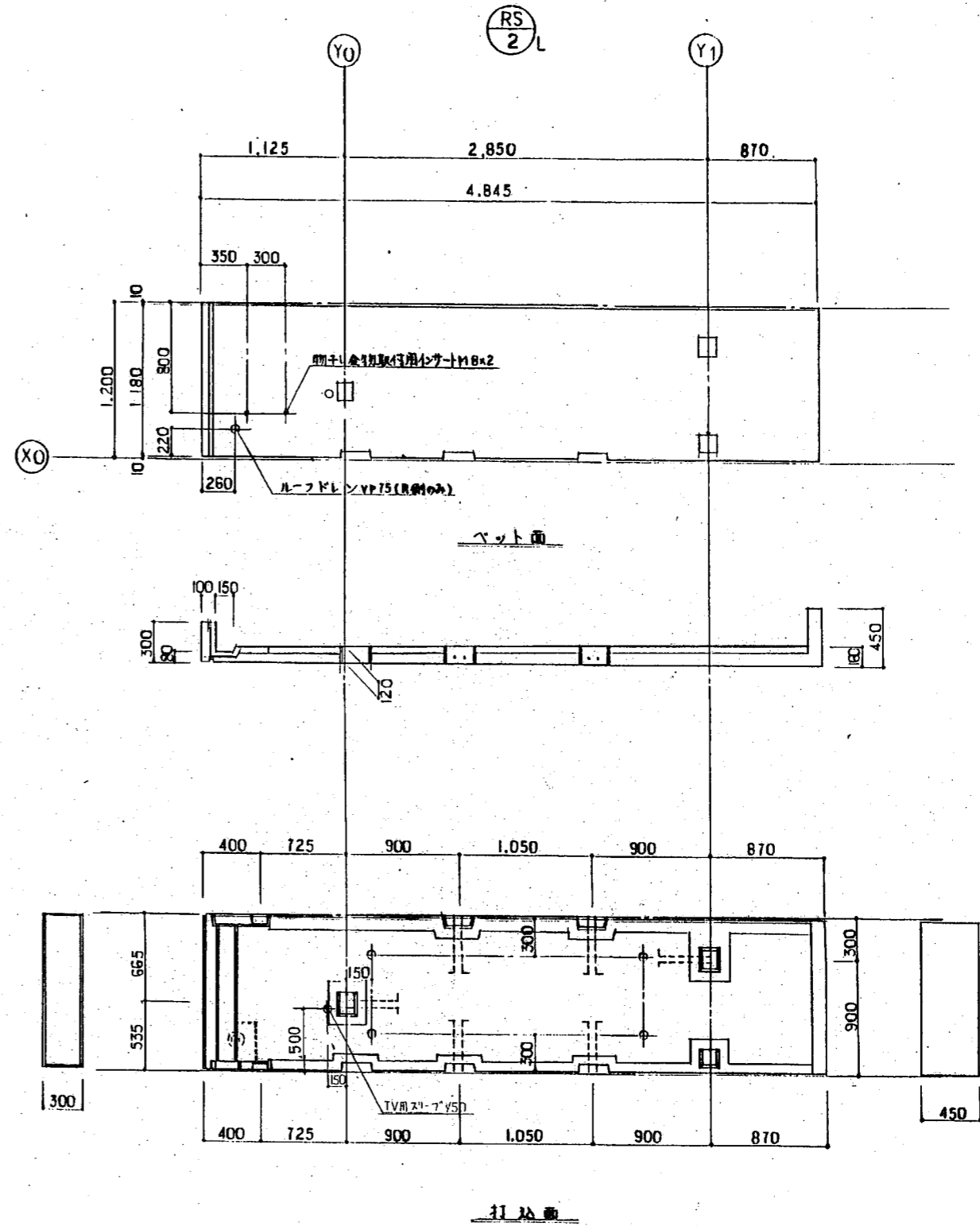
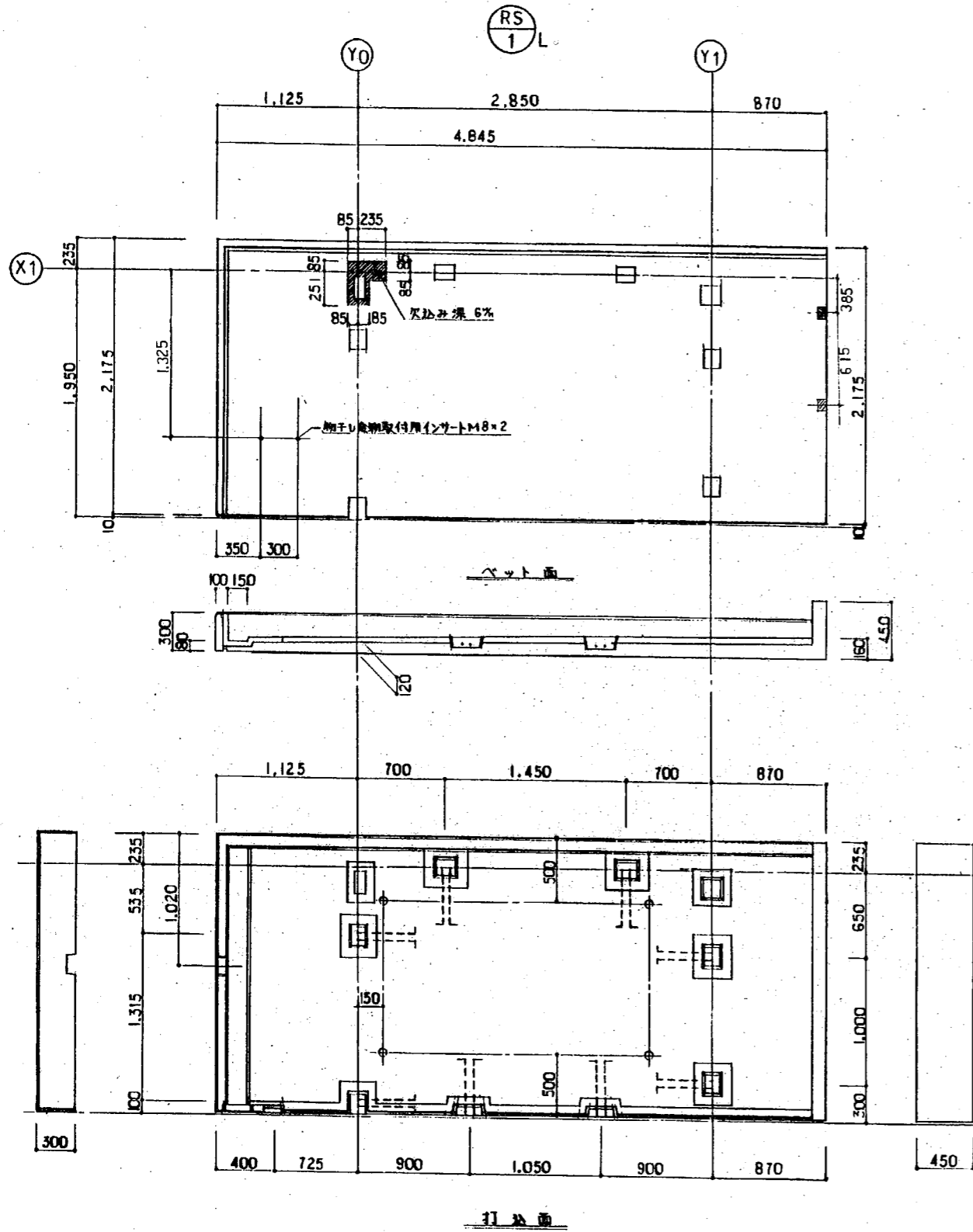
打込面



打込面

設備スリ-713 平面詳細図 (E.870-1)

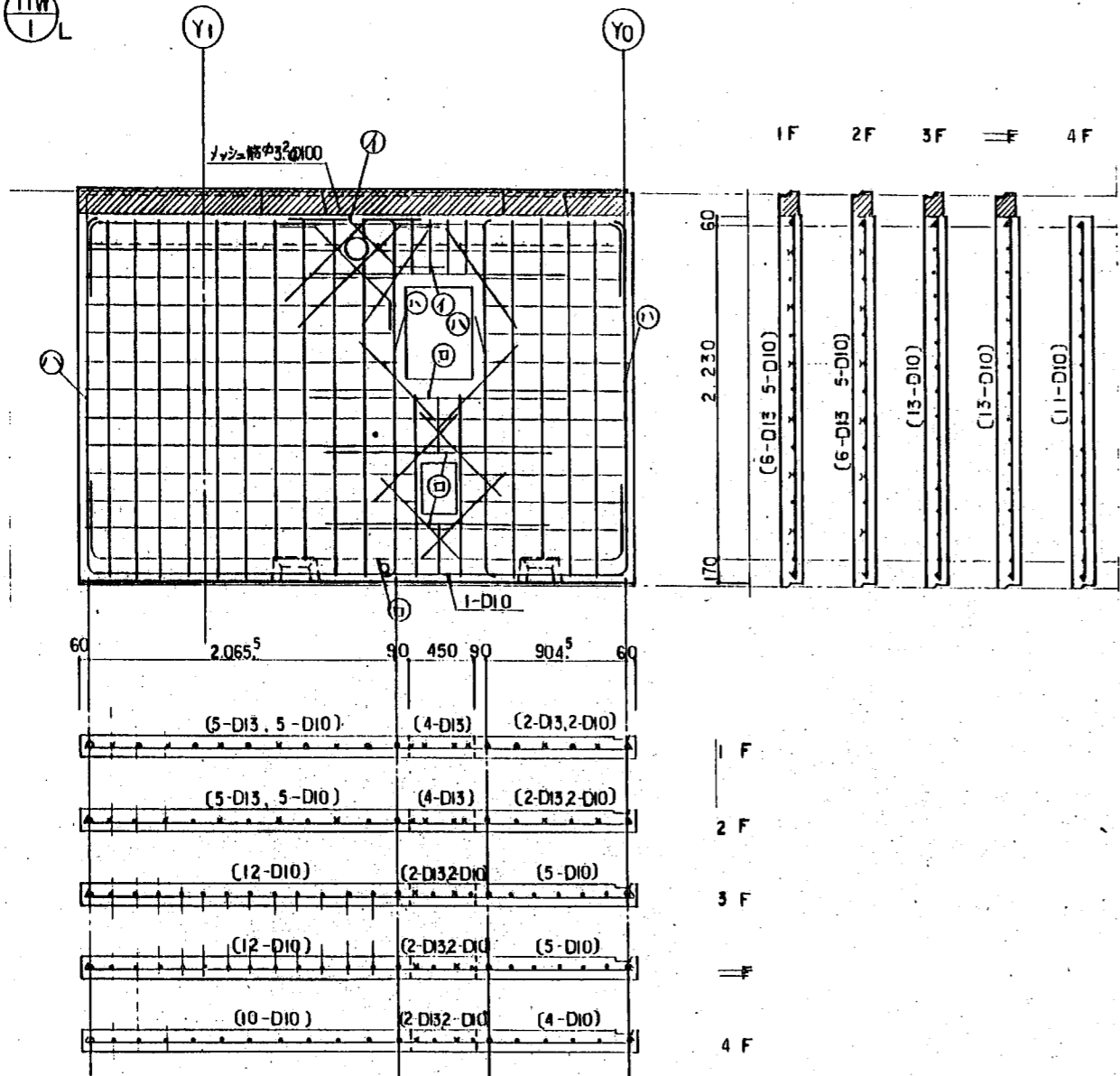
平成 年月日	宮崎監主幹係長主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室	[Redacted]	阪-増-92-4PC-(3半)(3)- 900 -60301	床板図 縮尺 S=1:30	PC-3
株式会社 共同建築事務所	[Redacted]			



設備スリ-フは平面詳細図に依る

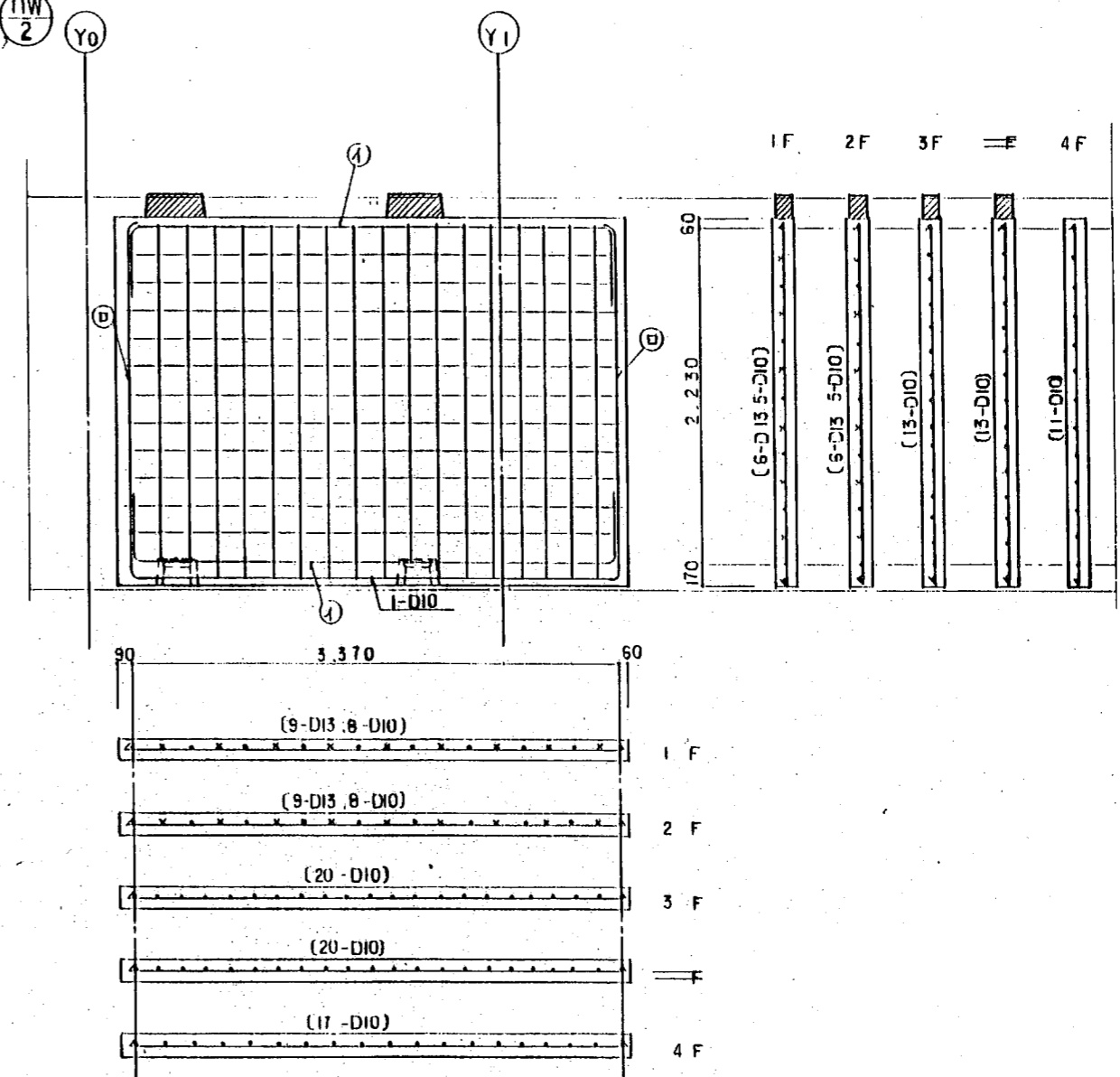
平成 年月日	営繕監主幹係長主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
		阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	RS 1 RS 2 屋根板図	PC-4
			縮尺 S=1:30	

1
NW
L



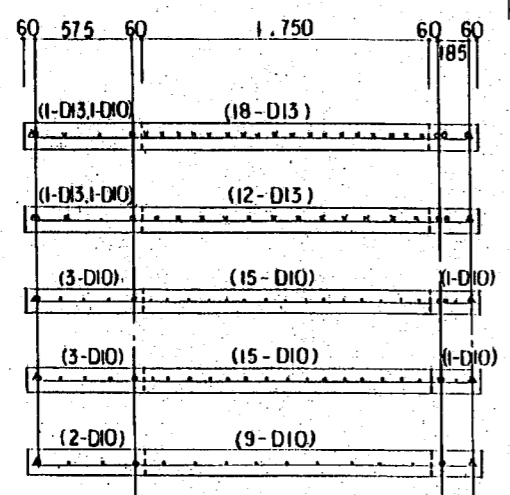
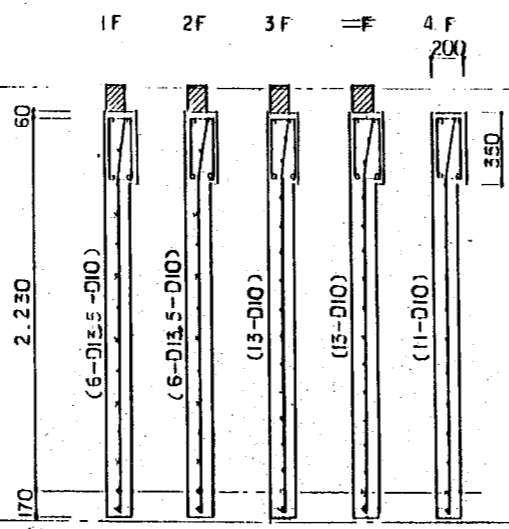
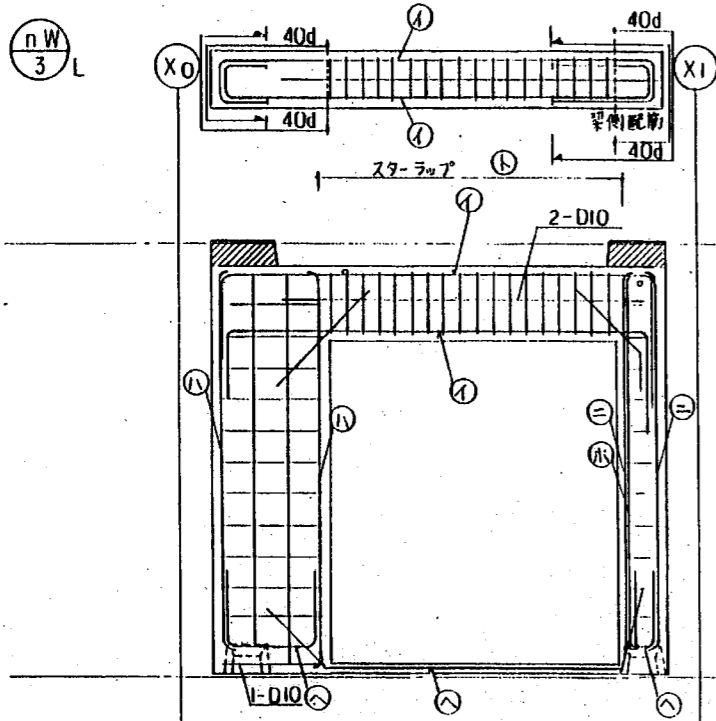
配筋図					
階	補強筋		柱筋	壁筋 縦筋・横筋	セッティングベース 埋込金物
	①	②			
4				D10 @200 シングル	SB-3
3	1-D16	1-D16	1-D16	D10 @170 シングル	
2				D10, D13 交互 @200 シングル	SB-2
1					

2
NW
2

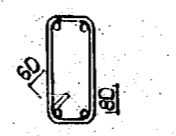


配筋図				
階	補強筋		壁筋 縦筋・横筋	セッティングベース 埋込金物
	①	②		
4			D10 @200 シングル	SB-3
3	1-D16	1-D16	D10 @170 シングル	
2			D10, D13 交互 @200 シングル	SB-2
1				

平成 年月日	営繕監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	壁板配筋図	PC-5
	株式会社						縮尺	
	共同建築事務所						5-1:30	

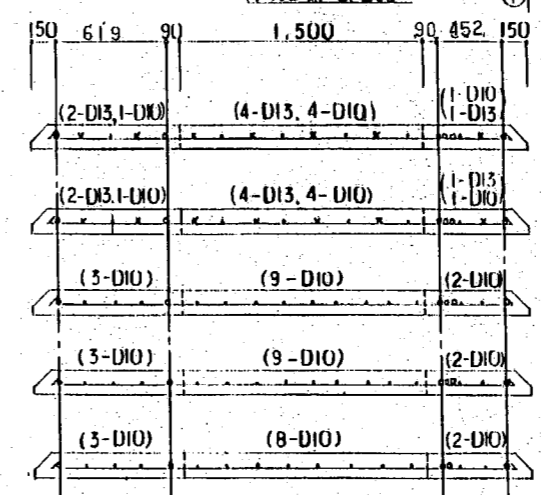
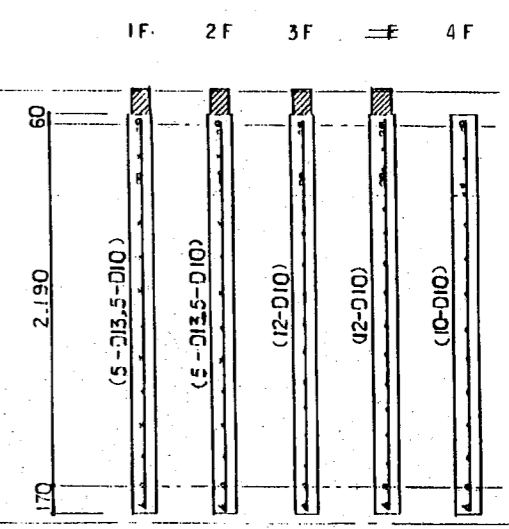
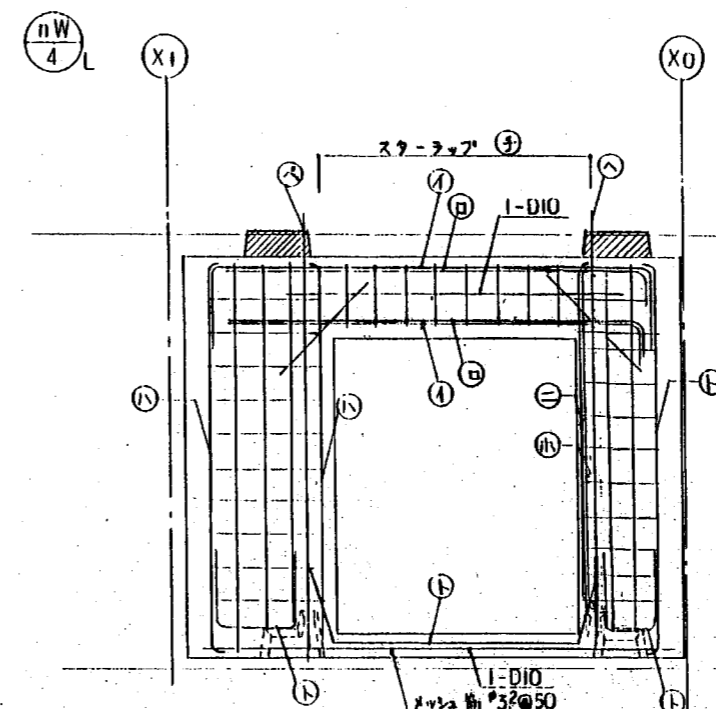


1 F
2 F
3 F
4 F



スラップ配筋等後図

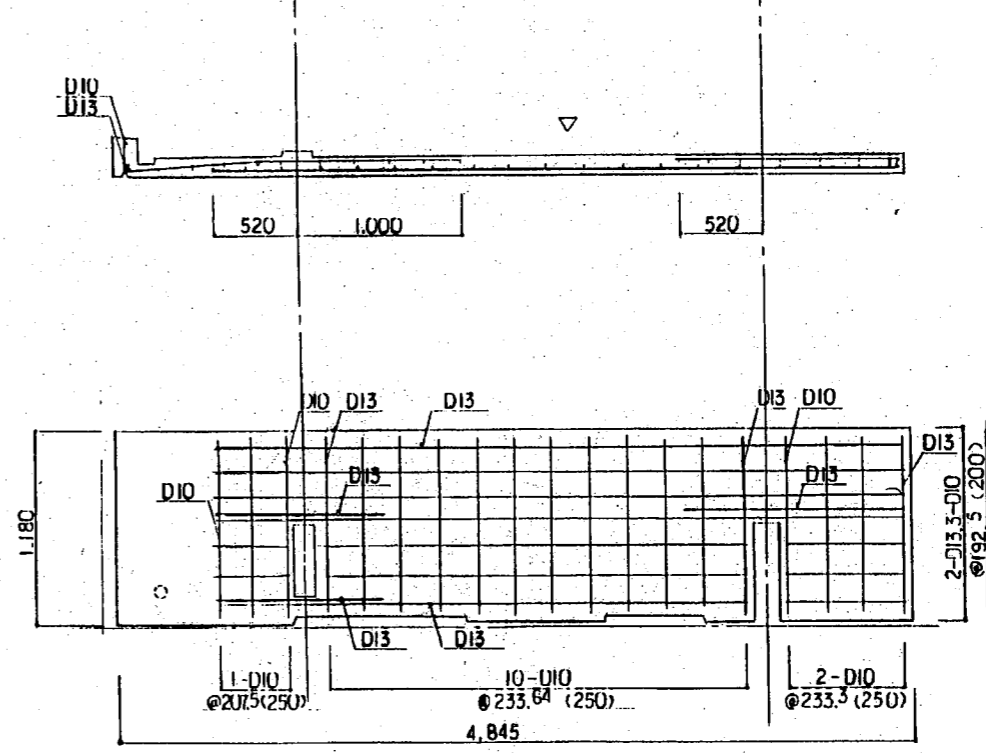
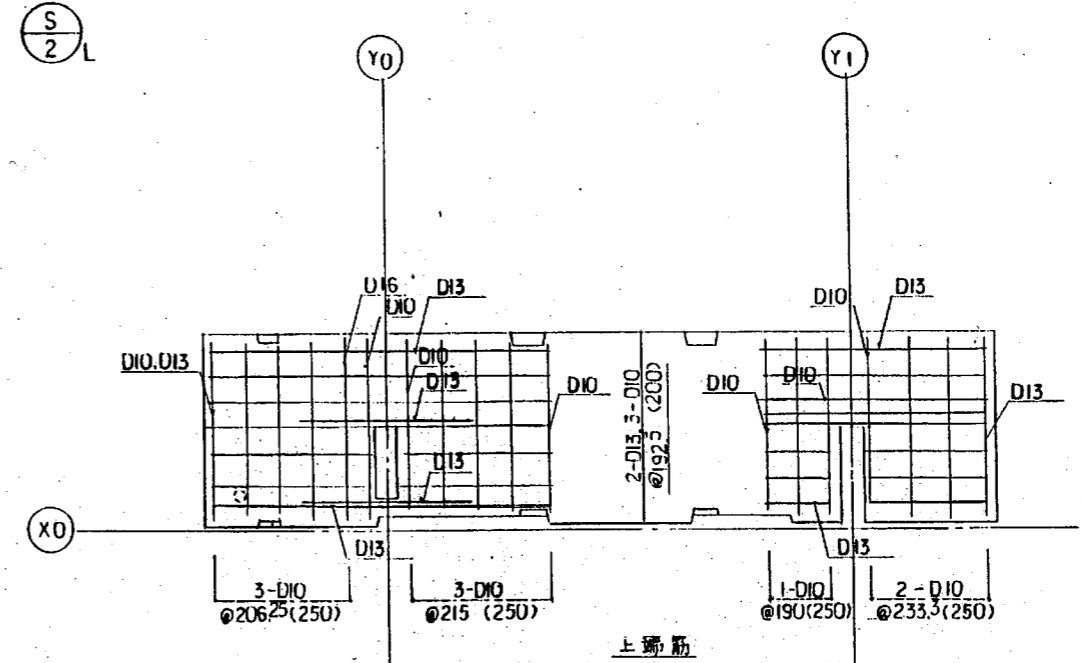
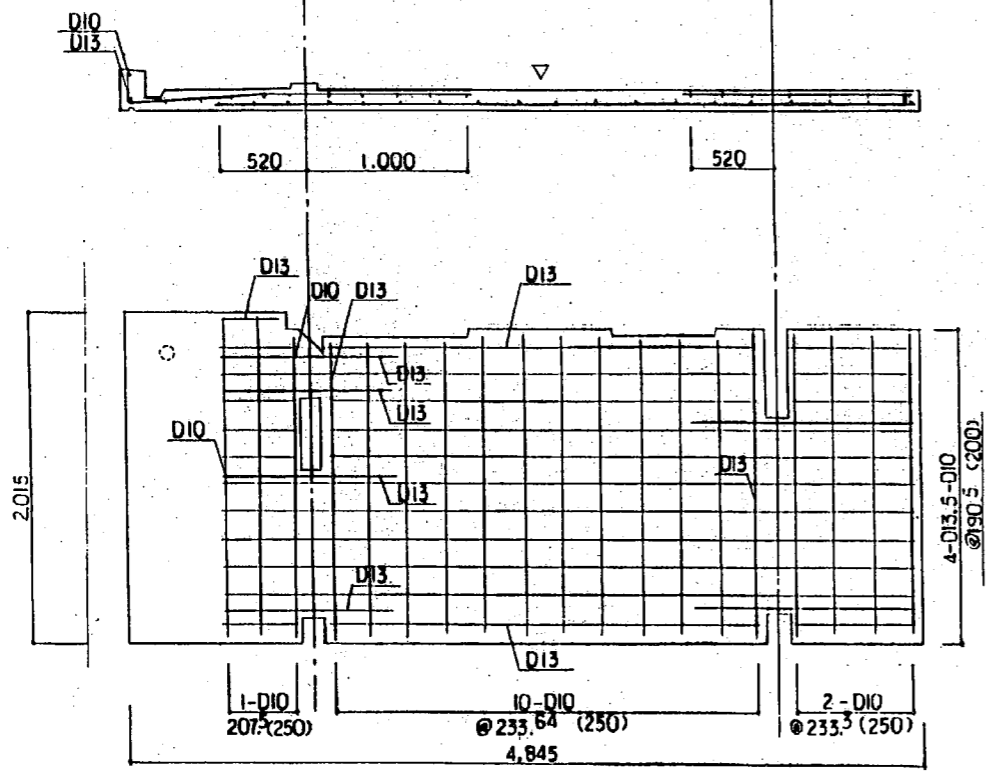
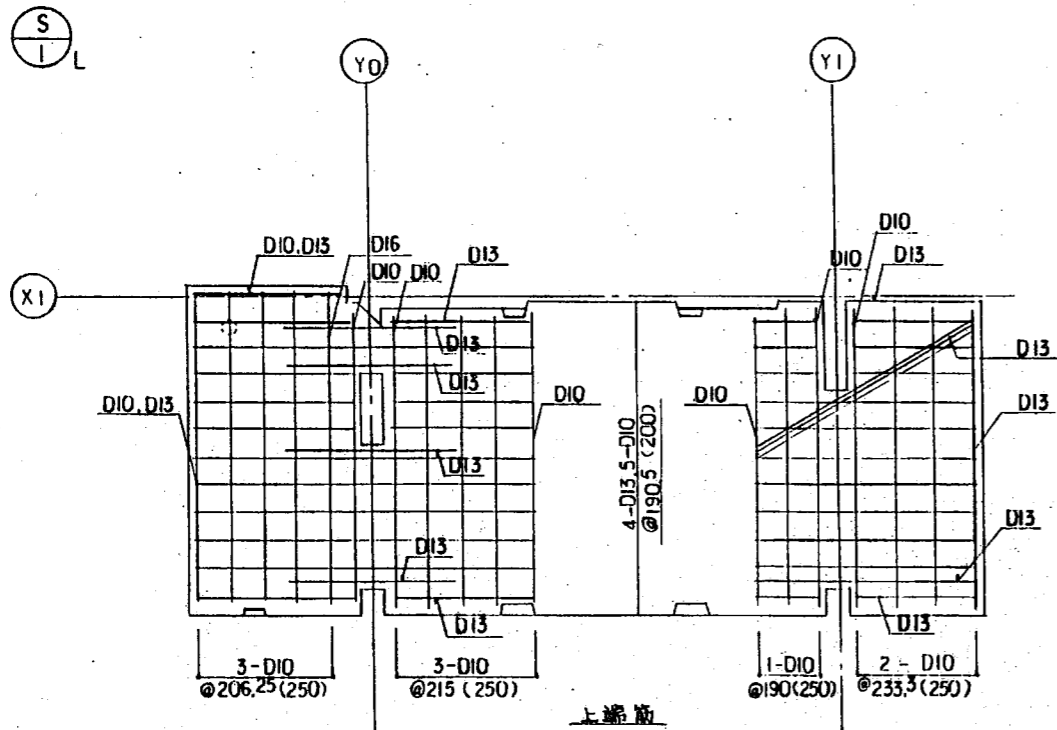
配筋図								
階	梁筋		柱筋		補強筋	STP	壁筋 縦筋・横筋	セッティングベース 埋込金物
	①	②	③	④				
4	2-D16					D10 @ 200-II	D10 @ 200 シングル	SB-3
3	2-D19		1-D16	1-D16	1-D16	D10 @ 125-II	D10 @ 170 シングル	
2	2-D22		1-D19	1-D19	1-D19	D13 @ 150-II	D10, D13 交互@200 シングル	
1	2-D25		1-D22	1-D19		D13 @ 100-II	D10, D13 交互@200 シングル	SB-2



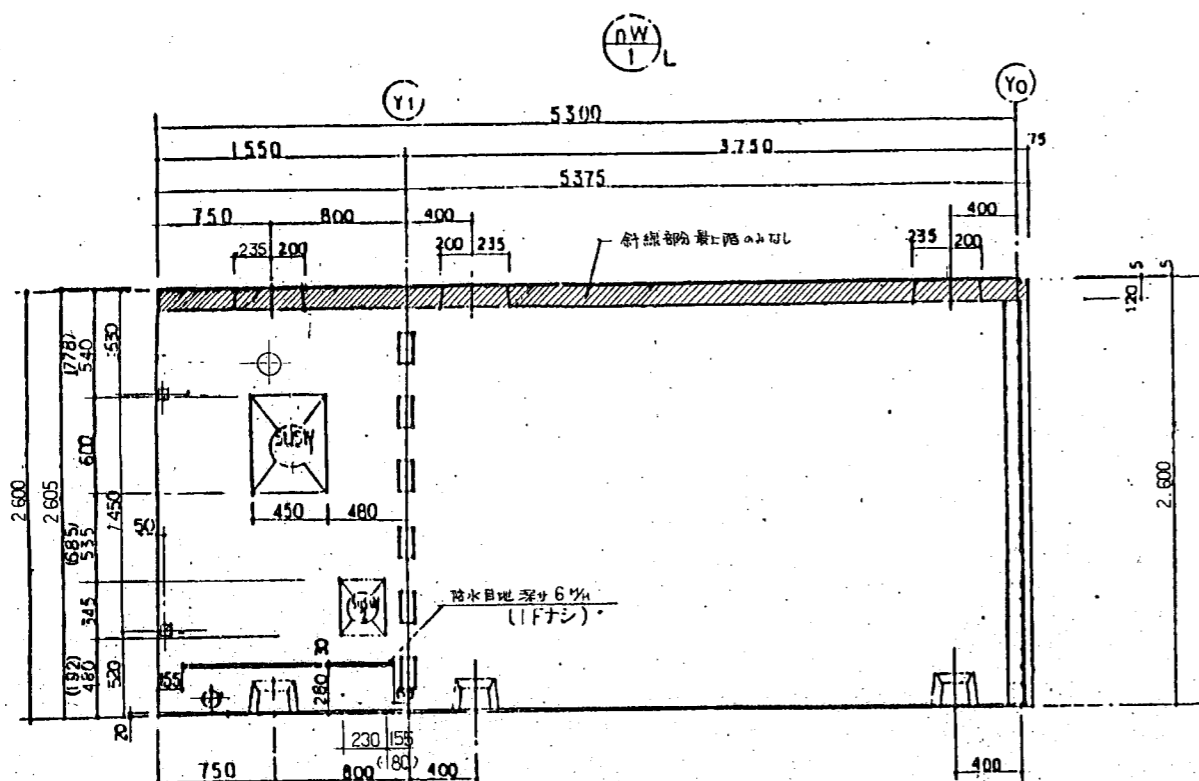
1 F
2 F
3 F
4 F

配筋図											
階	梁筋		柱筋			引張鉄筋	補強筋	STP	壁筋 縦筋・横筋	セッティングベース 埋込金物	引張鉄筋
	①	②	③	④	⑤						
4			1-D16	1-D16		1-D16		D10 @ 200	D10 @ 200 シングル		
3	1-D16		1-D22	1-D22	1-D19	1-D22	1-D16	D10 @ 170	D10 @ 170 シングル	SB-3	1-D16
2		1-D16						D10, D13 @ 200	D10, D13 交互@200 シングル	SB-2	1-D19
1					1-D25	1-D22	1-D25				

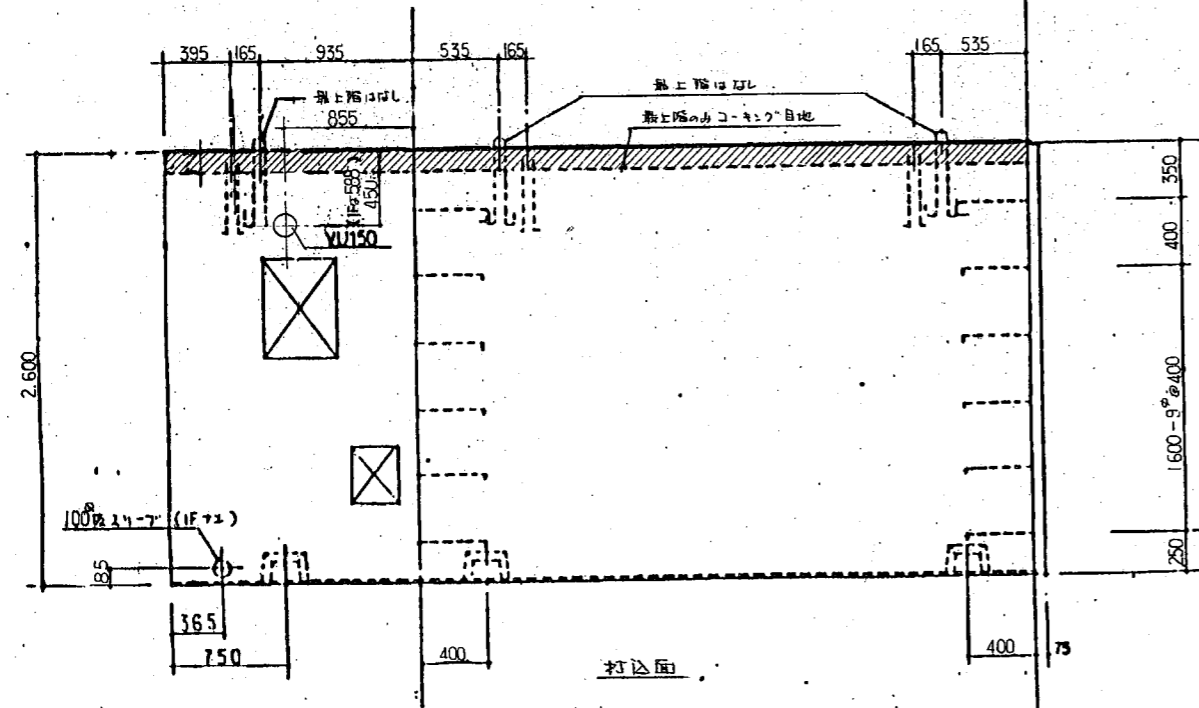
平成 年月日	営繕監	主幹係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部 営繕室				阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	(NW/3) (NW/4) 壁板配筋図 縮尺 S=1:30	PC-6
	株式会社 共同建築事務所						



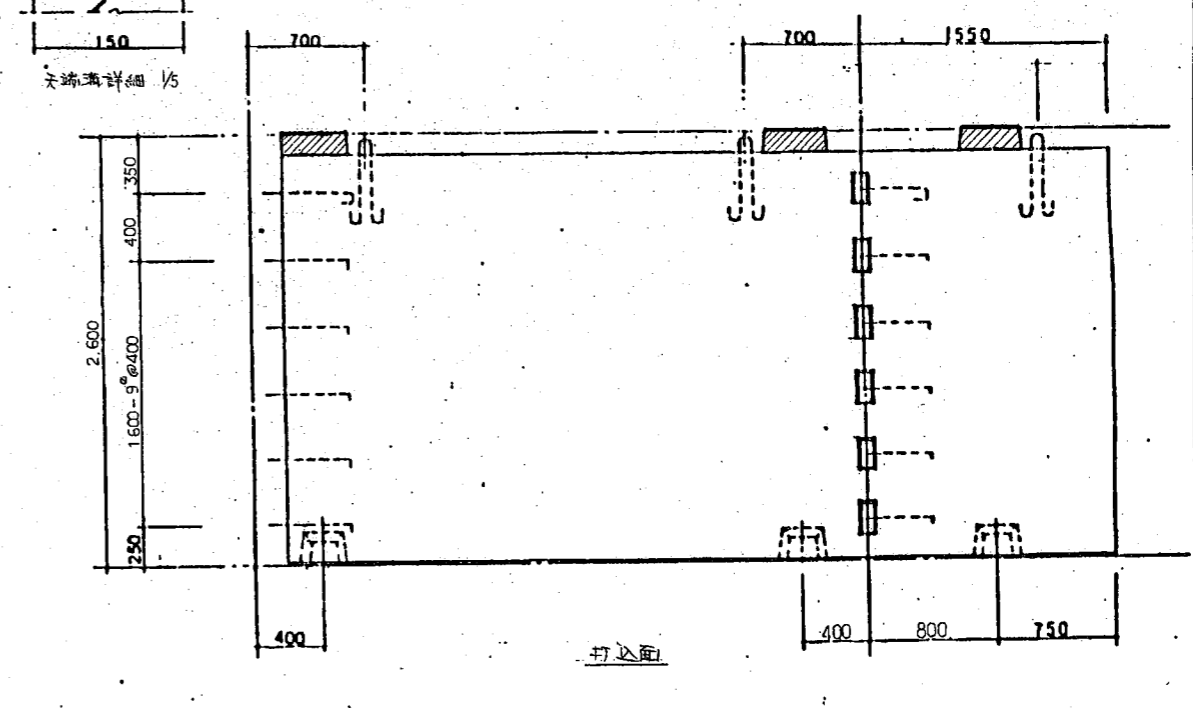
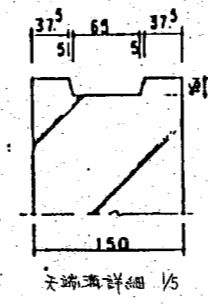
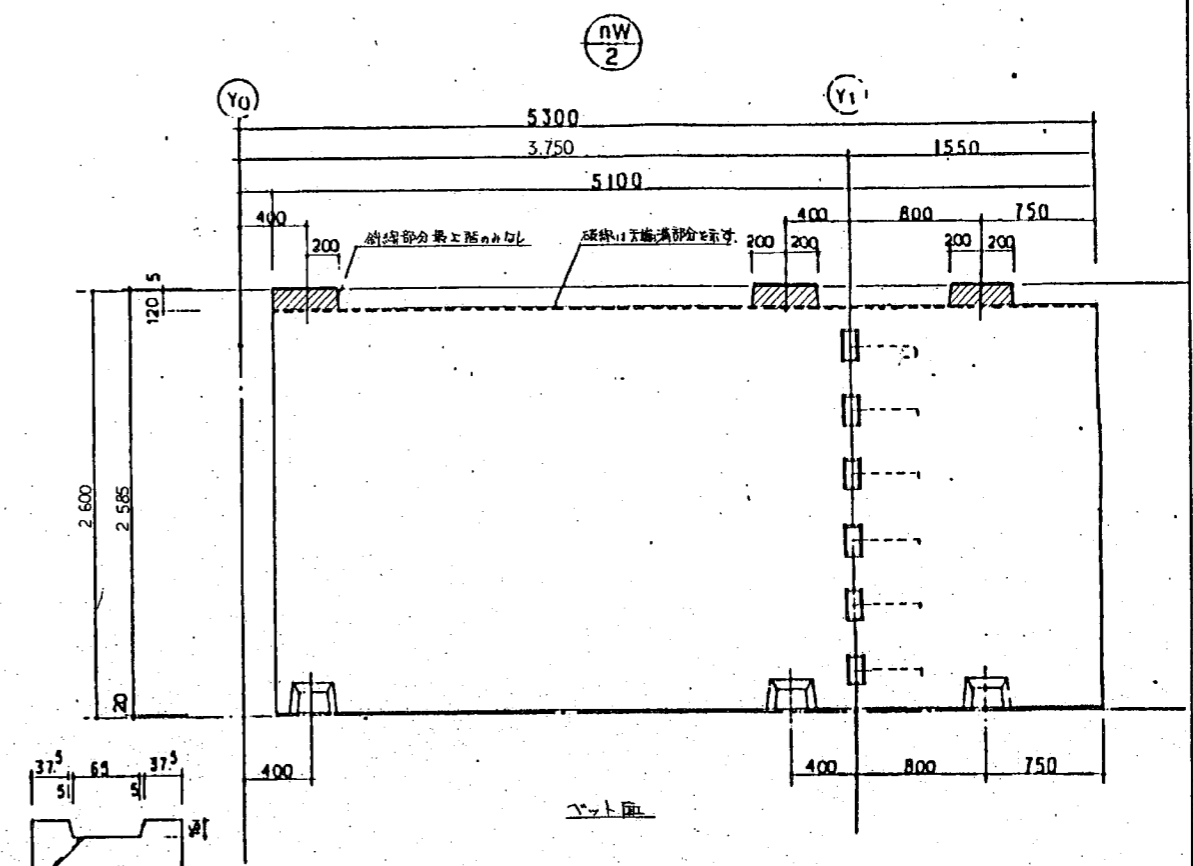
平成 年 月 日	管轄	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	床板配筋図	PC-7
	株式会社						縮尺 S=1:30	
	共同建築事務所							



* () 内はIFを示す



打込面



打込面

平成	年月日	営繕監	主幹係長	主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
					阪-増-92-4PC-(4)(4)1半-B-60301	nW 1 nW 2 壁板出	PC-9
株式会社 共同建築事務所						縮尺 1:30	

撤去改修図

撤去・改修箇所	記号	撤去方法	記号	改修方法	㎡所	備考
外壁(増築部の増築以外の部分)			△	下地処理のこAEPR		施工範囲図示
物干金物	①	取付金物をコンクリート面で切斷			2㎡/1ヶ	
バルコニー-階段	②	支柱コンクリート面を切斷 壁との取付部も取付ビスで 撤去			1㎡/2ヶ	
増築部への出入口の建具	③	アビス建具撤去の 下枠撤去			1㎡/1ヶ	(1棟のみ)
増築部への出入口の建具	④	アビス建具撤去			1㎡/1ヶ	
バルコニー-手摺	⑤	カラー切斷			1㎡/1ヶ	
換気口鉄板フード	⑥	コンクリート面を切斷			1㎡/1ヶ	
台所欄干	⑦	撤去(増築部を併せて)	△	1-900新設: 欄干用 鋳造コンクリート板 ④4%ステンシル止めのVP塗 トアクロス(BL-1型)取付 R-45(建具 杉塗)	1㎡/1ヶ	詳細図参照
検針窓(WD, FIX)			△	II-401	1㎡/1ヶ	
火器設置			△	更張ガス固定式粉末消火器 (ABC型消火器 能力単位A-3B-7)	1㎡/2ヶ	階段室隔扉側壁面取付
階段踊り場の階高上げ			△	詳細図参照 H≦1.100mの場合 H≧1.100mに改修	1㎡/1ヶ	既存部分共鉄筋筋巻しの工 OP
化粧珪	⑧	取り取り			1㎡/1ヶ	
壁設バルコニー-トレン	⑨	クレーンで取り	△	撤去跡をコンクリートで埋め	1㎡/1ヶ	
便所窓			△	詳細図参照	1㎡/1ヶ	
室外機設置場所防護柵			△	防護柵新設 R-1.150, 防錆処理	1㎡/1ヶ	(1棟のみ)
原付天井	⑩	仕上げ撤去(剥離剤の付)	△	磁器貼りの撤去はVP塗, 600x450サイズの 磁器貼りの撤去はVP塗, 600x450サイズの	1㎡/1ヶ	
雨水・雑排水管撤去		設備工事				
既設給水管撤去						
SK撤去						

共通事項
 (1) 既存部でOP塗りの部分は、(バルコニー・階段手摺等) 下地処理の上 塗りの塗料 (JIS K 5022の1種) 2回塗りの工OP塗りとする。
 (2) 新設金物(手摺等) OP塗りの箇所は全て亜鉛めっき処理(A級)とする。
 (3) 既存部内、コンクリート面で切斷所(物干金物・すだれ掛・手摺支柱・欄干支柱・授受材・壁の埋み金物及びコンクリート切斷所の鉄筋切斷面等)の小口は全て鎮止め2回塗りとし、材料は(1)に準ずる。

1. 一般事項 本工事は設計図及び建設大臣官用官庁登録部監理建築工事共通仕様書、建築工事補足共通仕様書により施工を行なう事。

2. 外装工事仕様(AEPR)
A. 工法及び材料
 建築工事共通仕様書第5章第6節 塗り付仕上工法(JISA 6909)を準拠し、ローラー仕上とする。
 工法については別表による。
B. 吹き替え面の下地処理(シート防水下地処理も含む)
 (1) 剝離、浮き、風化等による塵埃及び付着物は、スクレーパー・ブラシ等により除去する。
 (2) 既設仕上の汚れ及び付着物は、ブラシ等により除去し水洗いを行う。油類は溶剤拭きを行う。
 (3) 亀裂、欠損部分は、セメント系フィラー等により処理する。
 但し、エポキシ樹脂注入及び合成高分子エマルジョンモルタル塗を行う場合は、監督員の指示による。

(外装用A種工程表)

工程	施工	材 料	配合割合(重量比)	使用量(kg/m ²)	放置時間	備 考
1	下地面の押入	合成樹脂エマルジョンシーラー	100	0.1~0.2	3時間以上	透水性的な下地 面は2回塗とする
		水	製造所の指定による			
2	上 塗	砂 壁 状 吹 付 材	100	0.5 以上		
		水	0~10			

3. 塗布防水の仕様

工程	施 工	作 業 内 容	使用量(kg/m ²)
1	下地処理	清 掃	
2	プライマー	アクリル系合成樹脂エマルジョン塗布	0.1
3	防水層	アクリル系合成樹脂エマルジョンペースト塗布2回	0.7
4	防水層	アクリル系合成樹脂エマルジョンクロス貼付	1.2
5	防水層	アクリル系合成樹脂エマルジョンペースト塗布2回	0.7

4. 合成高分子ルーフィング防水施工工程表(シート防水)

工程	施 工 内 容
1	合成高分子エマルジョンモルタル目詰め、又はシーラー
2	シート防水用接着剤塗
3	合成高分子ルーフィング(7)貼付
4	シルバーコート仕上

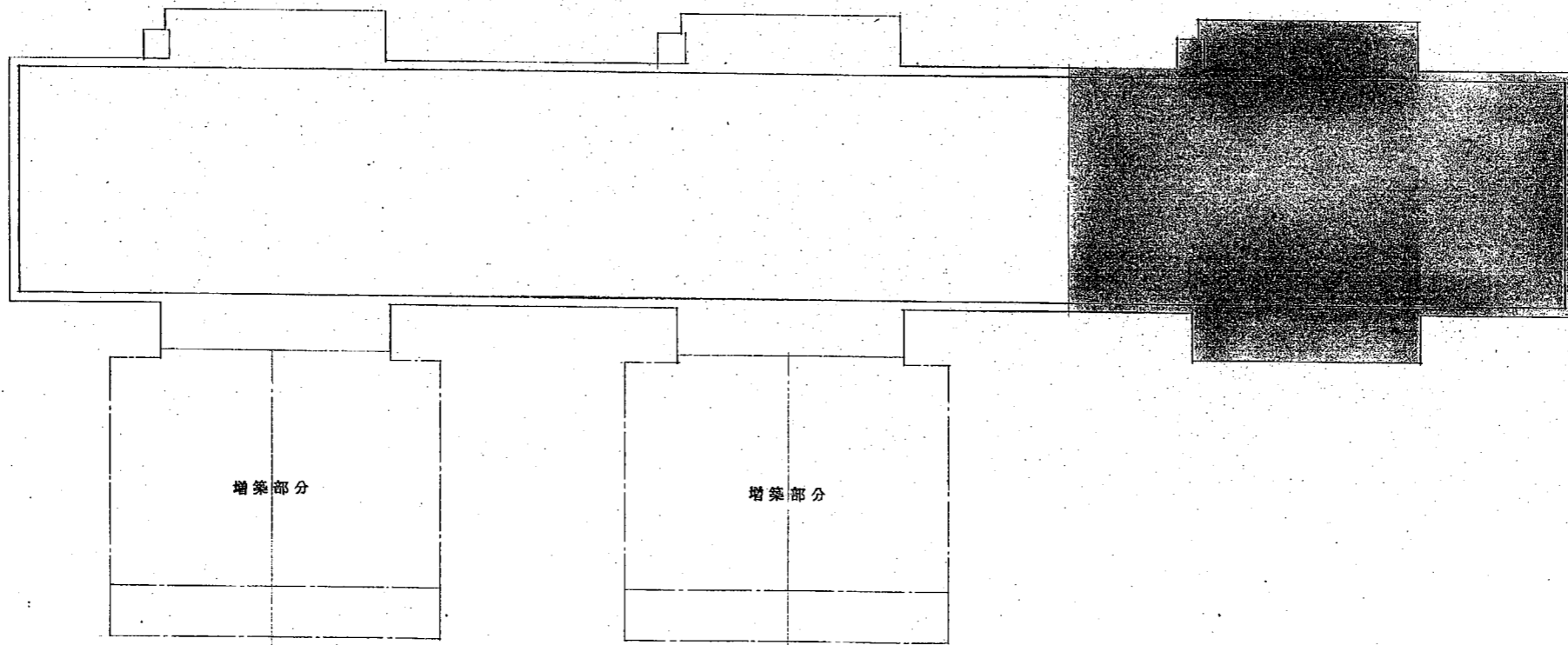
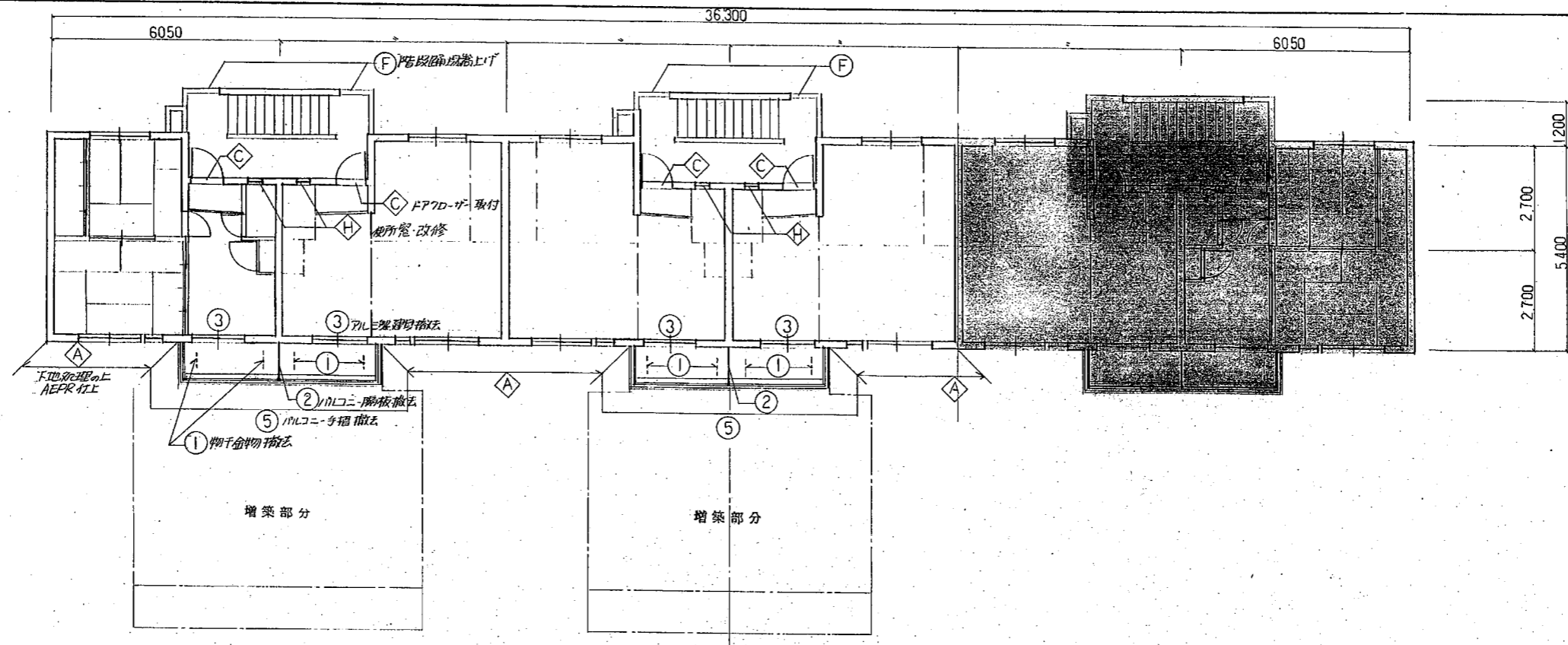
ルーフトレーン配管廻りTVフィーダースリーブ等の取合いは、増し貼り用シートで補強の上ポリサルファイドシーリング材で処理する。

5. コンクリート及びコンクリート型ハツリ取り仕様

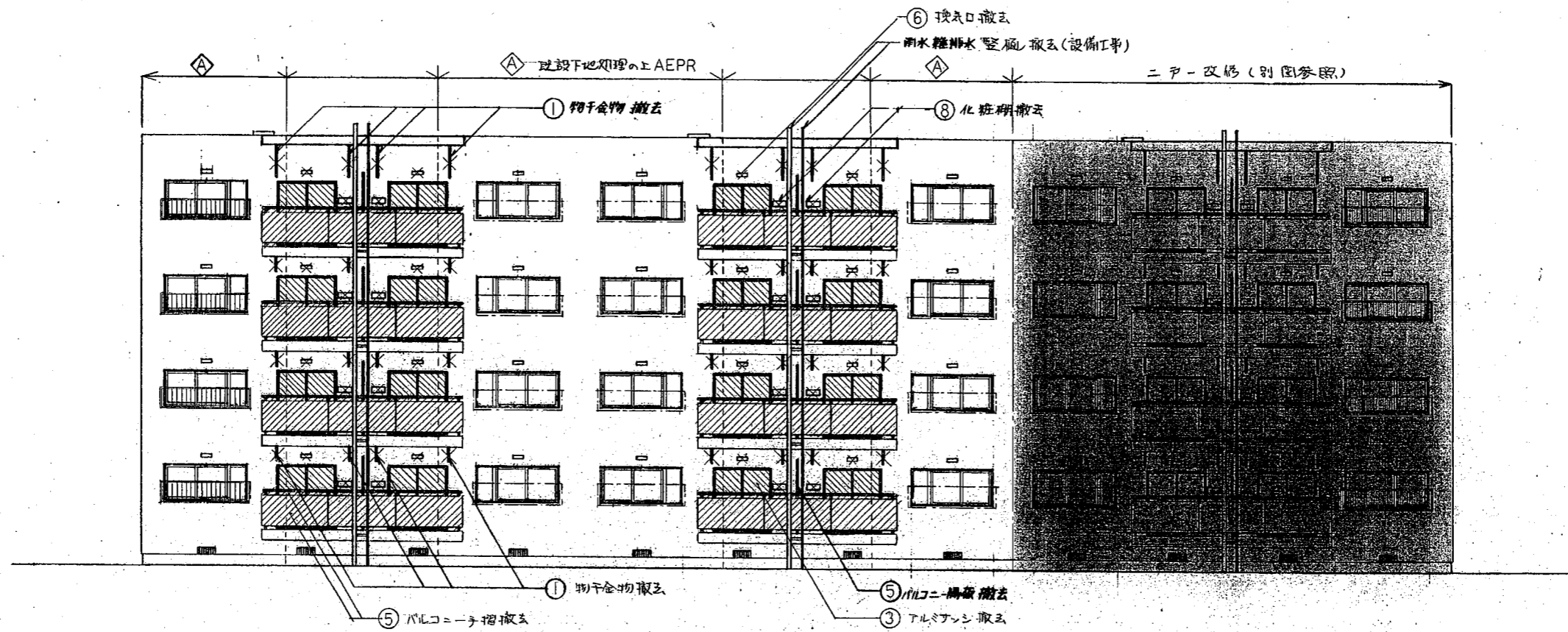
A. コンクリートのハツリ取りは「ベビークラッシャー」を使用する事。
 B. コンクリート型「ベビークラッシャー」の使用不可能な部分のハツリ取りは圧入式石破機を使用する事。

6. 工事中における増築部と既存部は無石綿内装材⑥(新設和SK12型片面又は同等品以上及び隣付)にて区画する事
 石綿除去に関しては浸漬状態で作業を行ない可能な限り粉塵が飛散しない様配慮する事
 II- 欄の番号は大阪府建築部登録住宅戸改修(増築)標準仕様設計図集のディテール番号を示す

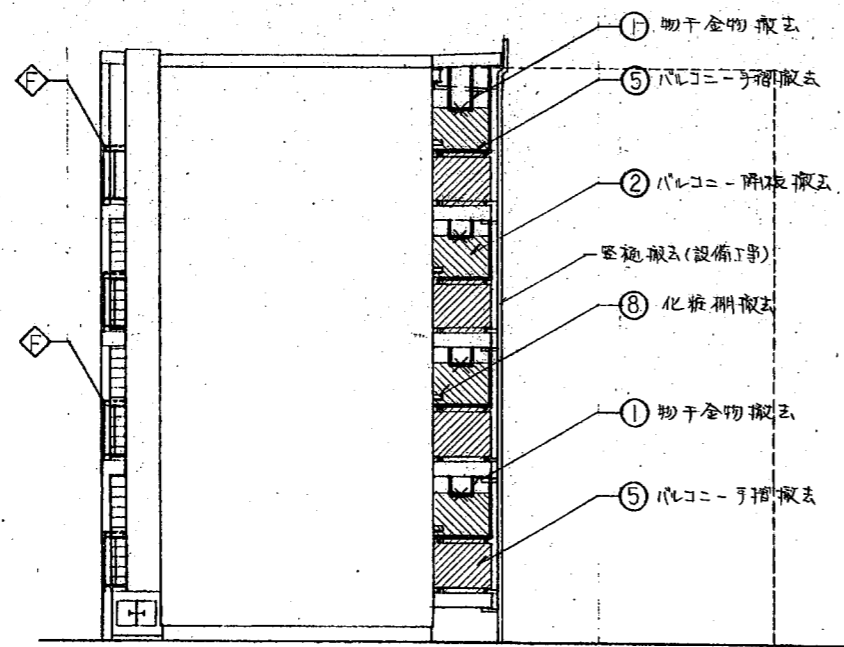
平成 年月日	管 轄 官	主 幹 係 長	主 査 担 当	建 物 型 式 名	図 面 名 称	1-8-9号棟	図 面 番 号
	大阪府建築部 管轄室			阪-増-92-4PC-(4)(4)1半-⑧-60301	撤去：改修	リスト	T-1
	株式会社 共同建築事務所			阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	縮 尺		



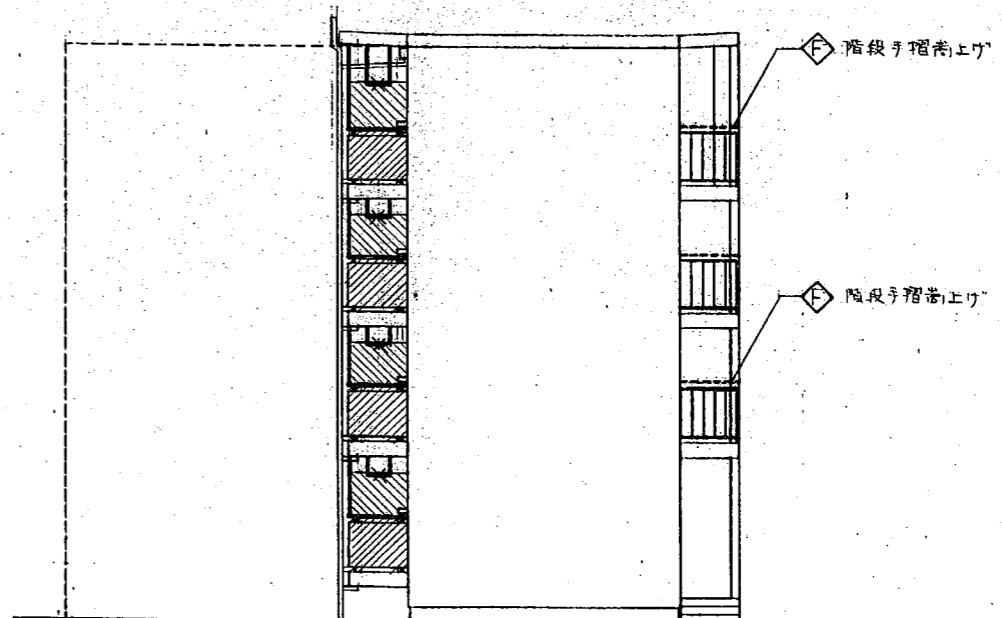
平成 年月日	宮崎監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(3半)(3)- 900 -60301	1号棟 撤去:改修図 平面図・屋根伏図	T-2
	株式会社						縮尺	
	共同建築事務所						1:100	



立面図 1:100

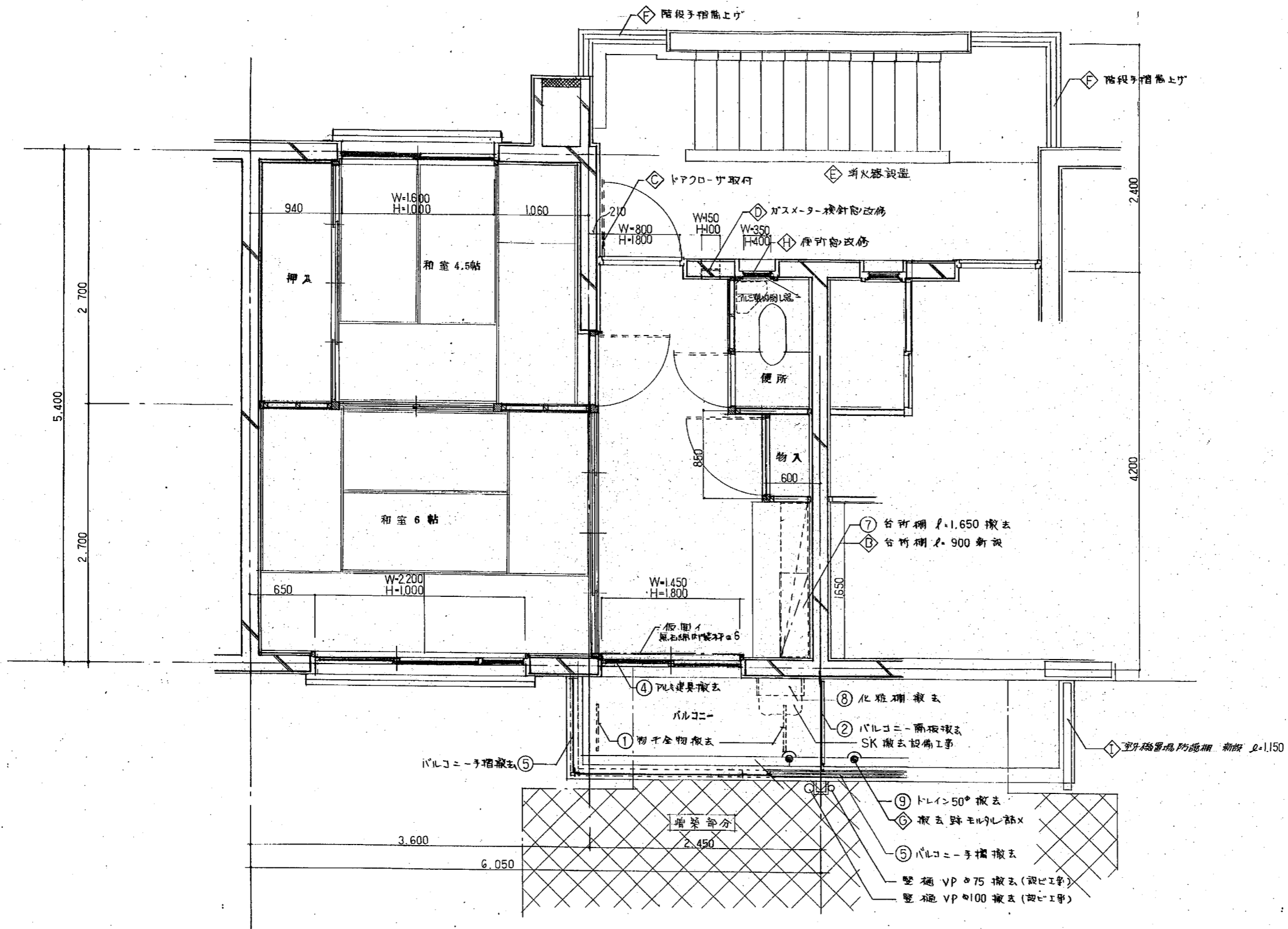


立面図 1:100

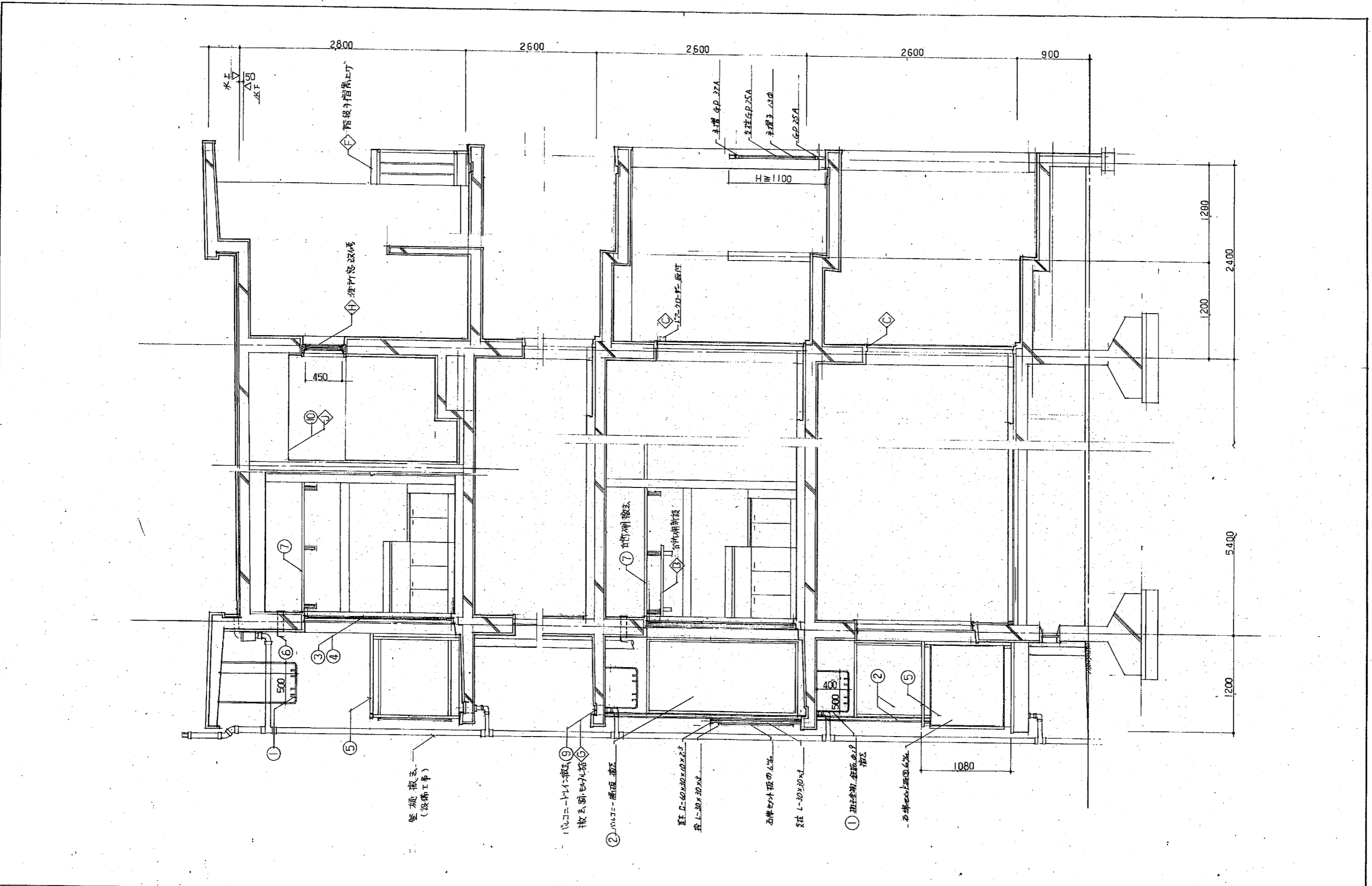


立面図 1:100

平成 年月日	営繕監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	1 号棟	図面番号
大阪府建築部 営繕室						阪-増-92-4PC-(3半)(3)- 900 -60301	撤去:改修図 立面図-断面図		T-3
株式会社 共同建築事務所							縮尺		
							1:100		

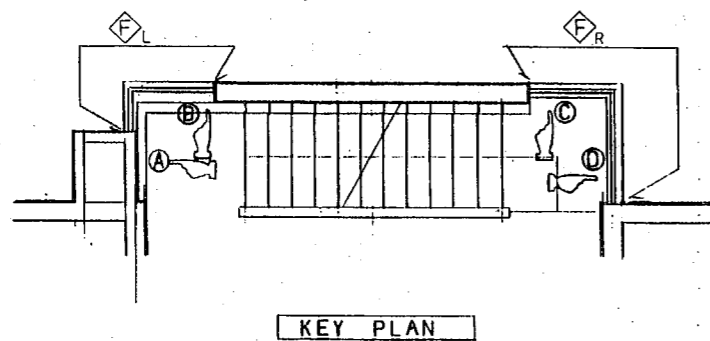


平成 年月日	営繕監	主幹係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	撤去：改修 平面詳細図 縮尺 1:30	1号棟 T-6
株式会社 共同建築事務所							



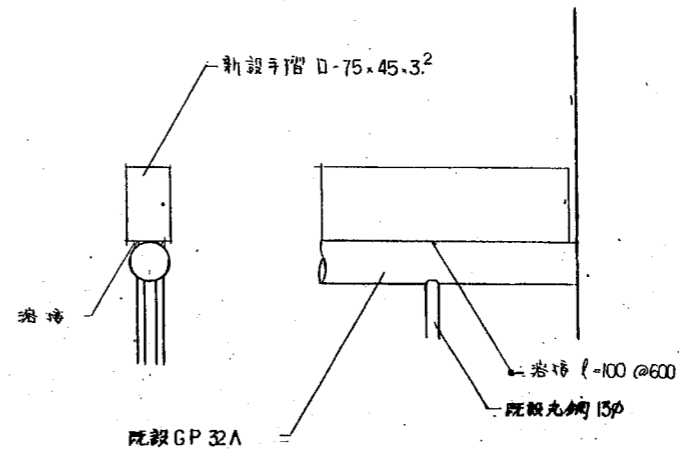
平成 年月日 大府府建築部 営繕室	営繕係 主幹係長 主査担当	建物型式名 阪-増-92-4PC-(4)(4)1半- (B)-60301	図面名称 1・8・9号棟 撤去・改修図 矩計図 縮尺 1:30	図面番号 T-8
株式会社 共同建築事務所		阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301		

階段手摺高上げ

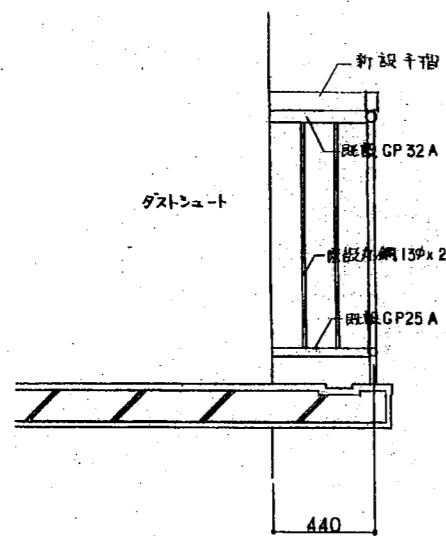


手摺高上げ箇所数			
	1号棟	8号棟	9号棟
F _L	6	4	—
F _R	3	1	3

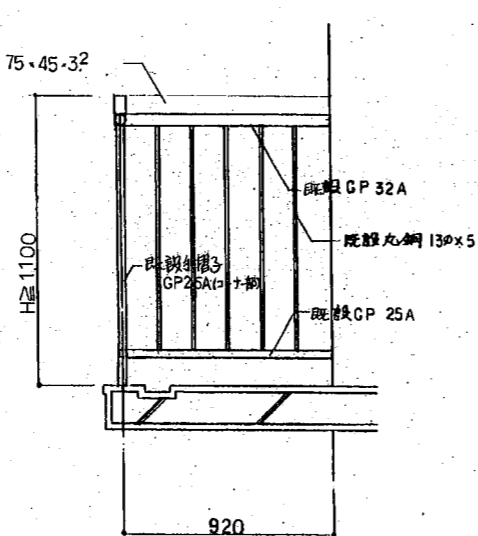
* 位置については現況調査図を参照



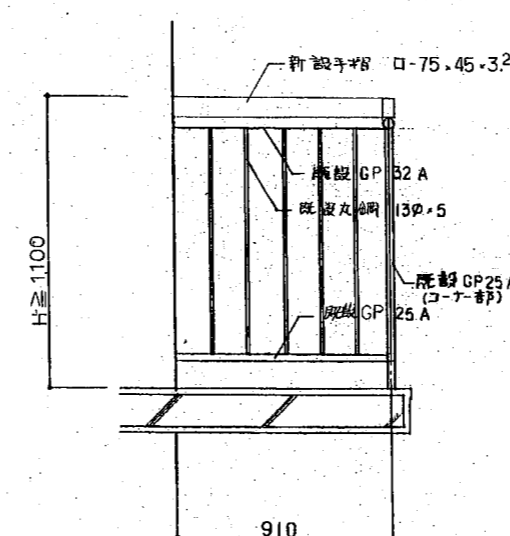
a 群 細 図 1:5



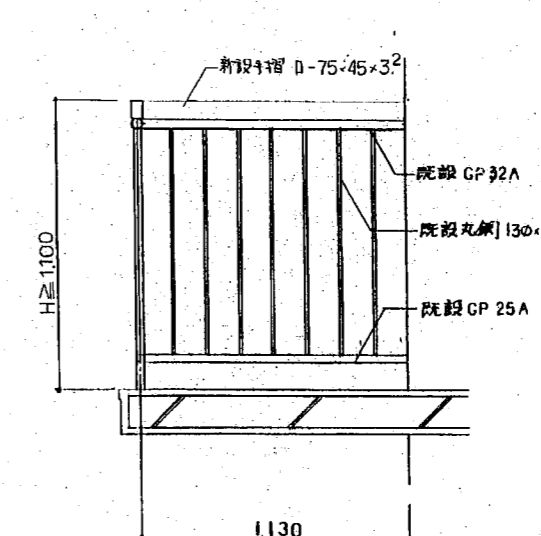
A 立 面 図 1:20



B 立 面 図 1:20



C 立 面 図 1:20



D 立 面 図 1:20

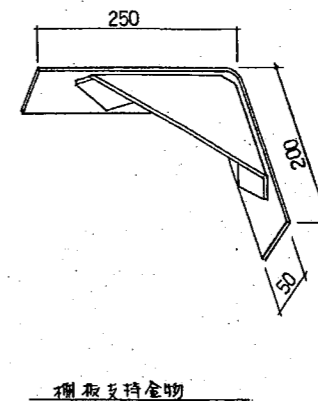
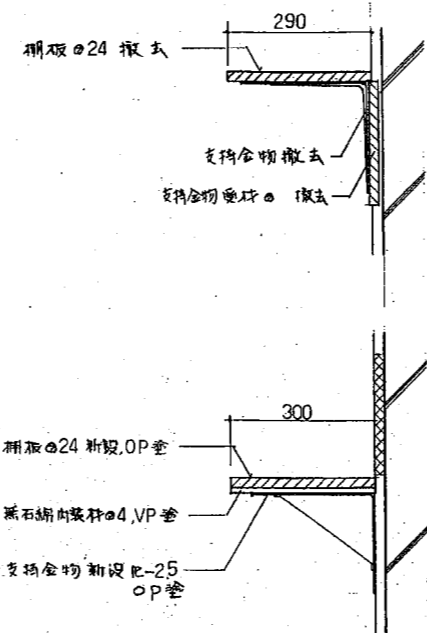
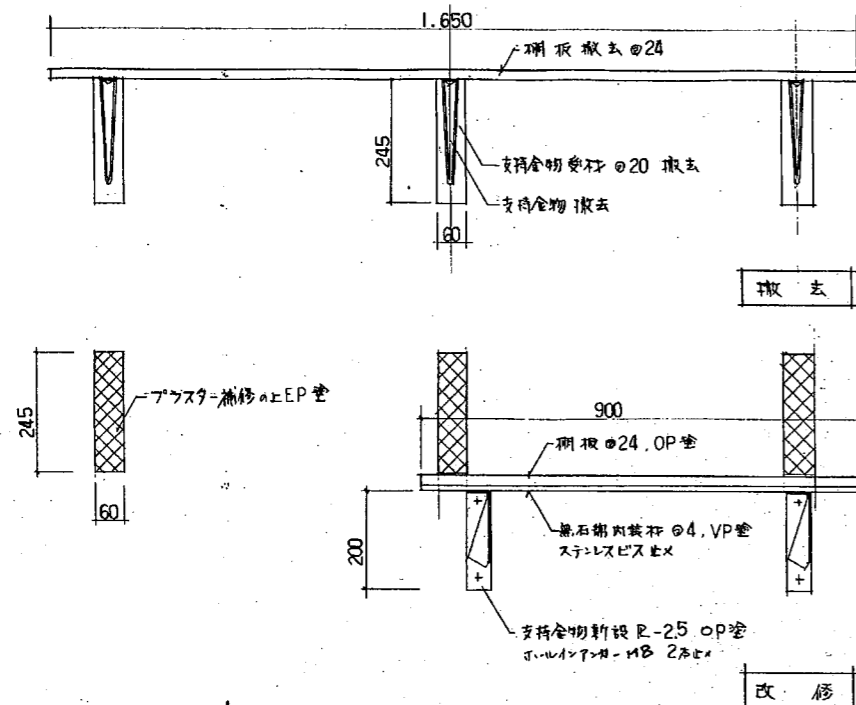
(註記)

- 1) 手摺高上げ工事に於ける接合は特記なき限り全周ス内溶接とする(入込にグラインダ-かけをする事)
- 2) 新設部の鉄部塗装は特記なき限りすべて防錆処理の上OP塗とする
- 3) 既存部の鉄部見掛カサ部はすべて錆落しを行い、防錆処理の上OP塗りとす(夫通仕換番18準による)
- 4) 手摺高上げ工事に於ける既存部との取付部は入込にグラインダ-かけを行ない平滑に仕上げる事
- 5) 手摺長さ及び高上げ高さは現場実測の上決定すること。
- 6) 既設手摺 H=1,100以上且w=1幅は改修不要。但し塗装は全之で行はる。

備 考 II-204 1-83

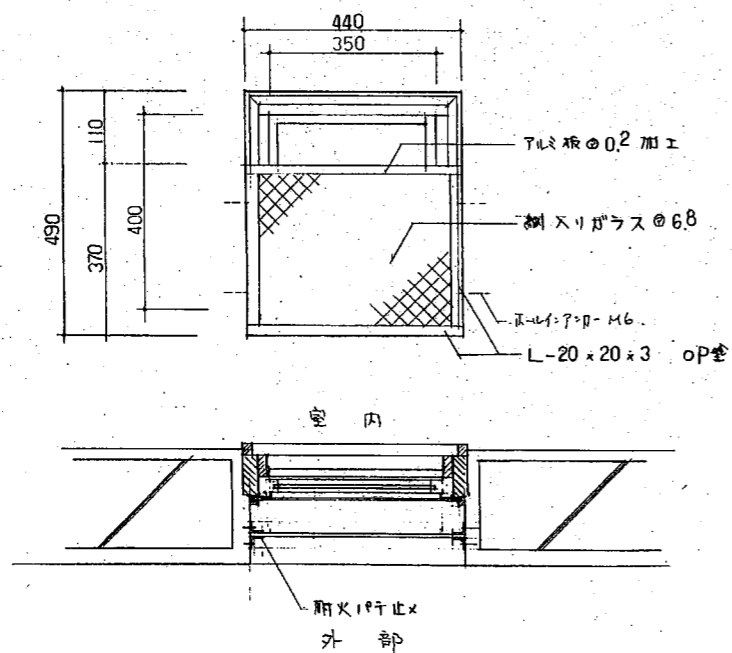
平成 年月日	宮橋監主幹係長主査担当	建物型式名	図面名称 1-8-9号棟	図面番号
大阪府建築部 宮橋室		阪-増-92-4PC-(4)(4)1半-⑥-60301	撤去:改修図 詳細図(2)	T-9
株式会社 共同建築事務所		阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	縮尺 1:20 1:5	

⑦ ② 台所棚撤去の新設



備考 棚板はラワンでもよ。
支持金物は 電鋸×ツチ金剛板@25加工

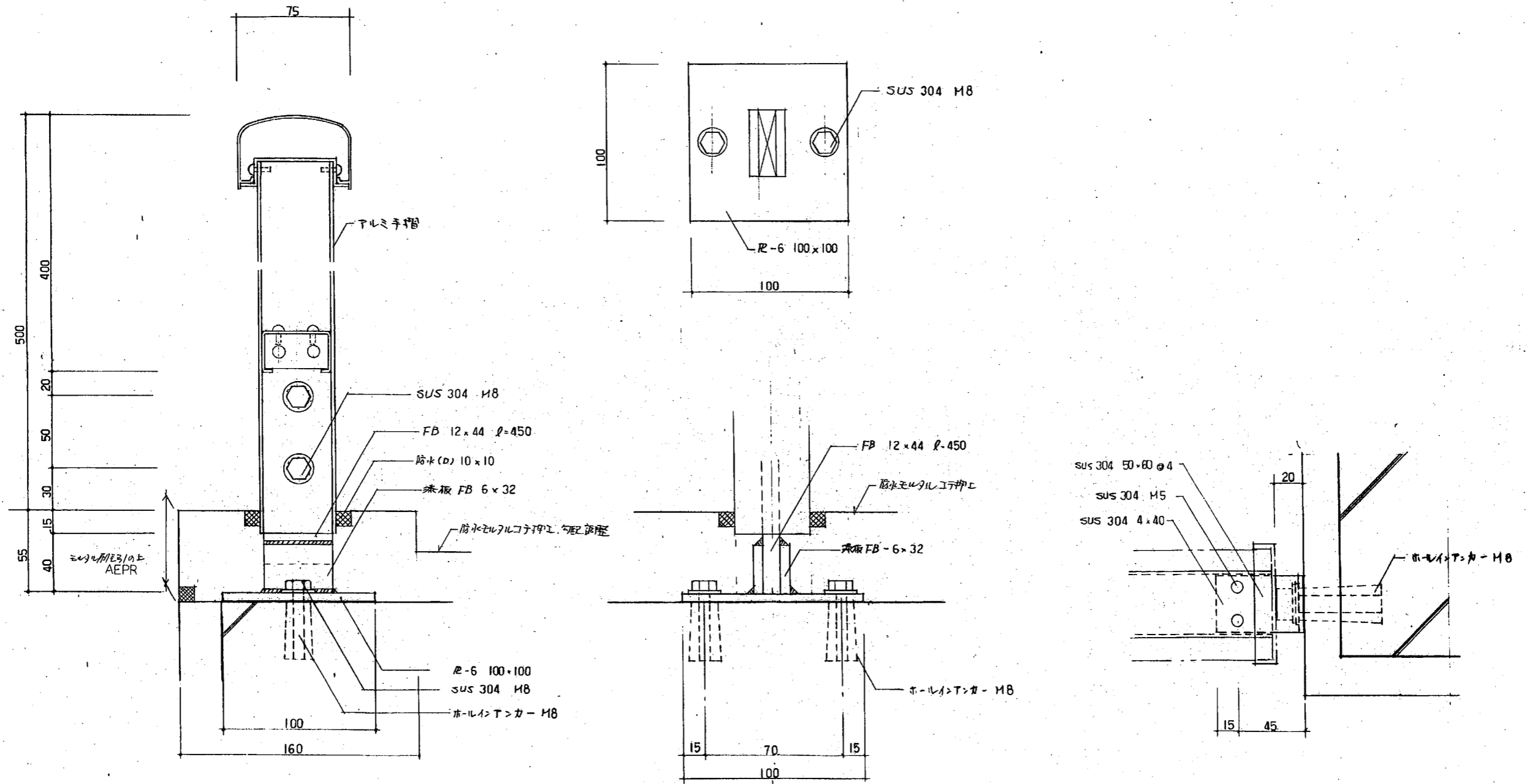
⑧ 壁新設改修



備考

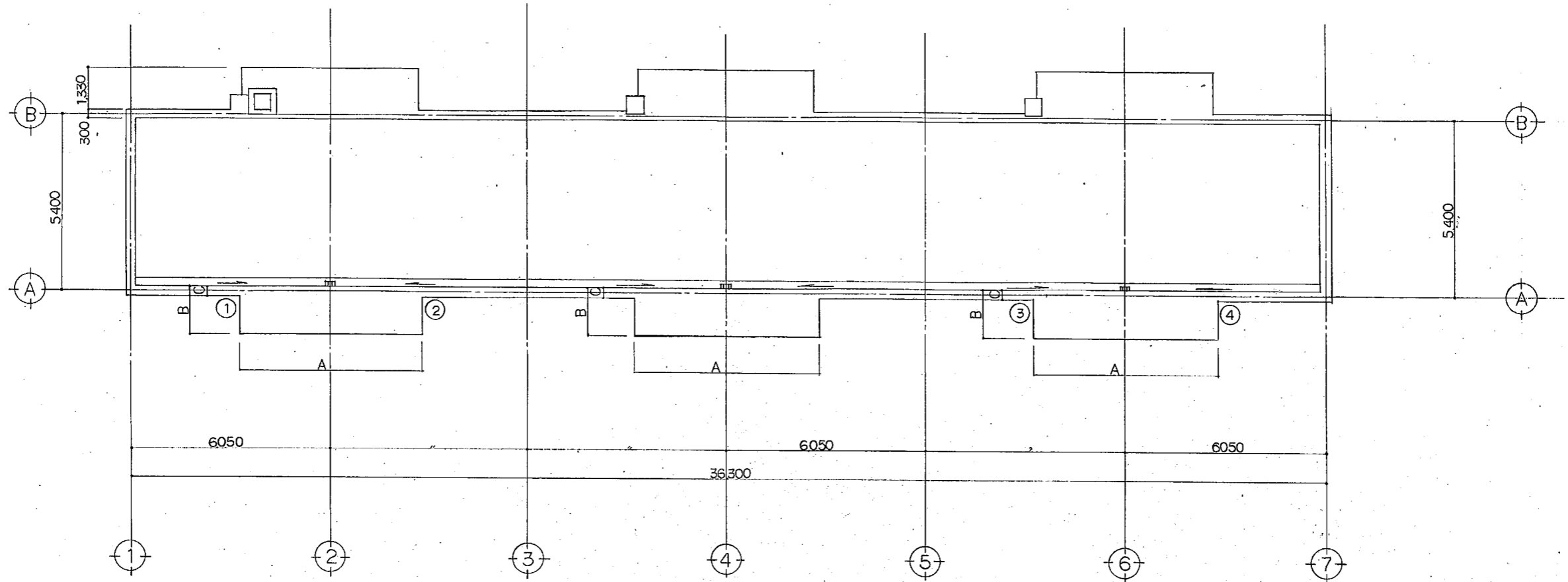
平成 年月日	営繕監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	1.8.9号棟	図面番号
	大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(4)(4)1半-②-60301	撤去：改修図		T-10
	株式会社					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	詳細図		
	共同建築事務所						縮尺		

◇ 室外機置場防護柵



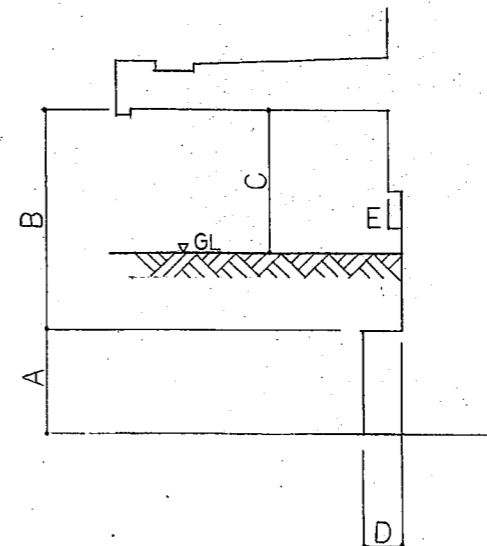
備考 DL×-カ-品と寸法。強度はDL仕様による

平成	年月日	管轄	主幹係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	1号棟	図面番号
		大阪府建築部				阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	撤去:改修図		T-11
		株式会社					詳細図(3)		
		共同建築事務所					縮尺 1:2		

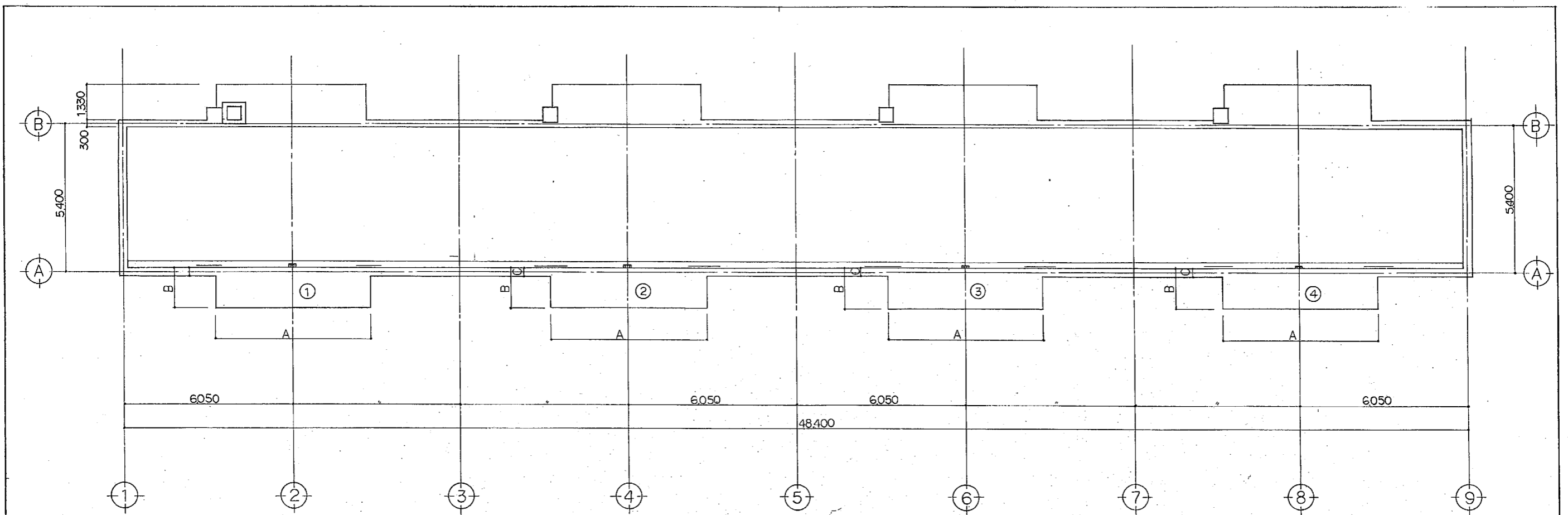


1号棟 屋根伏図 1:100

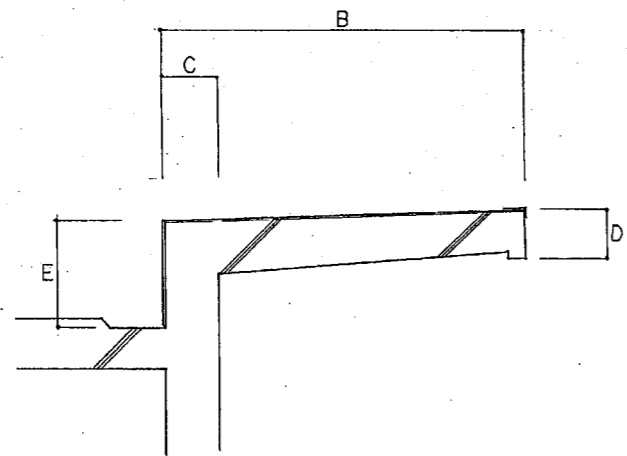
棟	階	測定	A	B	C	D	E
1	1		400	1010	770	360	25
	2		400	1010	760	370	25
	3		400	1000	770	370	25
	4		400	1000	780	370	25



平成 年月日	営繕監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部 営繕室					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	1号棟 基礎測定図	G-1
	株式会社 共同建築事務所						縮尺	

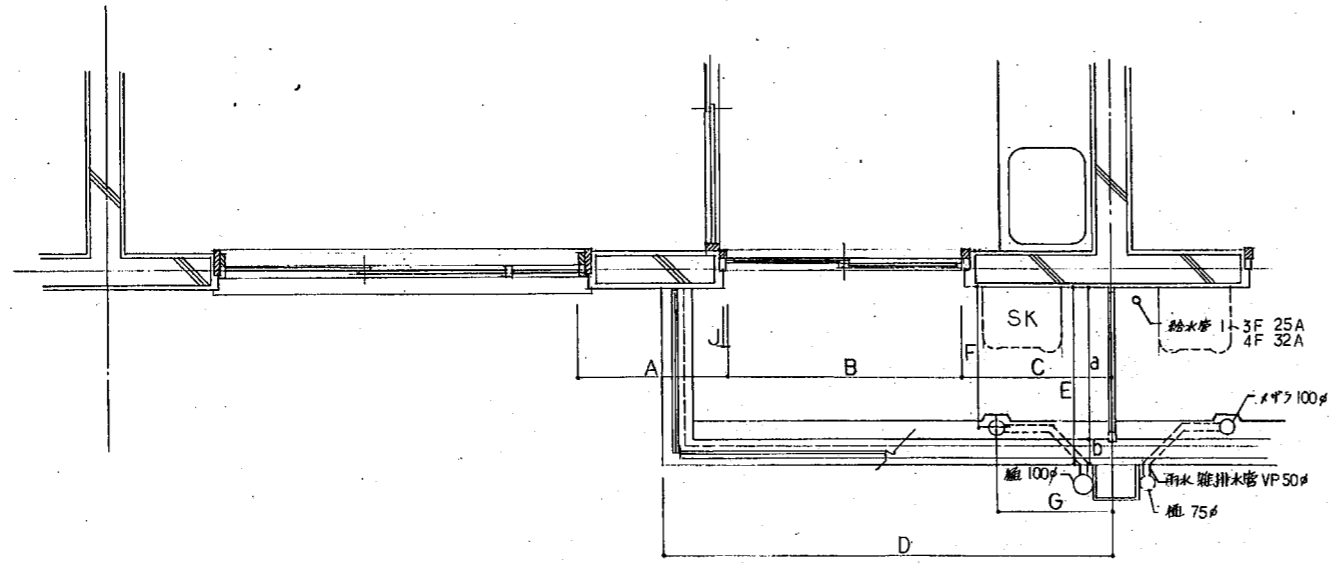


1号棟 8号棟 9号棟 屋根伏図 1:100

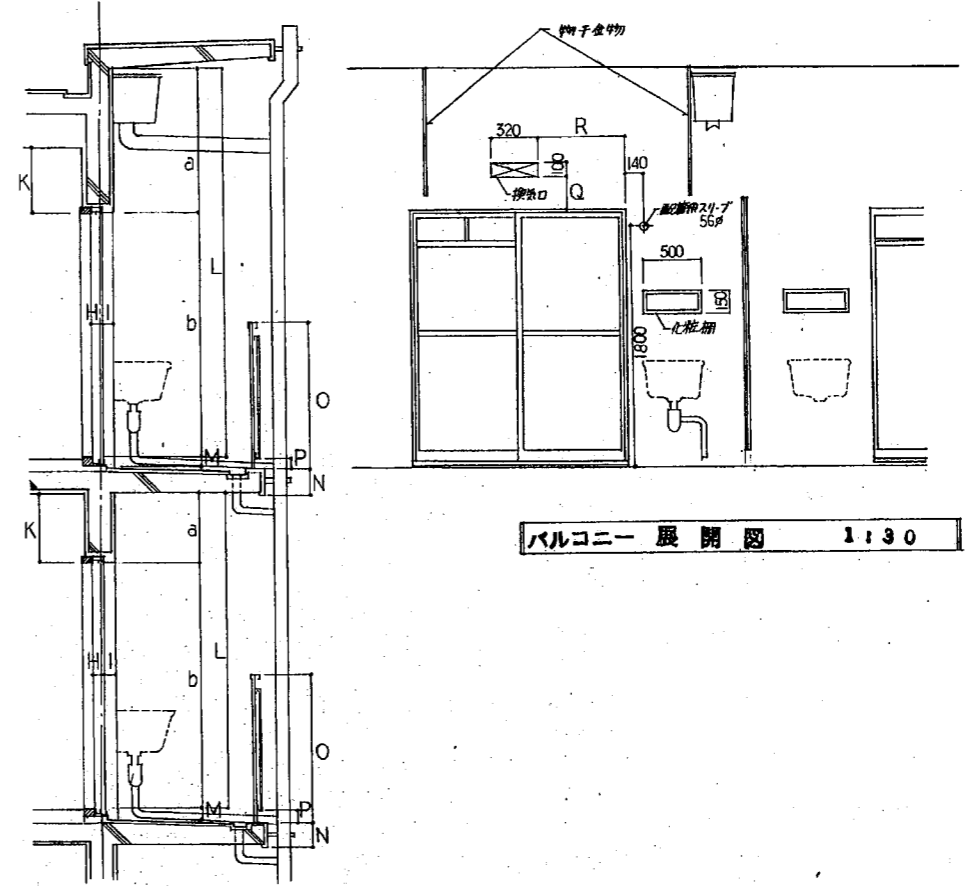


	階	測定				
		A	B	C	D	E
1	1	5480	1410	230	150	350
	2	5440	1400	230	150	350
	3	5440	1400	230	150	350
8	1	5450	1430	230	120	350
	2	5440	1430	230	130	340
	3	5470	1420	220	130	350
	4	5470	1410	220	130	350
9	1	5430	1420	230	170	400
	2	5480	1410	230	180	390
	3	5460	1420	220	180	390
	4	5460	1430	230	200	400

平成 年月日	営繕監	主幹係長	主査担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部			阪-増-92-4PC-(4)(4)1半-B-60301	1.8.9号棟	
	営繕室			阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	屋根座測定図	G-3
	株式会社				縮尺	
	共同建築事務所					

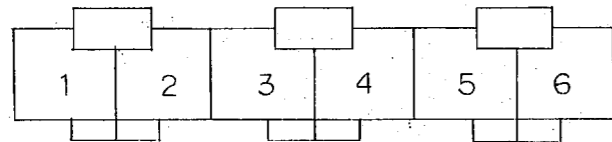


バルコニー平面図 1:30



バルコニー展開図 1:30

バルコニー断面図 1:30

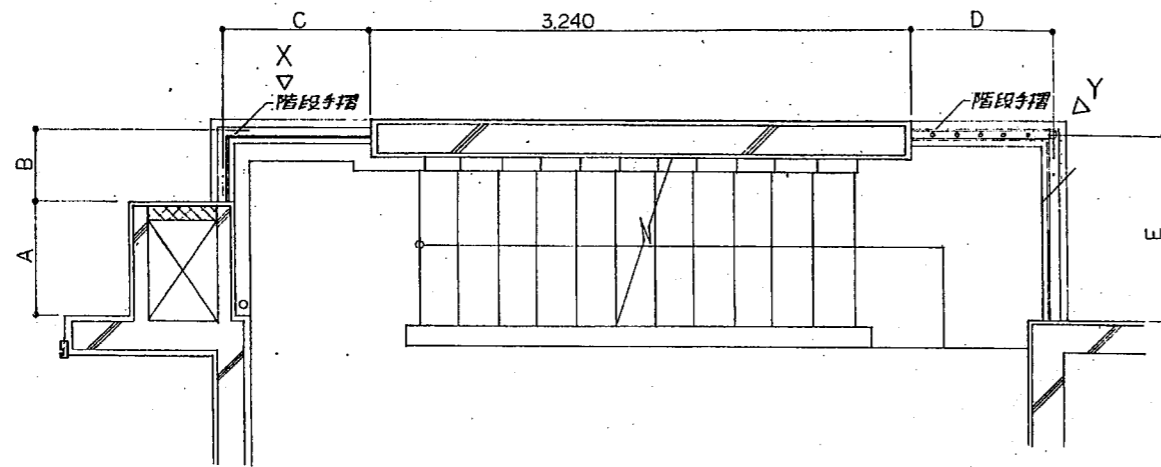


1号棟 キープラン

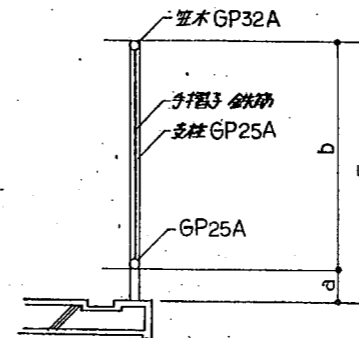
バルコニー 測定義表 1号棟

棟	位置	階	測点	A	B	C	D	E	a	b	F	G	H	I	J	K	L	a	b	M	N	O	P	Q	R
1	1	4	F	820	1450	890	2720	1120	960	150	880	350	70	120	15	470	2890	1060	1800	90	150	1080	70	230	600
		3	F	810	1450	900	2730	1120	940	150	880	350	70	140	15	550	2390	570	1800	100	150	1080	70	260	590
		2	F	820	1450	890	2730	1110	940	150	890	350	70	130	15	550	2390	560	1800	100	150	1080	70	240	590
	4	1	F	820	1450	900	2730	1090	940	150	880	350	70	140	15	540	2390	540	1800	100	150	1060	50	230	570
		4	F	810	1450	900	2730	1120	930	150	890	350	70	120	15	510	2910	1070	1800	80	150	1070	50	210	600
		3	F	810	1450	920	2720	1120	950	150	900	350	70	110	15	570	2400	560	1800	80	150	1080	70	250	600
1	2	F	820	1450	910	2720	1120	960	150	890	350	70	110	15	560	2400	570	1800	80	150	1070	60	240	600	
	1	F	820	1450	890	2730	1100	940	150	880	350	70	110	15	550	2400	560	1800	60	150	1060	50	230	600	

平成 年月日	営繕監	主幹係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	1号棟	図面番号
	大阪府建築部 営繕室				阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	バルコニー測定義表		G-4
	株式会社 共同建築事務所					縮尺		



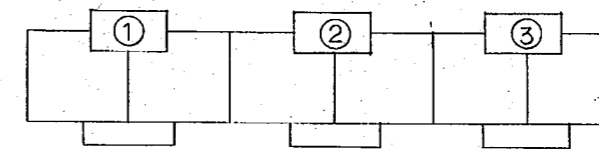
階段手摺 平面図 1:30



階段手摺 断面図 1:20

階段踊場・手摺 測定表

棟	位置	階	X 部手摺							Y 部手摺				
			A	B	C	D	E	F	a	b	F	a	b	
1	①	4	710	430	900	870	1150	1050	60	990	1050	60	990	
		3	700	430	900	870	1120	1080	90	990	1140	130	1010	
		2	700	420	890	870	1150	1070	70	1000	1150	150	1000	
		1	690	420	800			1060	70	990				
1	②	4	700	430	890	880	1150	1040	60	980	1070	70	1000	
		3	700	420	890	880	1140	1060	60	1000	1090	100	990	
		2	690	420	870	870	1140	1080	90	990	1100	90	1010	
		1	690	400	830			1060	70	990				
1	③	4	710	420	900	880	1170	1060	70	990	1060	70	990	
		3	700	420	890	890	1160	1040	50	990	1110	100	1010	
		2	700	390	890	900	1150	1090	90	1000	1080	90	990	
		1	690	390	810			1070	70	1000				



1号棟 キープラン

平成 年月日	営繕監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部					阪-増-92-4PC-(3半)(3)-900-60301	1号棟	
	営繕室						階段手摺測定図(1)	G-10
	株式会社						縮尺	
	共同建築事務所							